

**「東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査」**

**報告書**  
**(案)**

平成31年1月25日(案)

東久留米市子ども家庭部



# 目 次

## I. 調査の概要

1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 回収状況	3
6. 集計値や図表の表記について	4

## II. 就学前児童調査の結果

1. お住まいの地域	7
2. お子さんご家族の状況について	9
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	12
4. 保護者の働き方について	16
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	39
7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	45
8. お子さんの病気の際の対応について	50
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について	57
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	65
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	72
12. 子育て支援への満足度やご意見について	82

## III. 就学児童（小学校2年生）調査の結果

1. お住まいの地域	87
2. お子さんご家族の状況について	88
3. 保護者の働き方について	89
4. お子さんの病気の際の対応について	96
5. 一時預かり等の利用状況について	101

6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	106
7. 子育て支援への満足度やご意見について .....	113

# I . 調査の概要



## 1. 調査目的

2015年度を始期とする子ども・子育て支援事業計画の計画期間の終期が2019年度であることから、2020年度からの第二期子ども・子育て支援事業計画を作成することとなりました。事業計画は、子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等および地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向、子どもとその保護者が置かれている環境、その他の事情を正確に把握した上で、これらを勘案して作成するものです。

東久留米市では、適切な事業計画を作成する上で、地域の実情を把握する必要があることから、利用希望把握調査を実施しました。

## 2. 調査対象

### ① 就学前児童調査

市内に居住する0歳～就学前の子どもを持つ保護者 2,000人（抽出）

### ② 就学児童（小学2年生）調査

市内小学校2年生の子どもを持つ保護者 929人（悉皆）

## 3. 調査方法

### ① 就学前児童調査

郵送によるアンケート調査

### ② 就学児童（小学2年生）調査

学校配付・学校回収によるアンケート調査

## 4. 調査期間

### ① 就学前児童調査

平成30年10月19日から11月9日まで

### ② 就学児童（小学2年生）調査

平成30年10月19日から11月5日まで

## 5. 回収状況

	配付数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童調査	2,000	1,074	53.7%
②就学児童（小学校2年生）調査	929	649	69.9%

## 6. 集計値や図表の表記について

- ・ 集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・ 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ・ 回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ・ 調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。



## Ⅱ. 就学前児童調査の結果



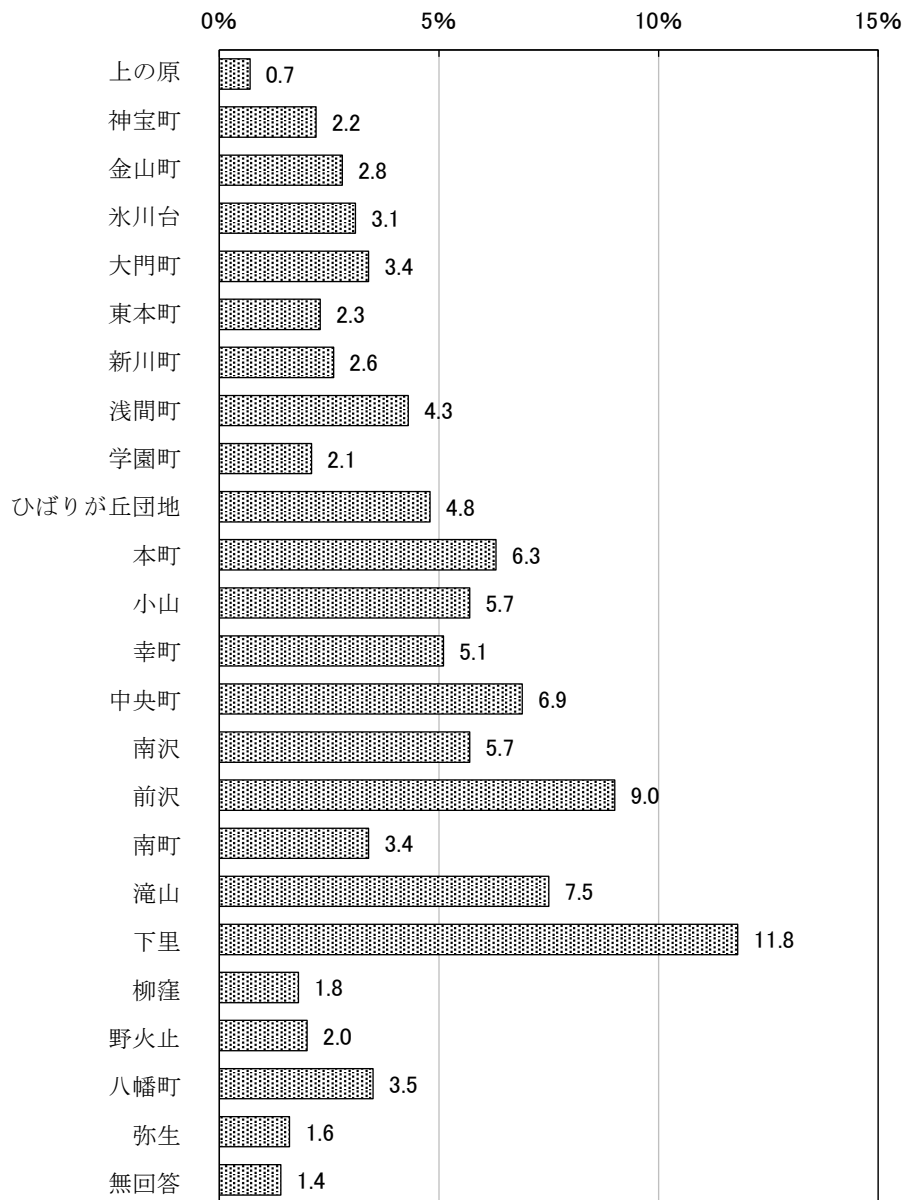
# 1. お住まいの地域

## (1) お住まいの地域

問1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「下里」が最も多く、11.8%となっています。次いで「前沢」が9.0%、「滝山」が7.5%、「中央町」が6.9%、「本町」が6.3%と続いています。

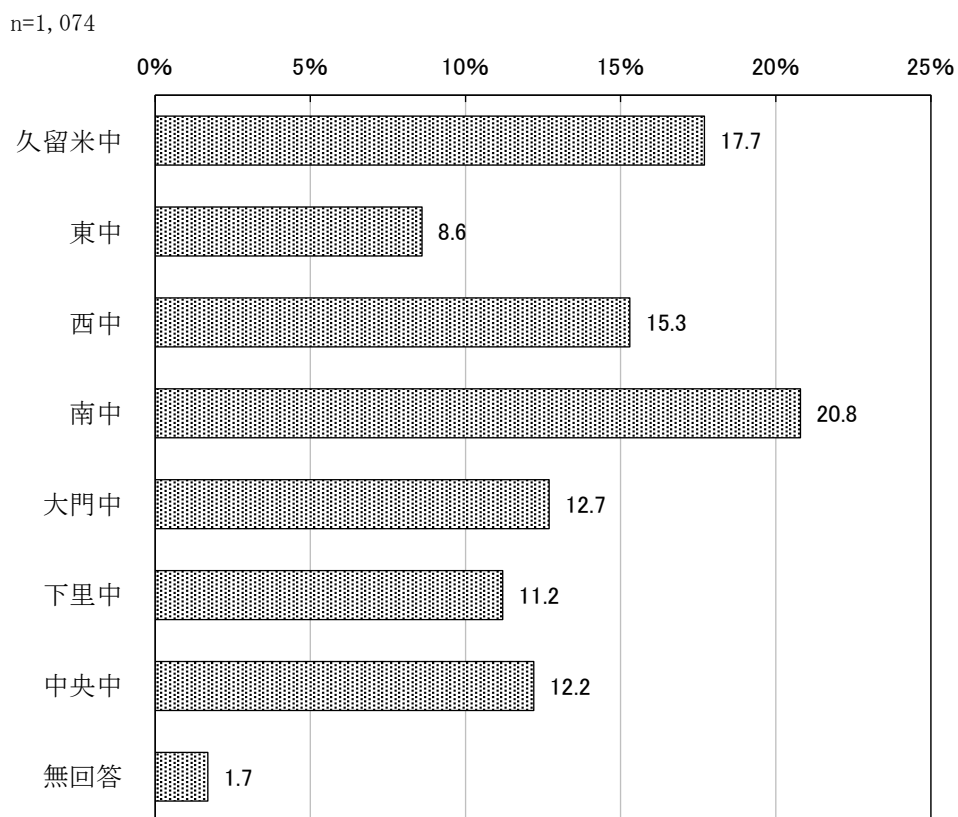
n=1,074



## (2) 中学校区

問1-2 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。

「南中」が最も多く、20.8%となっています。次いで「久留米中」が17.7%、「西中」が15.3%、「大門中」が12.7%と続いています。



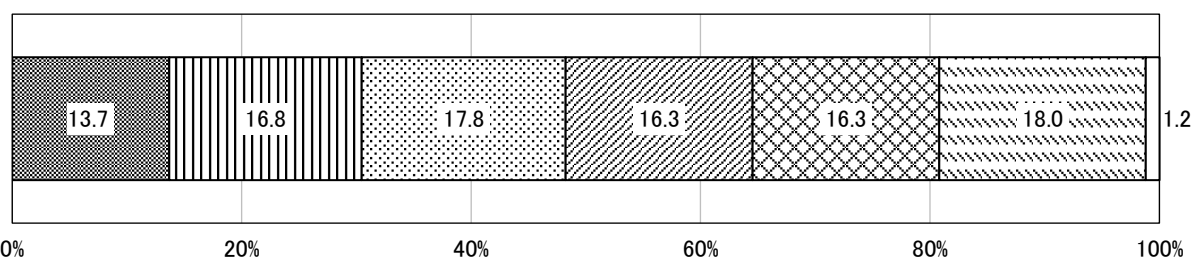
## 2. お子さんご家族の状況について

### (1) 子どもの年齢（学年齢）

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

「5歳」が最も多く、18.0%となっています。次いで「2歳」が17.8%、「1歳」が16.8%、「3歳」と「4歳」が16.3%と続いています。

n=1,074



■0歳    ▨1歳    ▩2歳    ▪3歳    ▫4歳    ▬5歳    □無回答

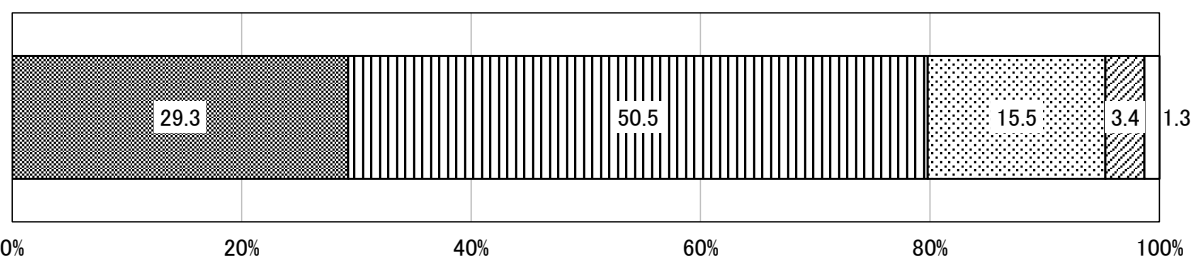
### (2) きょうだいの数・末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

#### ①きょうだいの数

「2人」が最も多く、50.5%となっています。次いで「1人」が29.3%、「3人」が15.5%と続いています。

n=1,074

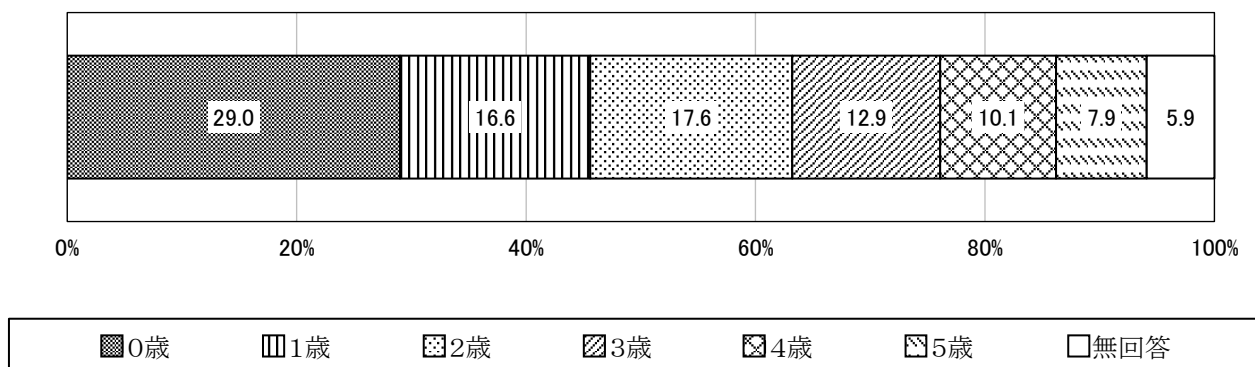


■1人    ▨2人    ▩3人    ▪4人以上    □無回答

## ②末子の年齢（学年齢）

「0歳」が最も多く、29.0%となっています。次いで「2歳」が17.6%、「1歳」が16.6%、「3歳」が12.9%と続いています。

n=745

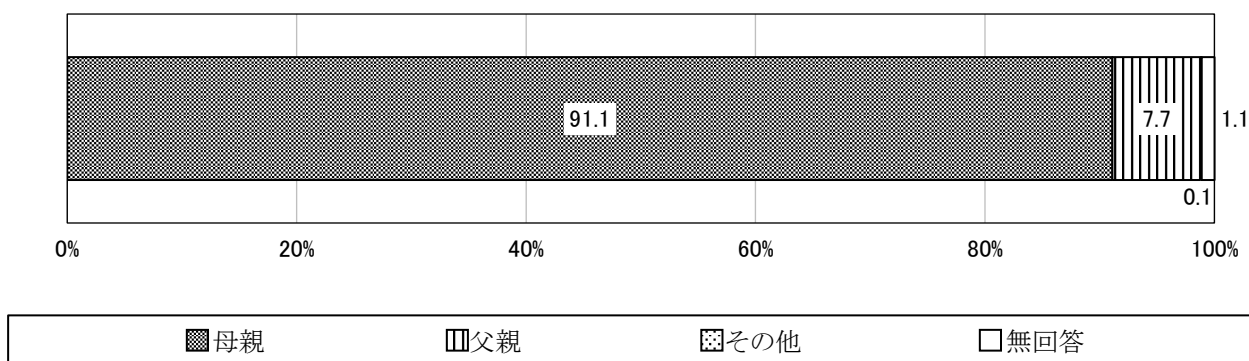


## (3) 調査票の回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が91.1%、「父親」が7.7%となっています。

n=1,074

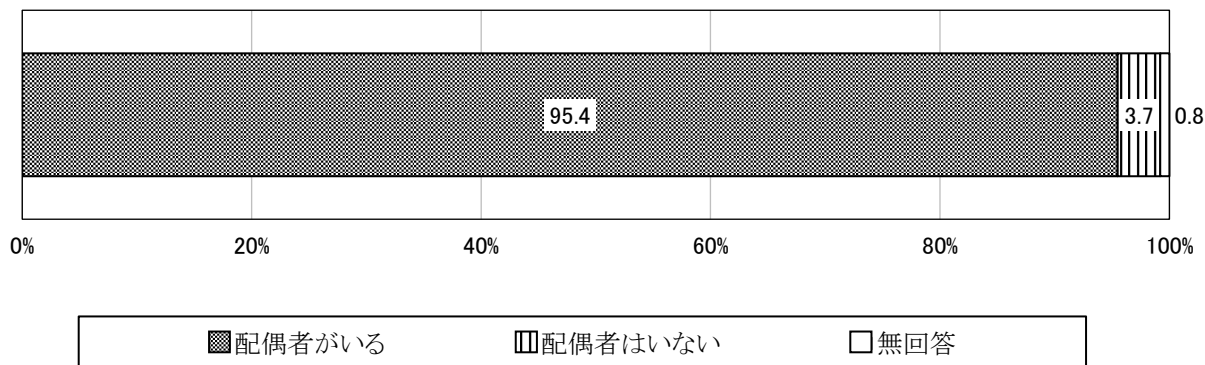


#### (4) 調査票の回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。※単身赴任等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

「配偶者がいる」が95.4%、「配偶者はいない」が3.7%となっています。

n=1,074

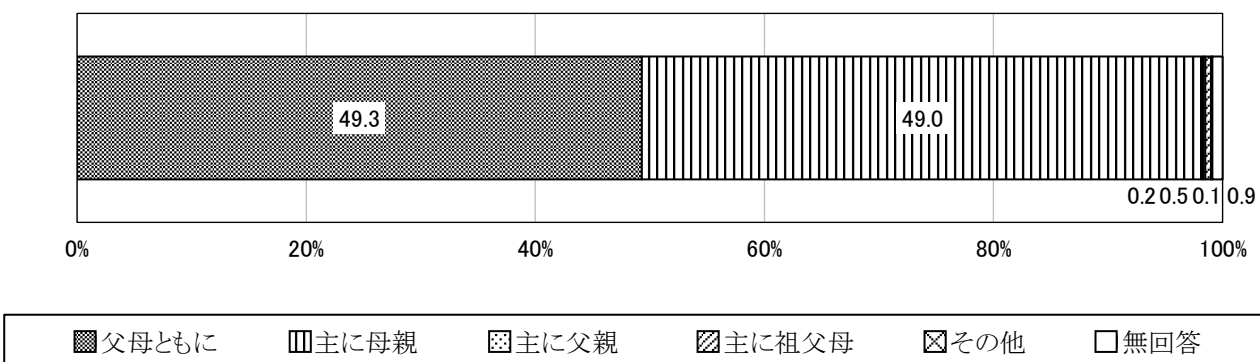


#### (5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、49.3%となっています。次いで「主に母親」が49.0%と続いています。

n=1,074



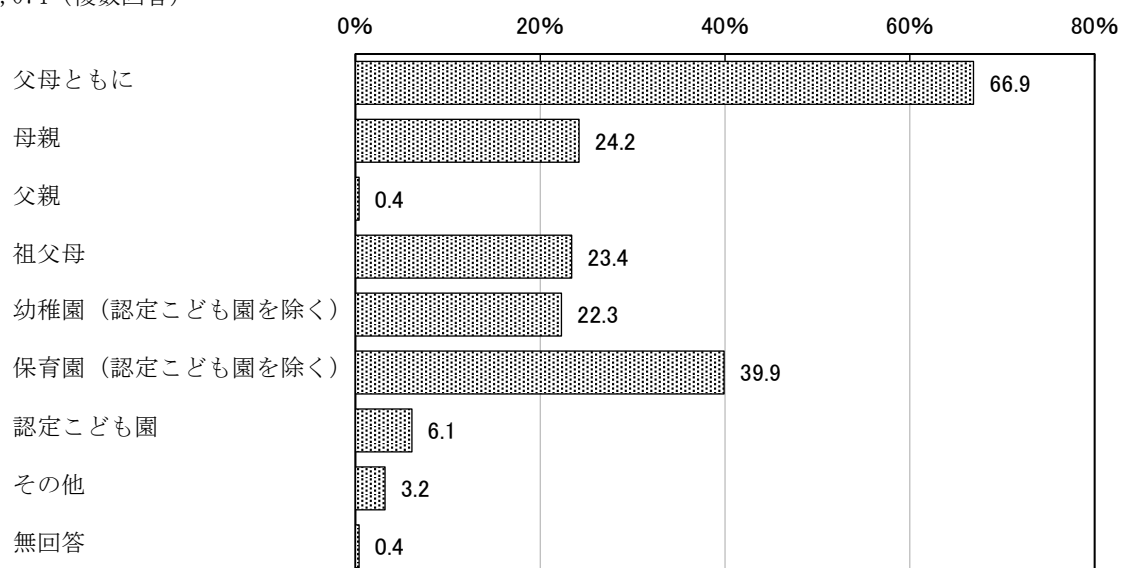
### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

#### (1) 子育てに日常的に関わっている人や施設

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、66.9%となっています。次いで「保育園（認定子ども園を除く）」が39.9%、「母親」が24.2%、「祖父母」が23.4%、「幼稚園（認定子ども園を除く）」が22.3%と続いています。

n=1,074（複数回答）

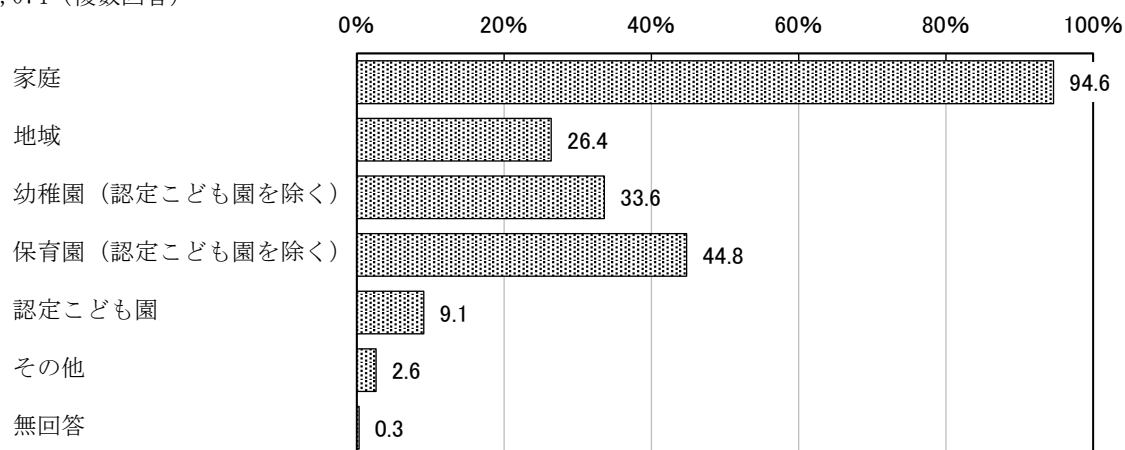


#### (2) 子育てにもっとも影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」が最も多く、94.6%となっています。次いで「保育園」が44.8%、「幼稚園」が33.6%、「地域」が26.4と続いています。

n=1,074（複数回答）



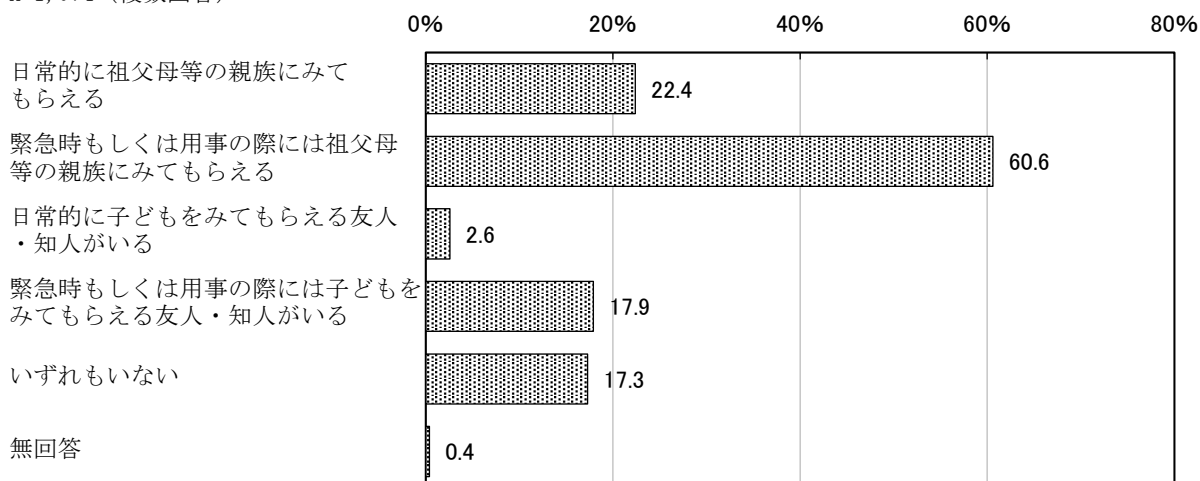


### (3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、60.6%となっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が22.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が17.9%、「いずれもない」が17.3%と続いています。

n=1,074 (複数回答)



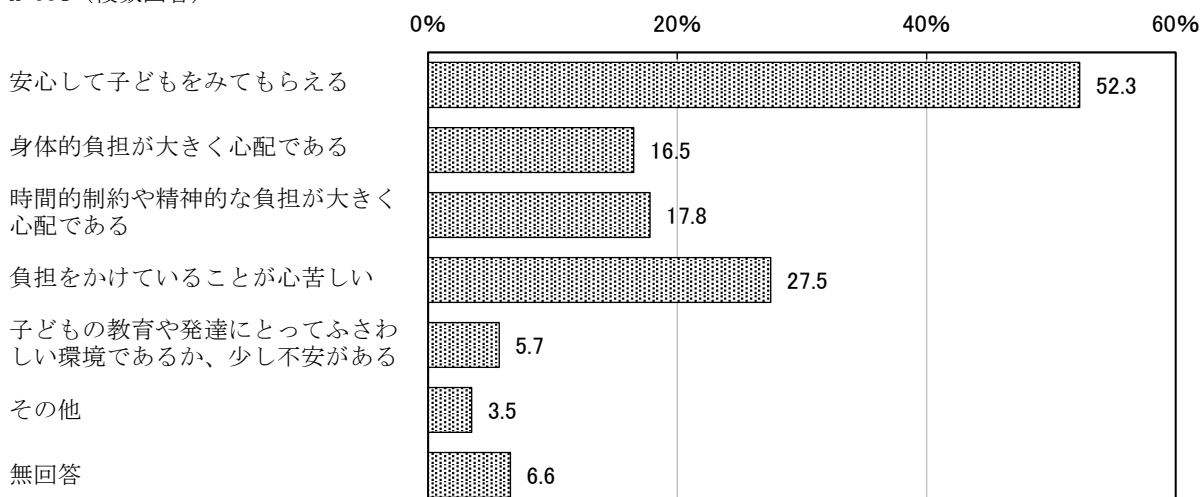
### (4) 子どもをみてもらえる親族・知人の負担等

※問9で「1」から「4」のいずれか（祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている）に○をつけた方にうかがいました。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、52.3%となっています。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が27.5%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.8%、「身体的負担が大きく心配である」が16.5%と続いています。

n=884 (複数回答)

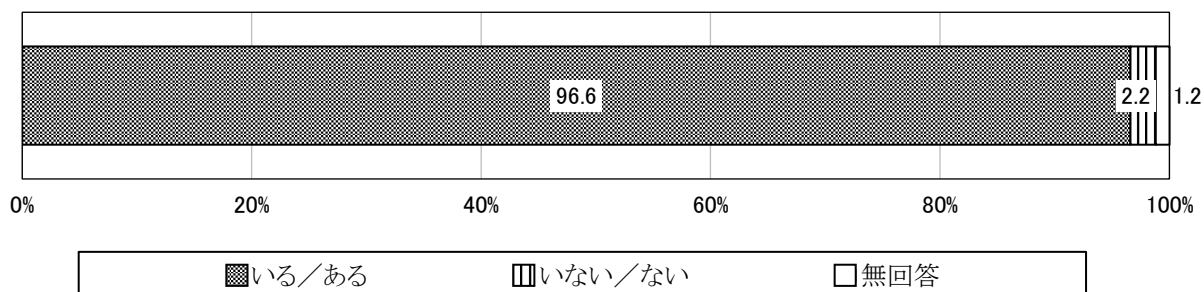


## (5) 気軽に相談できる人の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」が96.6%、「いない／ない」が2.2%となっています。

n=1,074



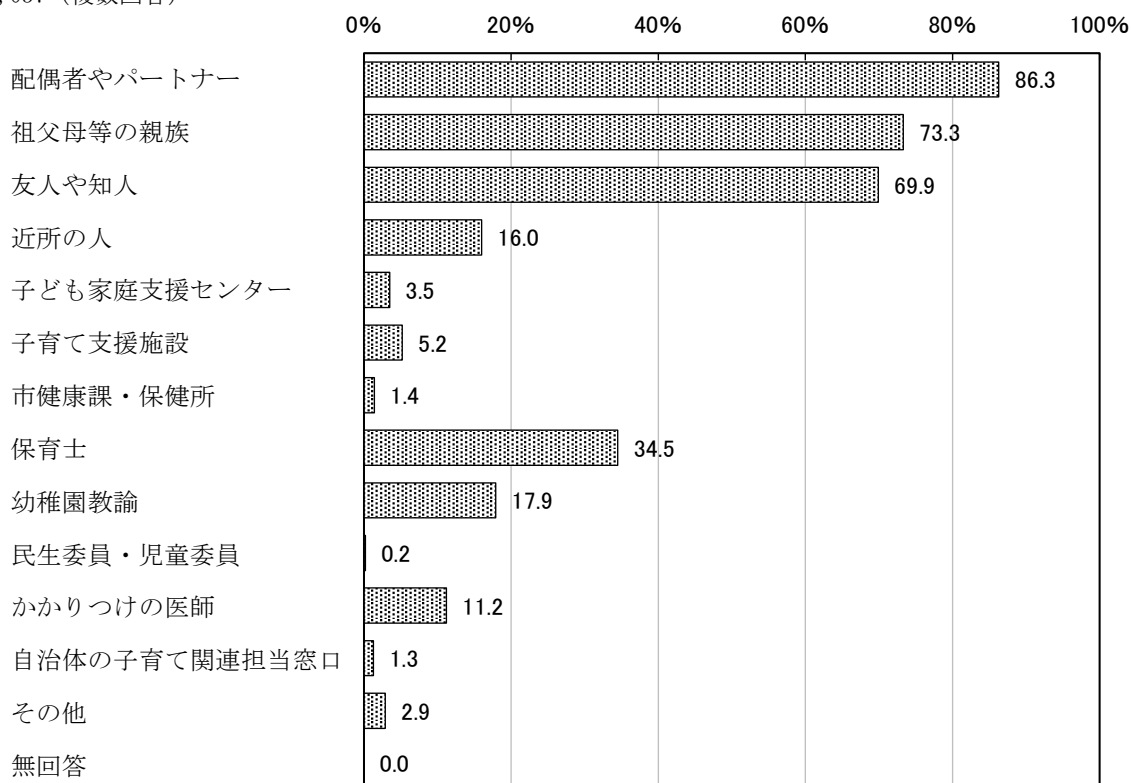
## (6) 気軽に相談できる人や機関

※問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいました。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者やパートナー」が最も多く、86.3%となっています。次いで「祖父母等の親族」が73.3%、「友人や知人」が69.9%、「保育士」が34.5%、「幼稚園教諭」が17.9%と続いています。

n=1,037（複数回答）



## (7) 子育てをする上で必要な支援

問11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 4. 保護者の働き方について

### (1) 保護者の就労状況

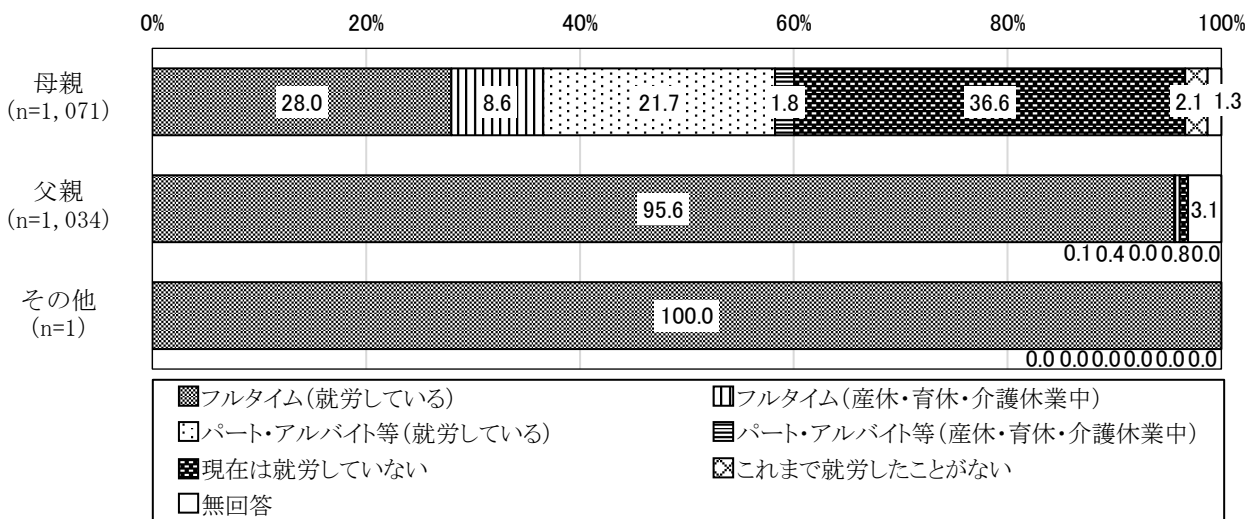
#### ①就労状況

問12 (1) 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多く、36.6%となっています。次いで「フルタイムで就労している」が28.0%、「パート・アルバイト等で就労している」が21.7%と続いています。

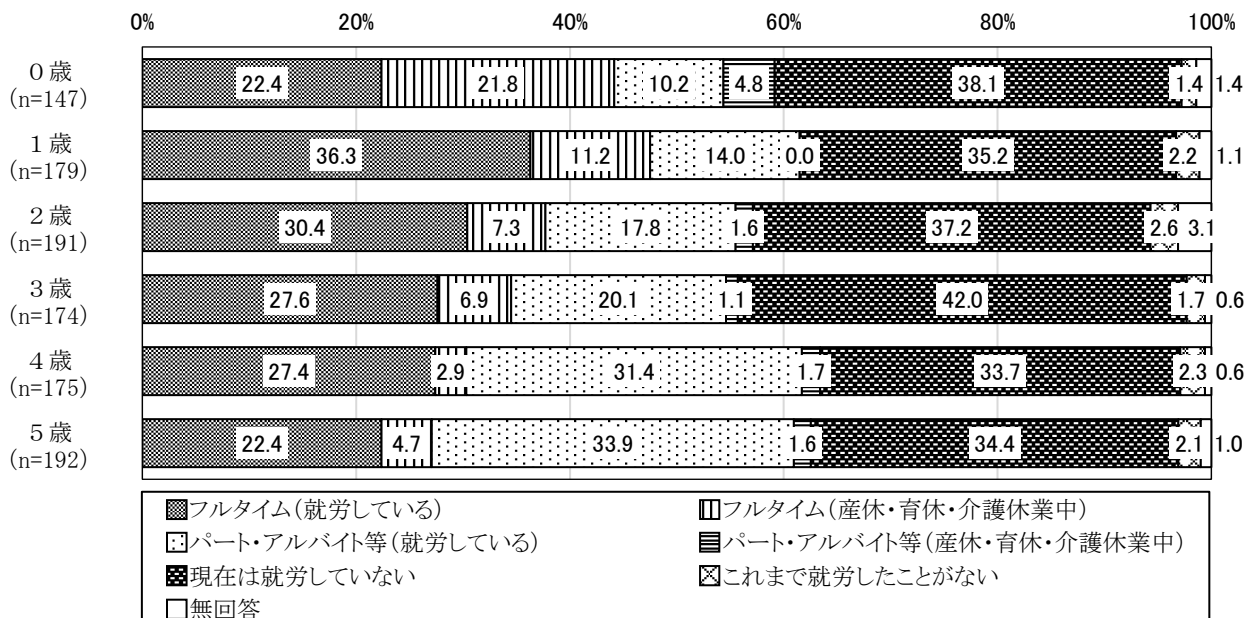
父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、95.6%となっています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



#### 【母親の就労状況—子どもの年齢（学年齢）別】

母親の就労状況を子どもの年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では産休・育休・介護休業中を含めた「フルタイム」の割合が4割を超えて多くなっていますが、2歳～5歳では「フルタイム」よりも「現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせた「就労していない」のほうが多くなっています。また、2歳～5歳では年齢が上がるにつれて、産休・育休・介護休業中を含めた「パート・アルバイト等」が多くなり、5歳では35.5%となっています。



## ①就労日数・就労時間

※問12（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

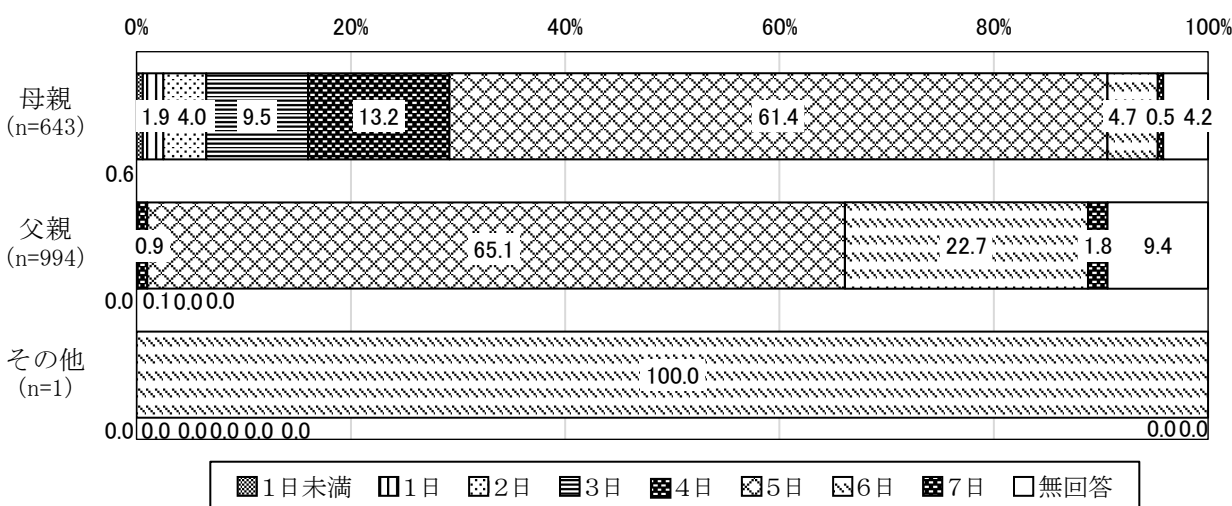
問12（2）週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

### 【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、61.4%となっています。次いで「4日」が13.2%、「3日」が9.5%と続いています。

父親では「5日」が最も多く、65.1%となっています。次いで「6日」が22.7%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

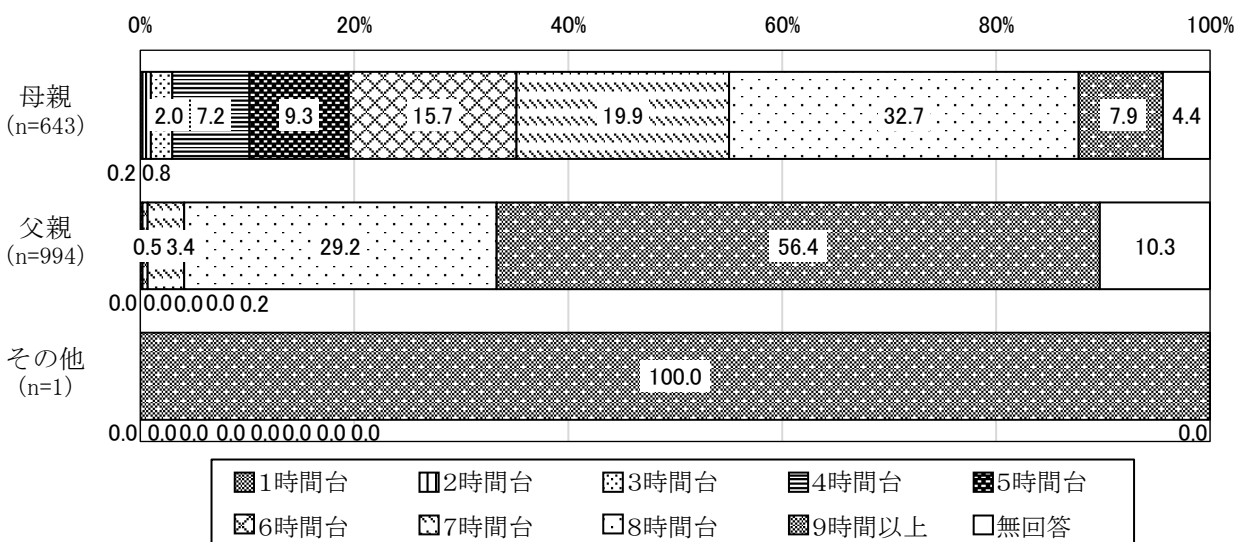


### 【1日当たりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、32.7%となっています。次いで「7時間台」が19.9%、「6時間台」が15.7%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、56.4%となっています。次いで「8時間台」が29.2%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



### ③家を出る時間と帰宅時間

※問12（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

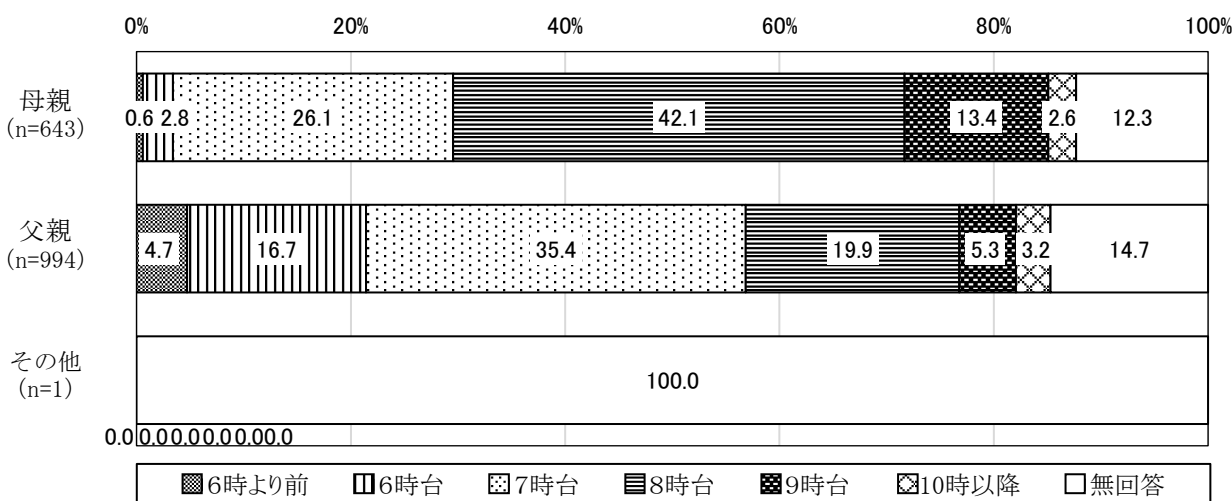
問12（3）家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

#### 【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、42.1%となっています。次いで「7時台」が26.1%、「9時台」が13.4%と続いています。

父親では「7時台」が最も多く、35.4%となっています。次いで「8時台」が19.9%、「6時台」が16.7%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

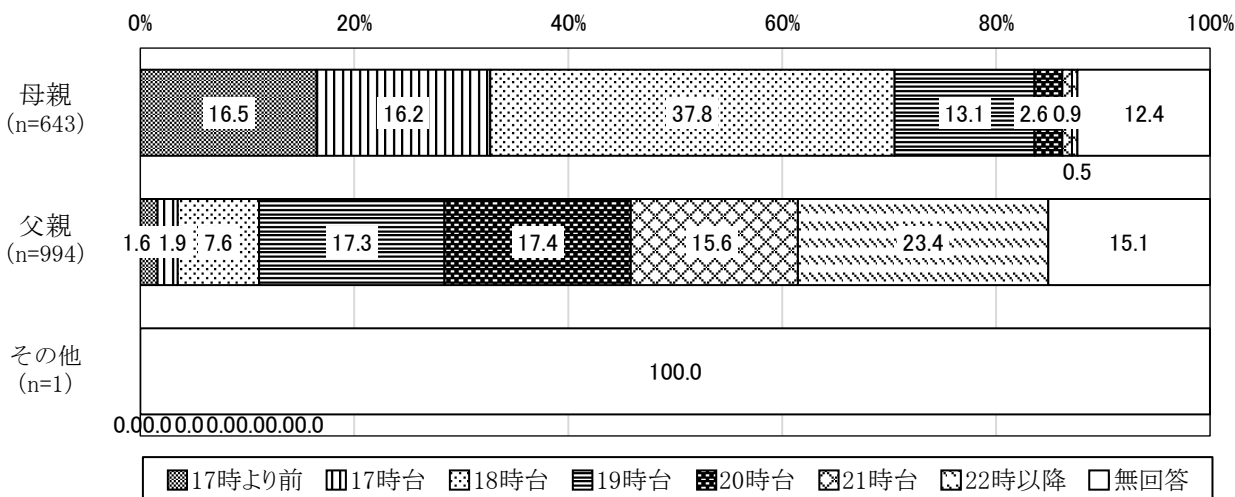


#### 【帰宅時間】

母親では「18時台」が最も多く、37.8%となっています。次いで「17時より前」が16.5%、「17時台」が16.2%と続いています。

父親では「22時以降」が最も多く、23.4%となっています。次いで「20時間台」が17.4%、「19時台」が17.3%、「21時台」が15.6%と続いています。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



## (2) フルタイムへの転換希望

※問12(1)で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいました。

### ①就労状況

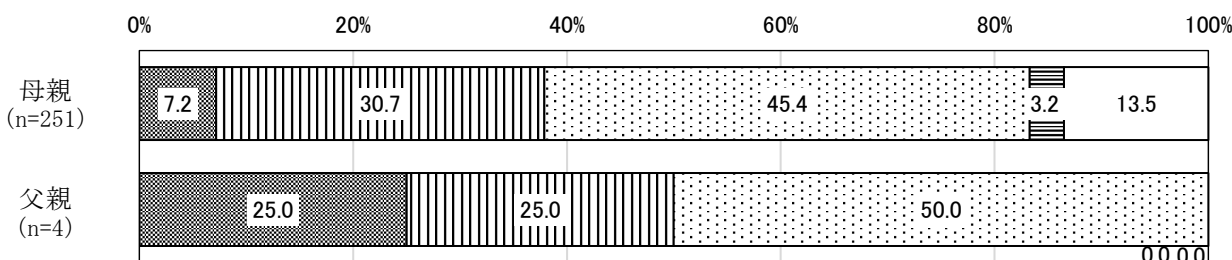
問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、45.4%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.7%と続いています。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、50.0%（4人中2人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

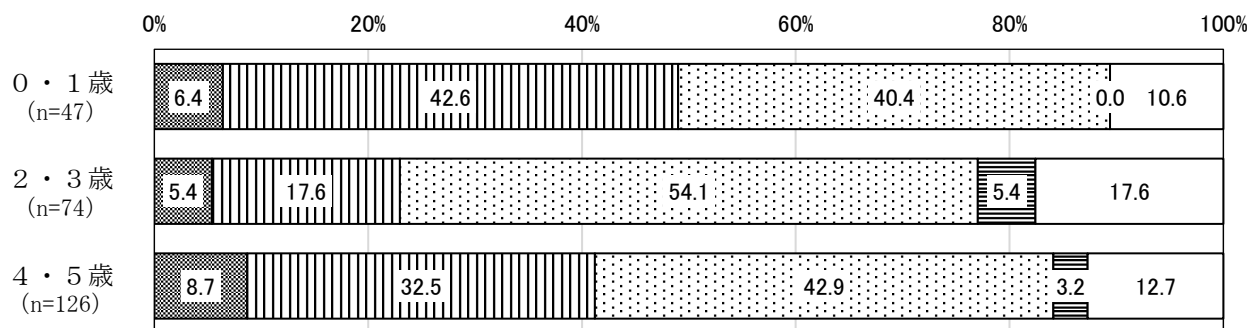
※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▤パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

### 【母親のフルタイムへの転換希望—子どもの年齢（学年齢）別】

母親のフルタイムへの転換希望を年齢（学年齢）別にみると、実現見込みの有無にかかわらず「転換希望あり」は0・1歳で最も多く、49.0%となっていますが、2・3歳では23.0%まで下がり、4・5歳では41.2%と上昇しています。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は2・3歳で最も多く、54.1%となっています。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▤パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

### (3) 就労希望

※問12(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいました。

問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○を付け、該当する下線部に数字をご記入ください。

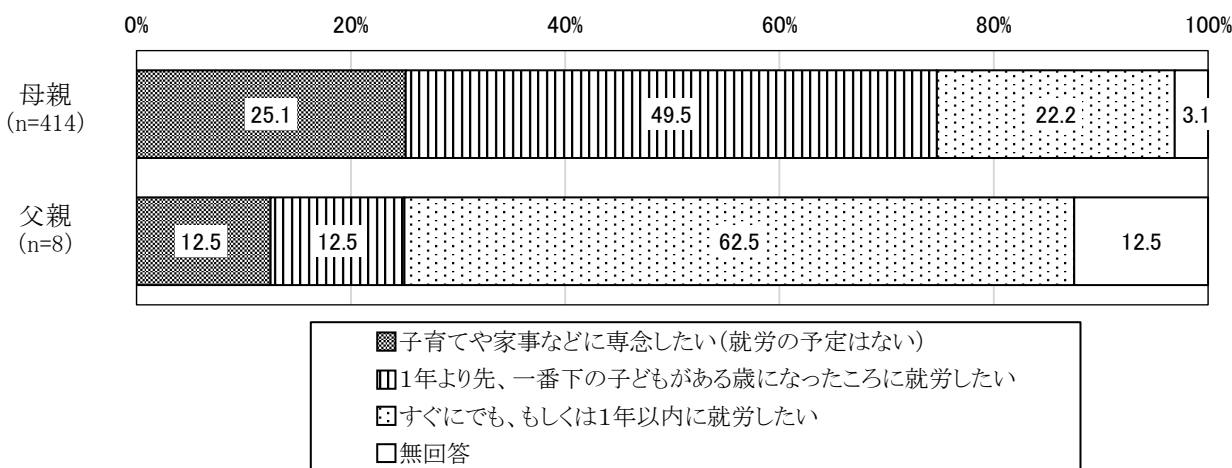
#### ①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が最も多く、49.5%となっています。次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が25.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.2%と続いています。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、62.5%(8人中5人)となっています。

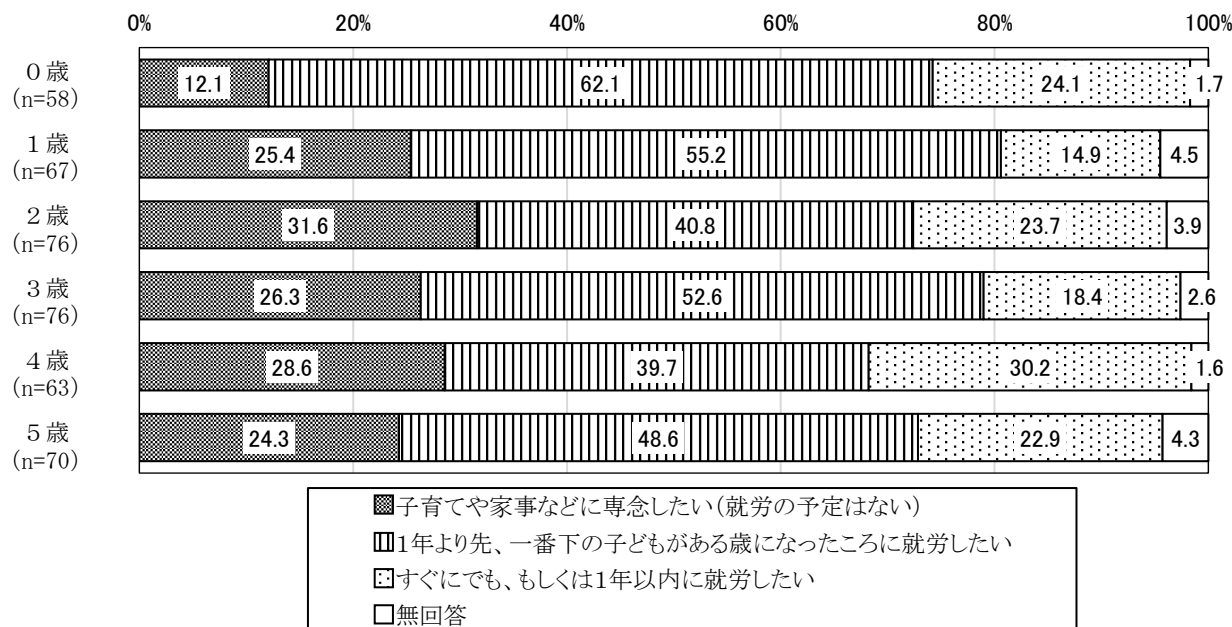
※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



#### 【母親の就労希望—子どもの年齢(学年齢)別】

母親の就労希望を子どもの年齢(学年齢)別にみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」の計は0歳で86.2%と最も多く、1歳・3歳・4歳・5歳では7割前後となっていますが、2歳では64.5%とほかの年齢と比べて少なくなっています。





## 【一番下の子どもが何歳になったところに仕事に就きたいか】

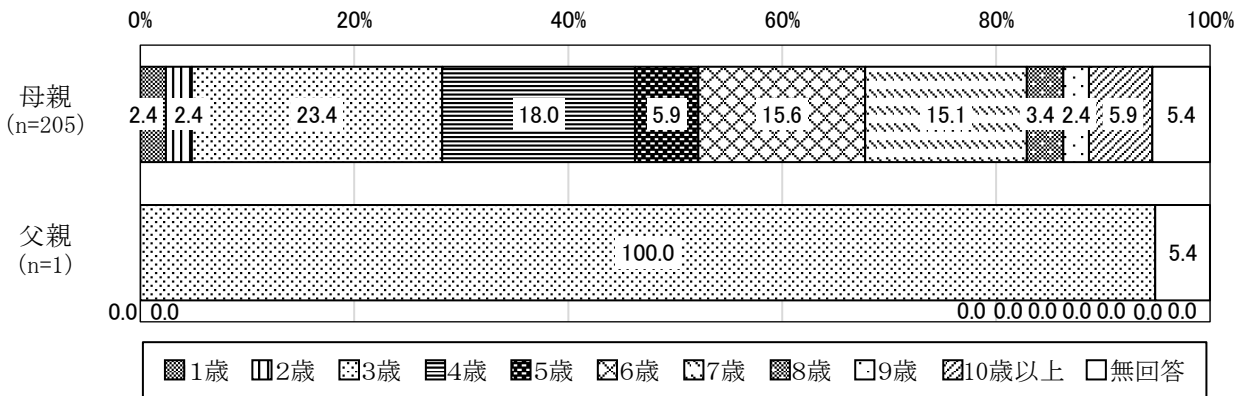
※問14で「1年より先、または一番下の子どもがある年齢になったところに仕事に就きたい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「3歳」が最も多く、23.4%となっています。次いで「4歳」が18.0%、「6歳」が15.6%、「7歳」が15.1%と続いています。

父親では「3歳」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



## ②就労形態

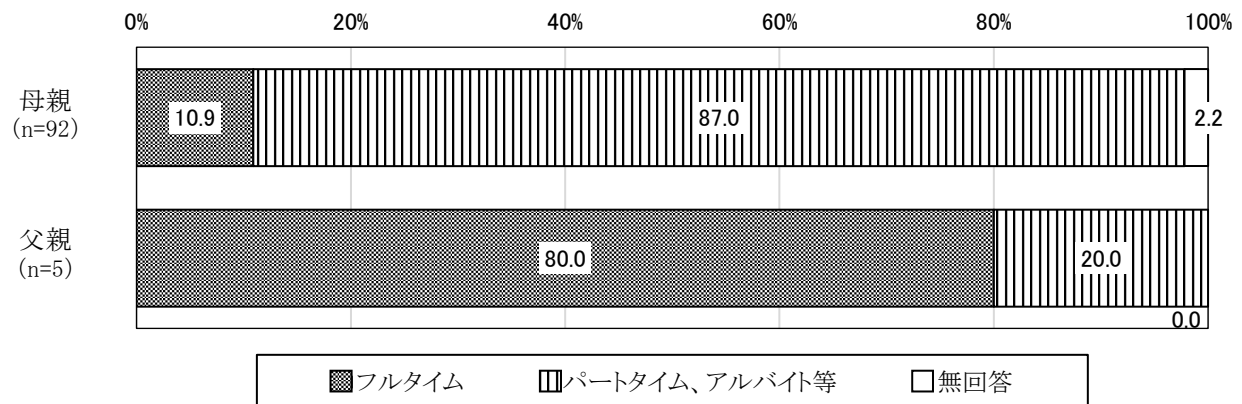
※問14で「すぐにでも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、87.0%となっています。次いで「フルタイム」が10.9%と続いています。

父親では「フルタイム」が最も多く、80.0%（5人中4人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



### 【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

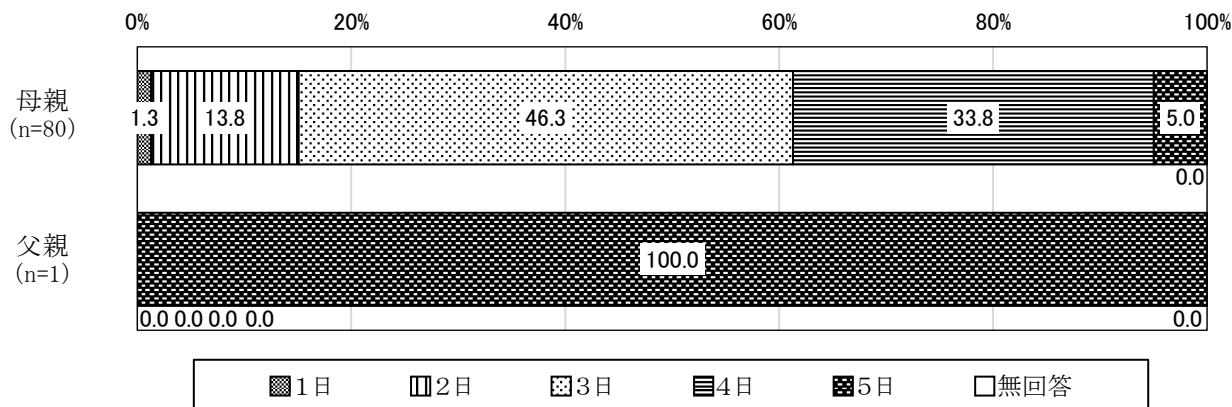
※問14で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「3日」が最も多く、46.3%となっています。次いで「4日」が33.8%、「2日」が13.8%と続いています。

父親では「5日」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



### 【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

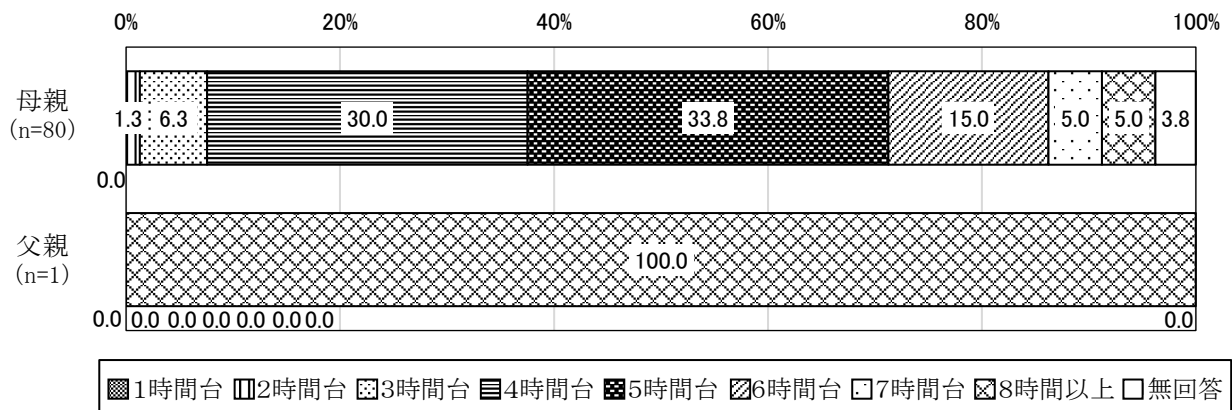
※問14で「パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「5時間台」が最も多く、33.8%となっています。次いで「4時間台」が30.0%、「6時間台」が15.0%と続いています。

父親では「8時間以上」が100%（1人中1人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



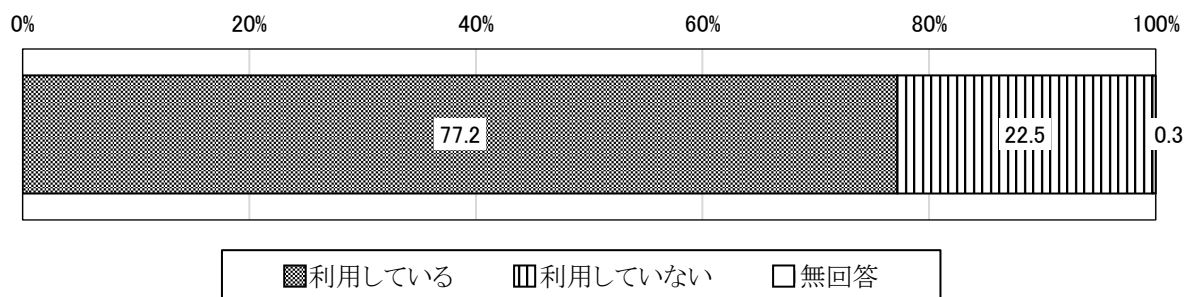
## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### (1) 利用の有無

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

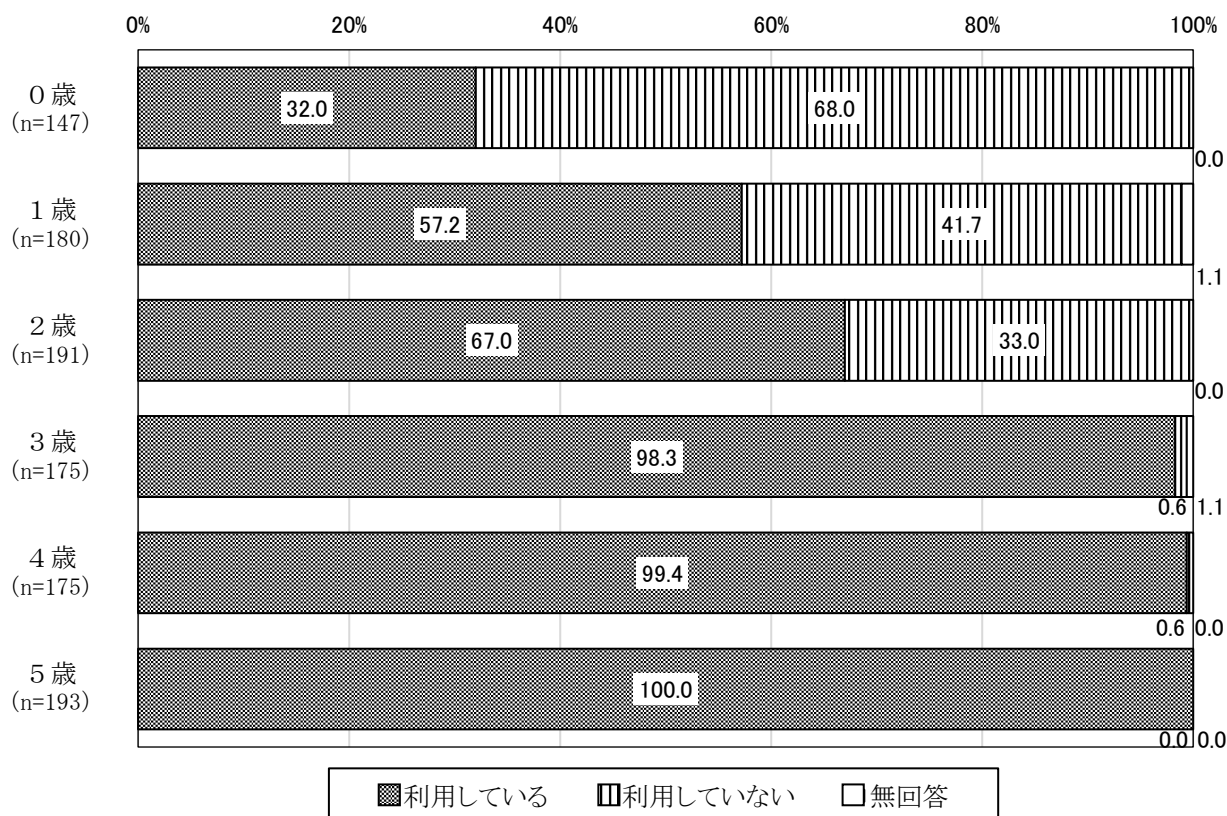
「利用している」が77.2%、「利用していない」が22.5%となっています。

n=1,074



### 【利用の有無－子どもの年齢（学年齢）別】

「利用している」は年齢（学年齢）が上がるほど多くなっており、0歳では32.0%、1歳では57.2%、2歳では67.0%、3歳では98.3%、4歳では99.4%、5歳では100%となっています。



## (2) 現在の利用状況と今後の利用希望

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいました。

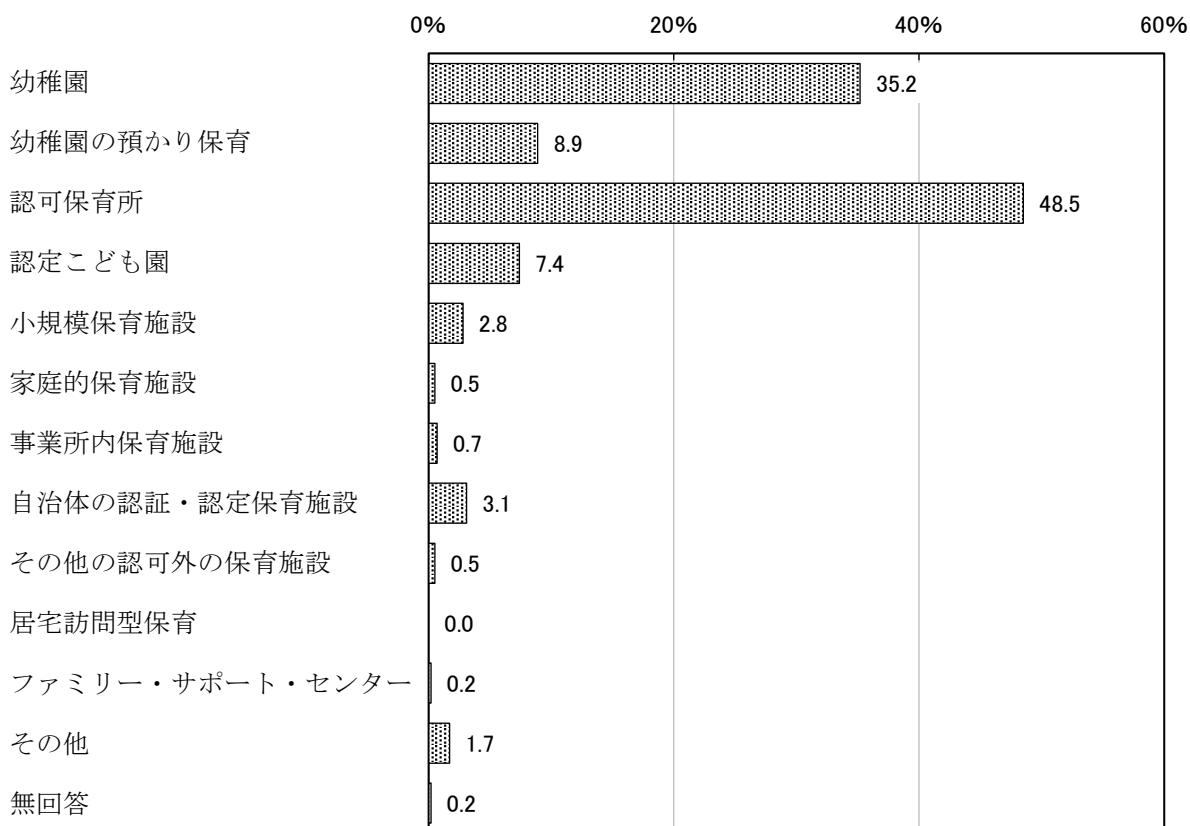
問15 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを定期的にどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のように24時間制でご記入ください。

### ①現在利用している事業

「認可保育所」が最も多く、48.5%となっています。次いで「幼稚園」が35.2%、「幼稚園の預かり保育」が8.9%、「認定こども園」が7.4%と続いています。

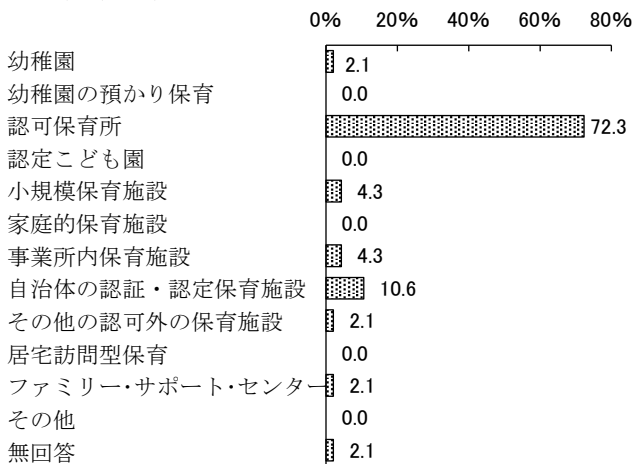
n=829（複数回答）



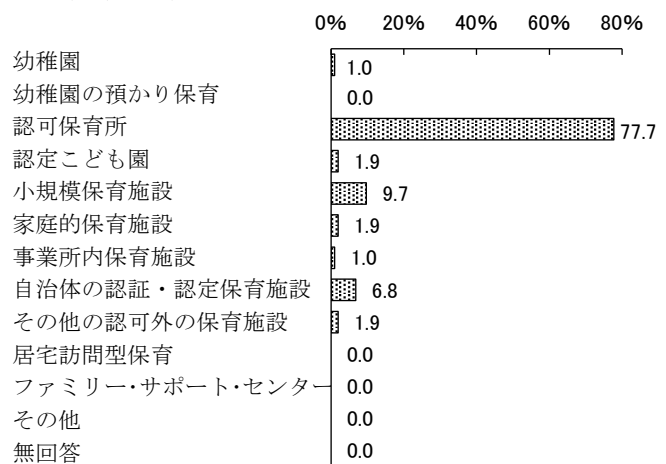
## 【現在利用している事業—子どもの年齢（学年齢）別】

現在利用している事業を年齢（学年齢）別にみると、0歳～2歳では「認可保育所」が最も多く、6割半ばから7割台となっています。3歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、約5割となっており、次いで「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」と続いています。

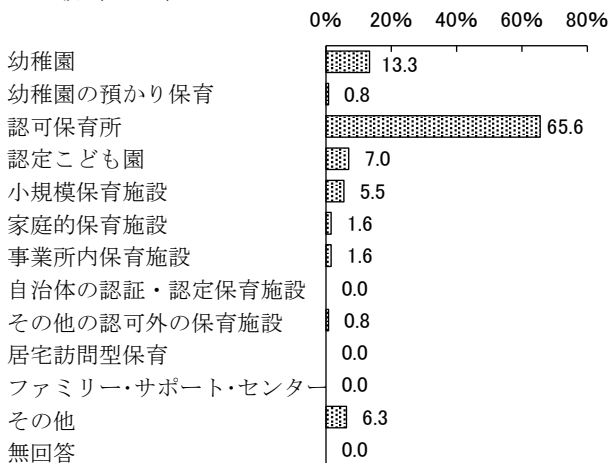
■ 0歳 (n=47)



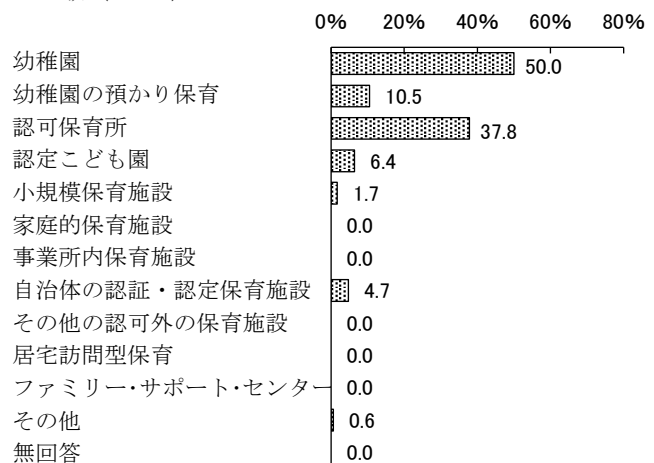
■ 1歳 (n=103)



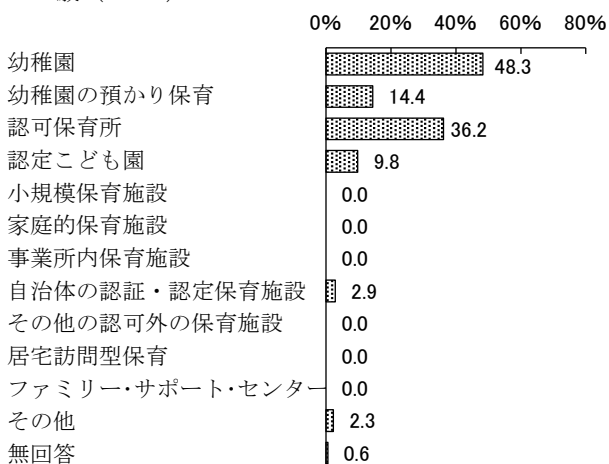
■ 2歳 (n=128)



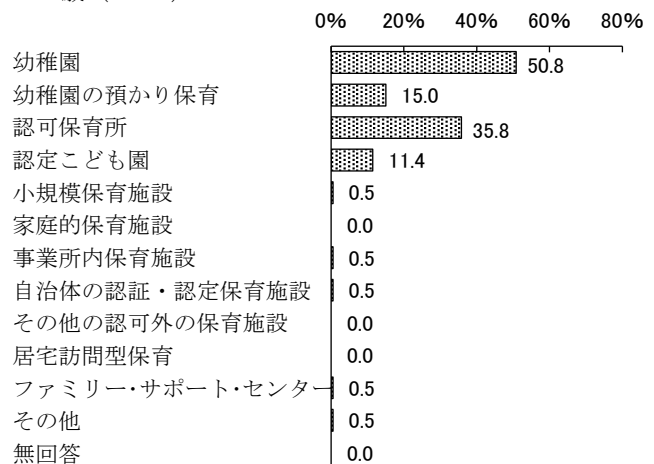
■ 3歳 (n=172)



■ 4歳 (n=174)



■ 5歳 (n=193)



## ②現在の利用状況

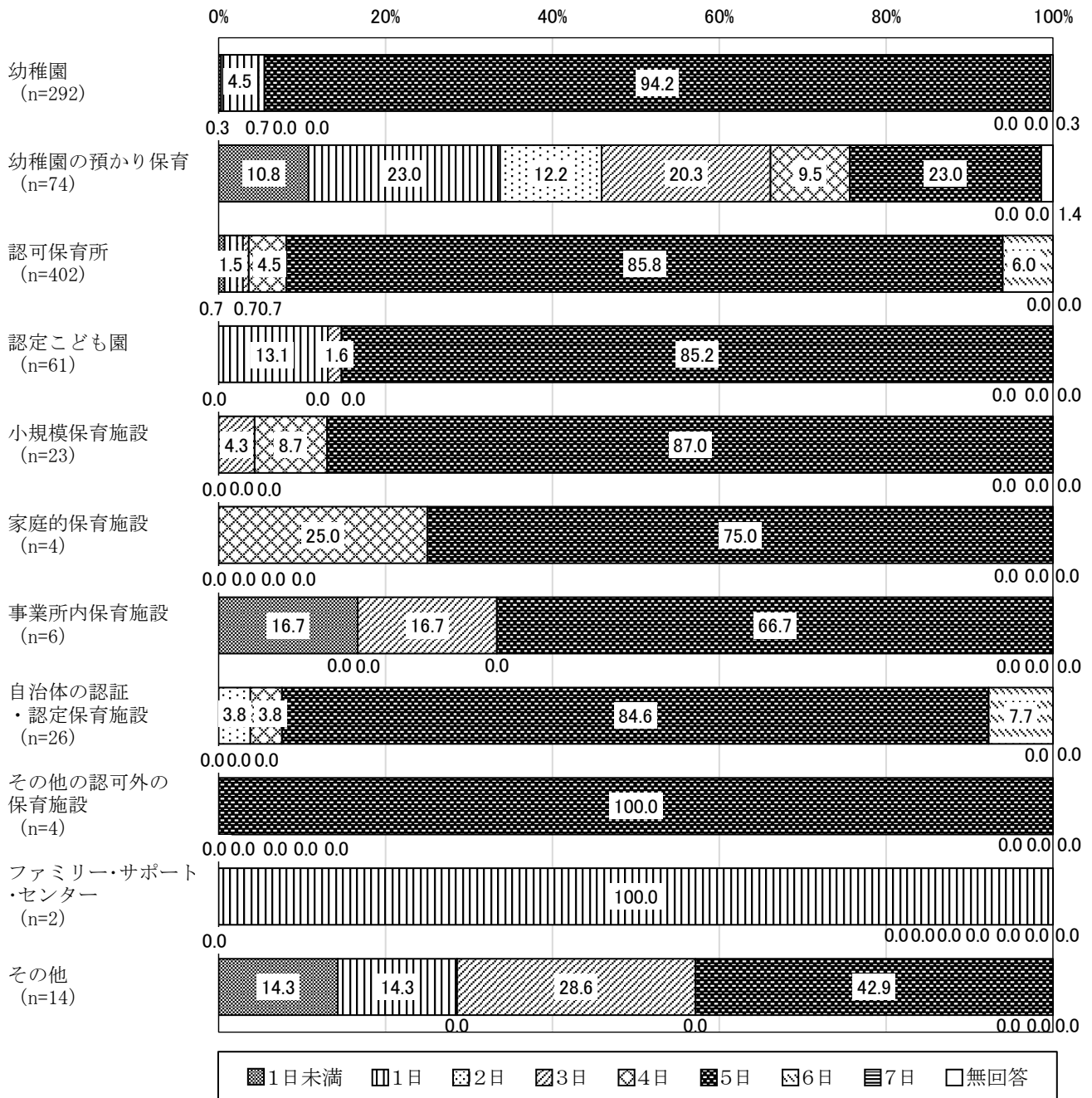
### 【1週当たりの利用日数】

“幼稚園” “認可保育所” “認定こども園” は「5日」が最も多く、いずれも85%を超えており、特に“幼稚園”では94.2%と多くなっています。“幼稚園の預かり保育”は「1日」と「5日」が最も多く、23.0%となっており、「3日」が20.3%、「2日」が12.2%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



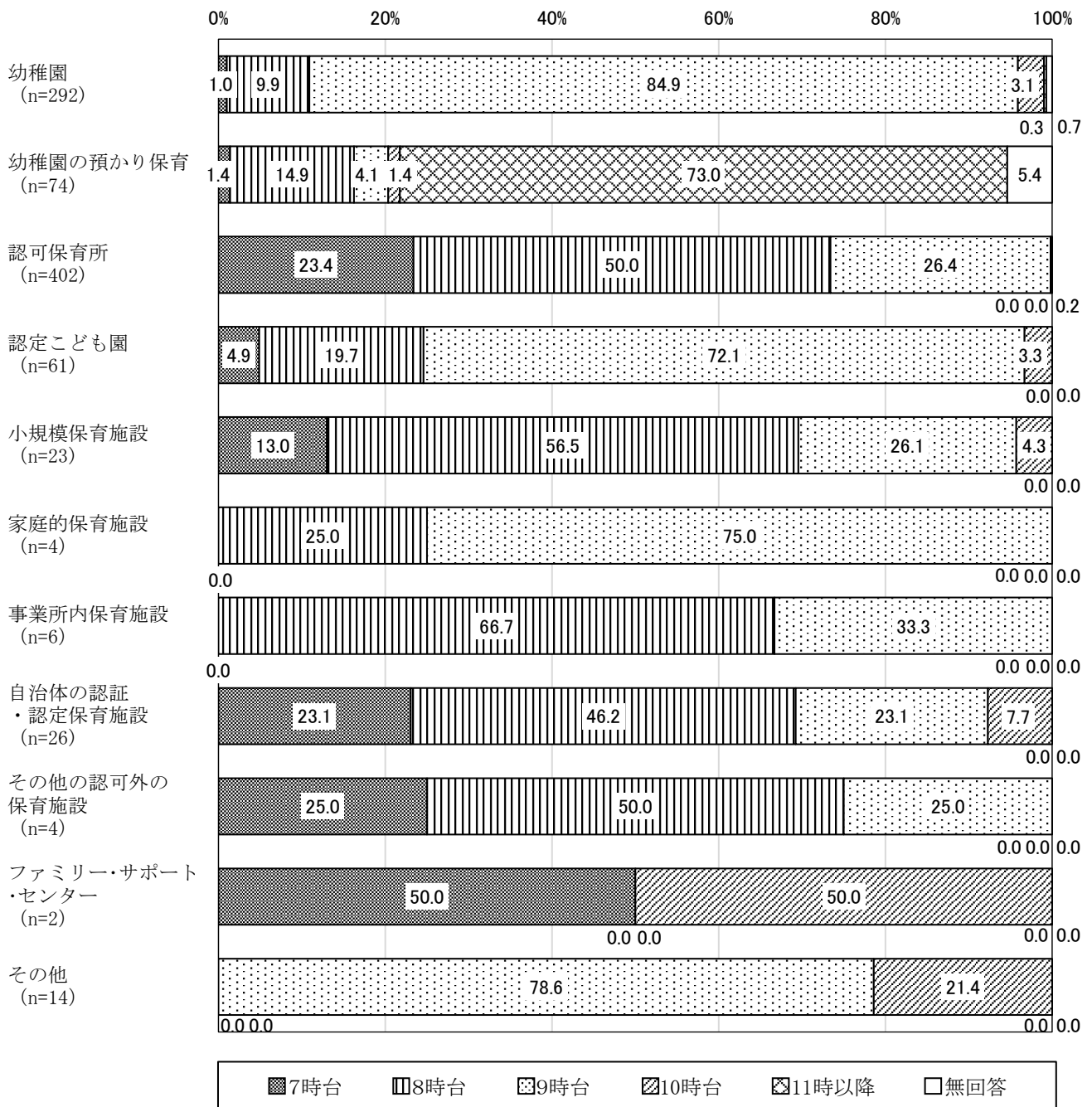
### 【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く84.9%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「11時以降」が最も多く、73.0%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、50.0%となっており、「9時台」が26.4%、「7時台」が23.4%と続いています。“認定こども園”は「9時台」が最も多く、72.1%となっています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



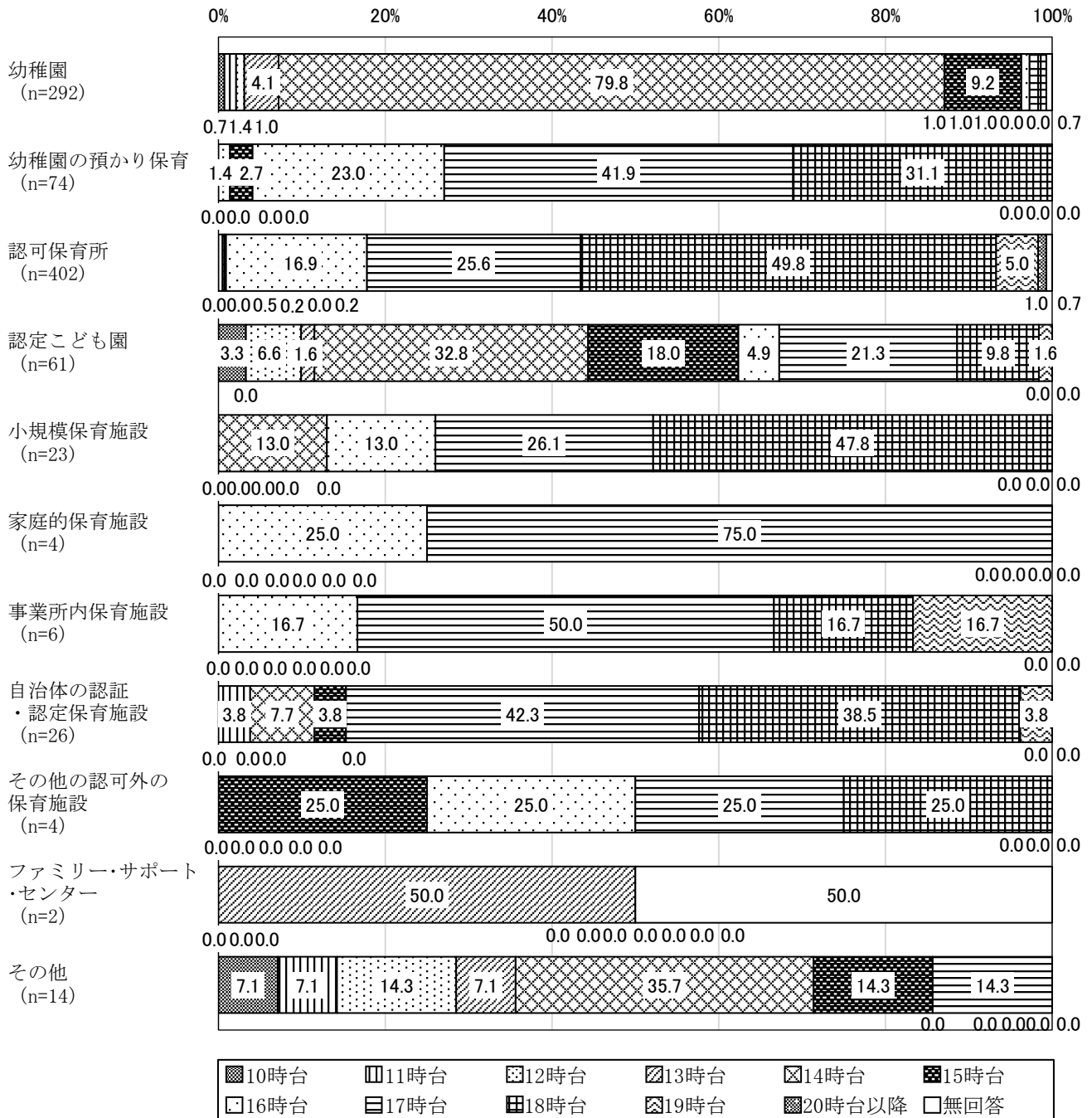
### 【1日当たりの利用時間：終了時間】

“幼稚園”は「14時台」が最も多く79.8%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「17時台」が最も多く、41.9%となっており、「18時台」が31.1%、「16時台」が23.0%と続いています。“認可保育所”は「18時台」が最も多く、49.8%となっており、「17時台」が25.6%と続いています。“認定こども園”は「14時台」が最も多く、32.8%となっており、「17時台」が21.3%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。





## ②今後の利用希望

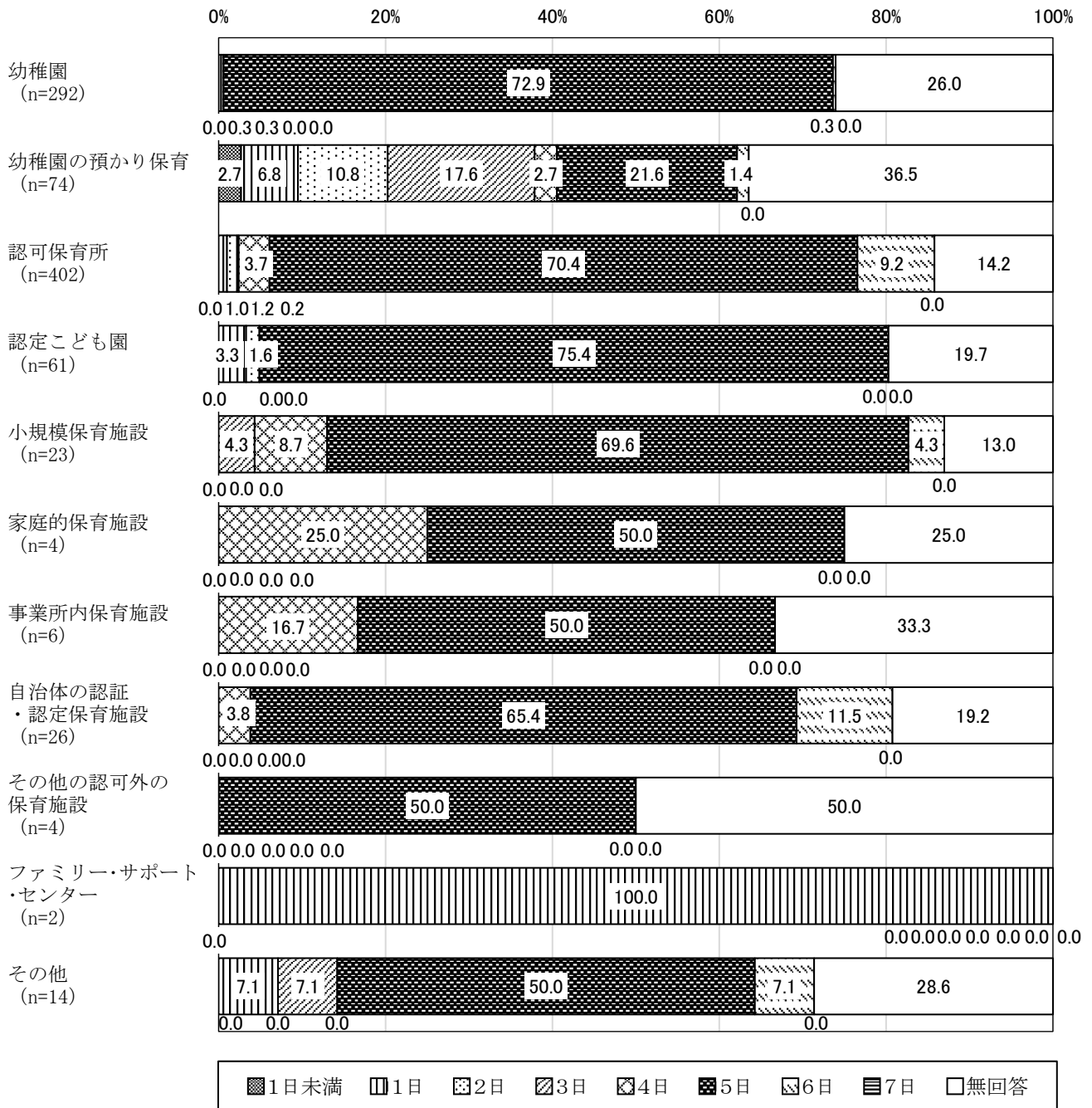
### 【1週当たりの利用日数】

“幼稚園” “認可保育所” “認定こども園” は「5日」が最も多く、いずれも70%を超えており、特に“認定こども園”では75.4%と多くなっています。“幼稚園の預かり保育”は「5日」が最も多く、21.6%となっており、「3日」が17.6%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設”

“その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

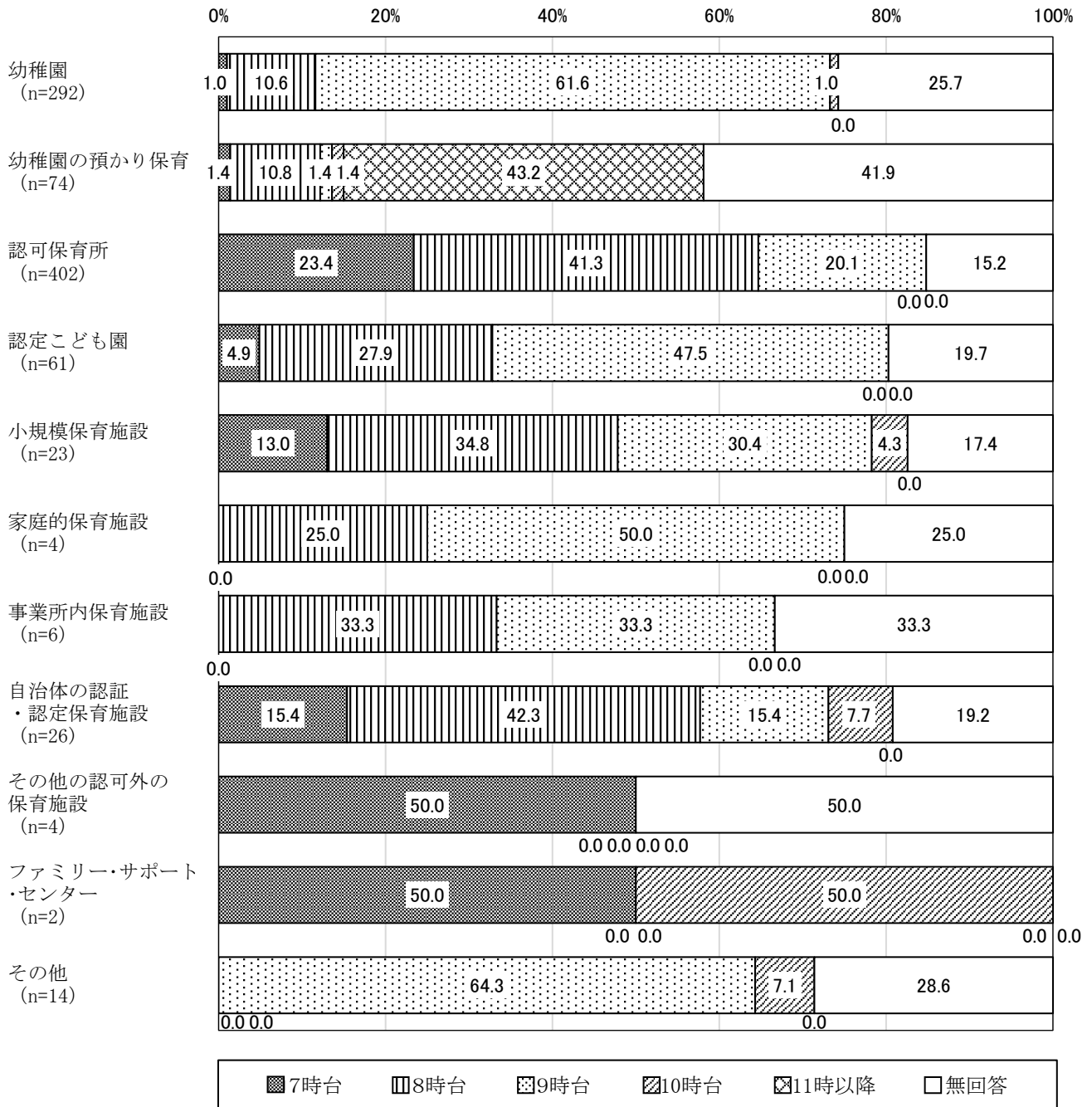


### 【1日当たりの利用時間：開始時間】

“幼稚園”は「9時台」が最も多く61.6%となっています。“幼稚園の預かり保育”は「11時以降」が最も多く、43.2%となっています。“認可保育所”は「8時台」が最も多く、41.3%となっており、「7時台」が23.4%、「9時台」が20.1%と続いています。“認定こども園”は「9時台」が最も多く、47.5%となっており、「8時台」が27.9%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

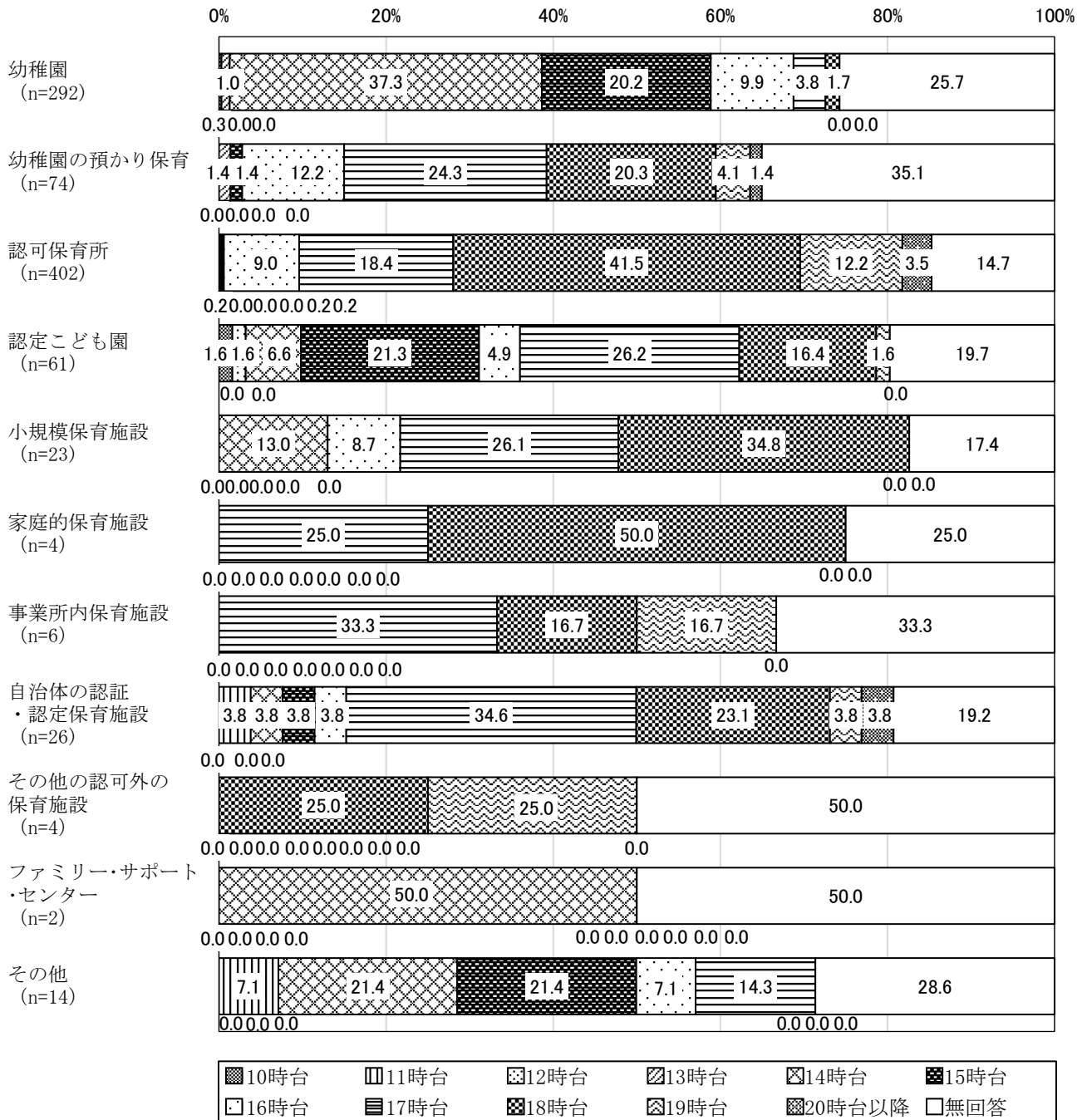


**【1日当たりの利用時間：終了時間】**

“幼稚園”は「14時台」が最も多く、37.3%となっており、「15時台」が20.2%と続いています。“幼稚園の預かり保育”は「17時台」が最も多く、24.3%となっており、「18時台」が20.3%と続いています。“認可保育所”は「18時台」が最も多く、41.5%となっています。“認定こども園”は「17時台」が最も多く、26.2%となっており、「15時台」が21.3%と続いています。

※ “居宅訪問型保育”は、回答対象者がいませんでした。

※ “小規模保育施設” “家庭的保育施設” “事業所内保育施設” “自治体の認証・認定保育施設” “その他の認可外の保育施設” “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。



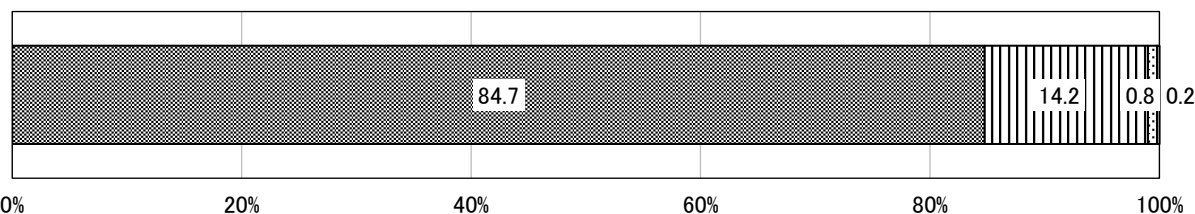
### (3) 利用場所

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいました。

問15-2 問15-1であげたような幼稚園や保育園などの現在の利用場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東久留米市内」が最も多く、84.7%となっています。次いで「清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市」が14.2%と続いています。

n=829



■東久留米市内 □清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市 ▨その他の区市町村 □無回答

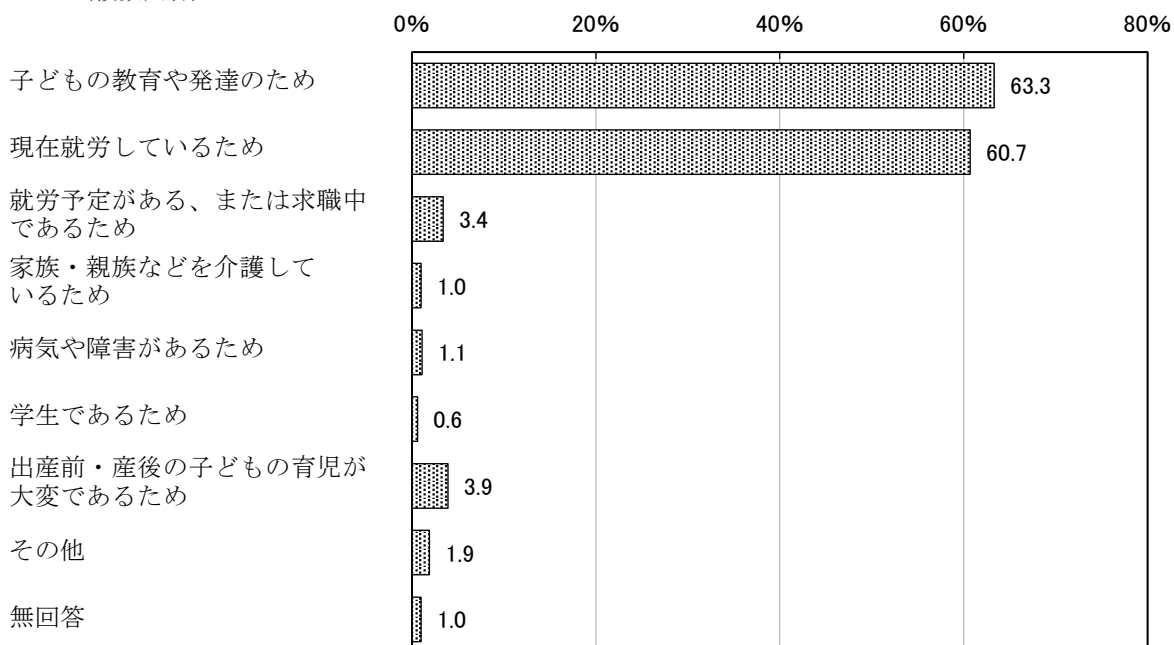
### (4) 利用している理由

※問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいました。

問15-3 子育てをしている方が、平日（月～金）に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」が最も多く、63.3%となっています。次いで「子育てをしている方が現在就労しているため」が60.7%と続いています。

n=829 (複数回答)



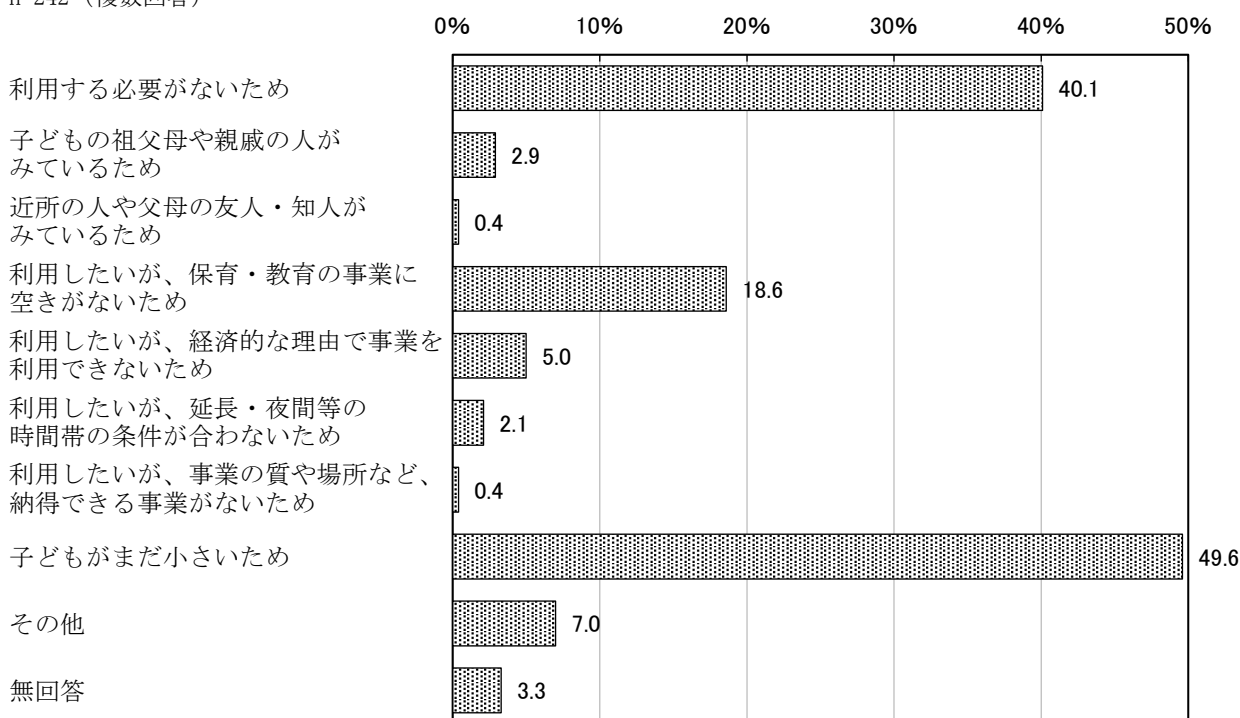
## (5) 利用していない理由

※問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問15-4 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

「子どもがまだ小さいため」が最も多く、49.6%となっています。次いで「(子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がないため」が40.1%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」が18.6%と続いています。

n=242 (複数回答)

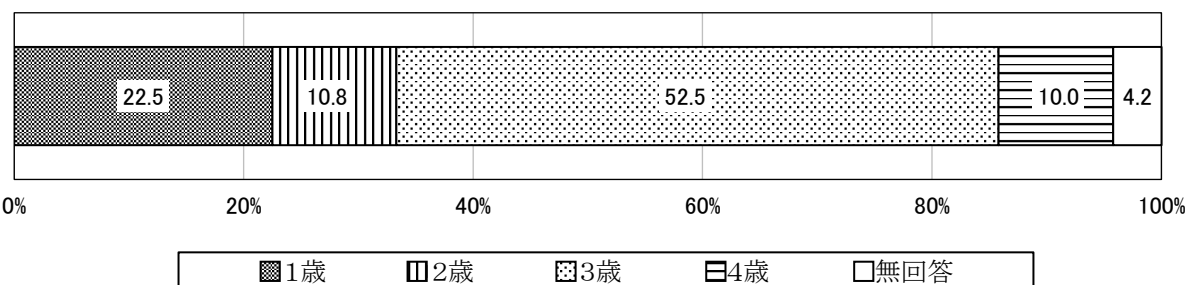


## 【子どもが何歳くらいになったら利用したいか】

※問15-4で「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方にうかがいました。

「3歳」が最も多く、52.5%となっています。次いで「1歳」が22.5%、「2歳」が10.8%と続いています。

n=120

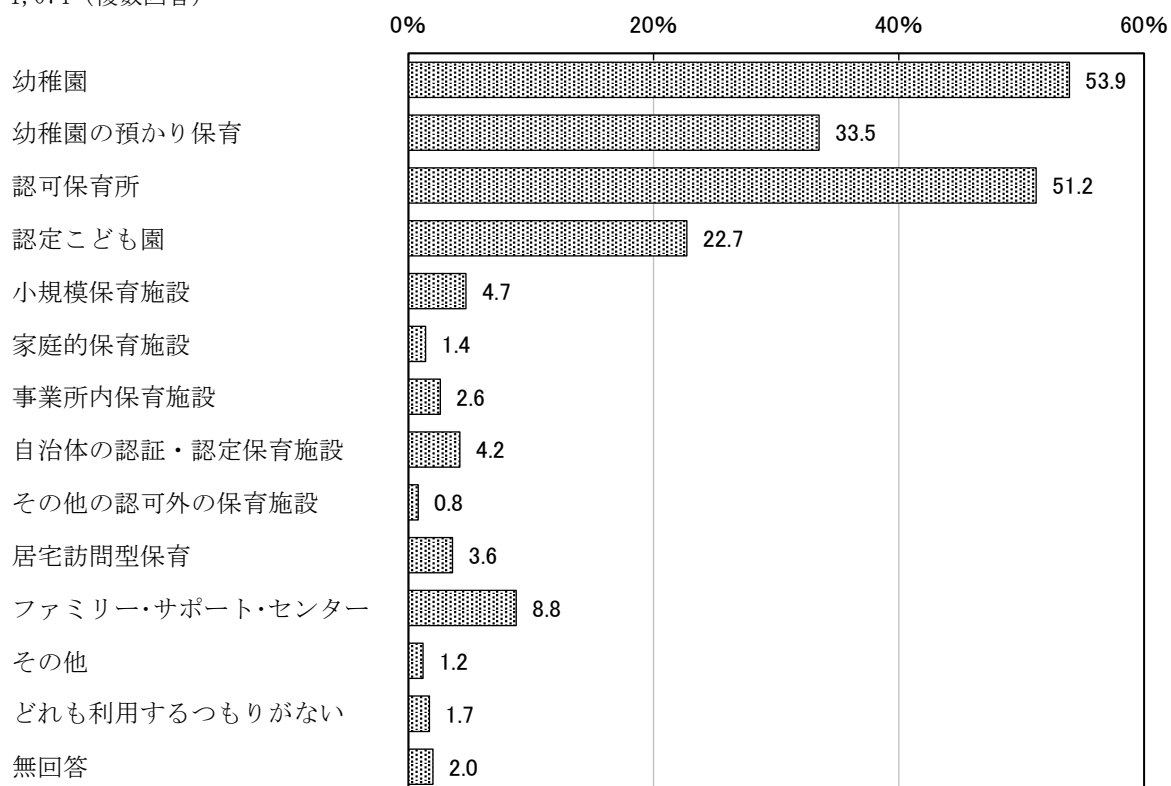


## (6) 定期的な教育・保育事業の利用希望

問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」が最も多く、53.9%となっています。次いで「認可保育所」が51.2%、「幼稚園の預かり保育」が33.5%、「認定こども園」が22.7%と続いています。

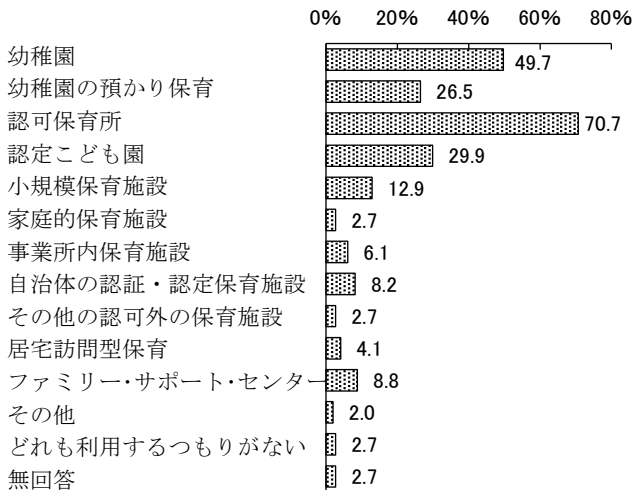
n=1,074（複数回答）



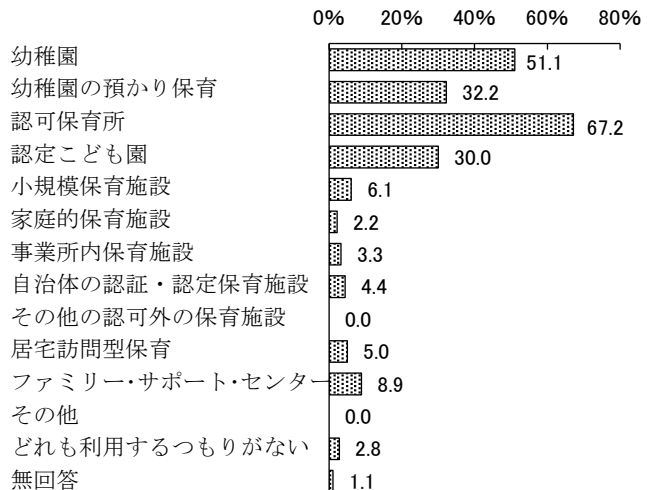
## 【定期的な教育・保育事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

定期的な教育・保育事業の利用希望を年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では「認可保育所」が最も多く、6割後半から約7割となっています。2歳では「幼稚園」と「認可保育所」がどちらも5割を超え、多くなっています。3歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、いずれも5割後半となっています。

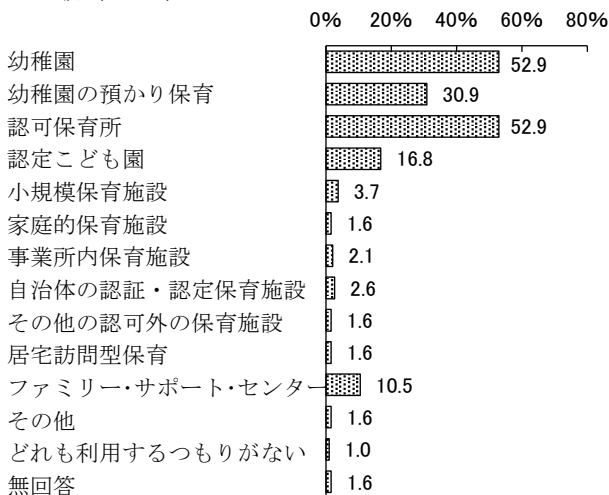
■ 0歳 (n=147)



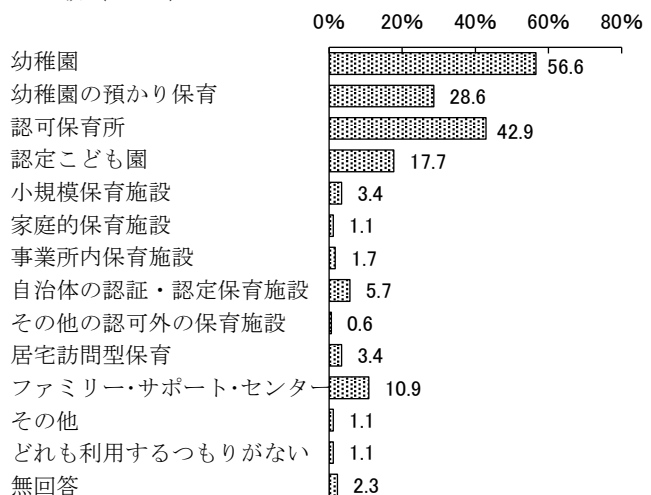
■ 1歳 (n=180)



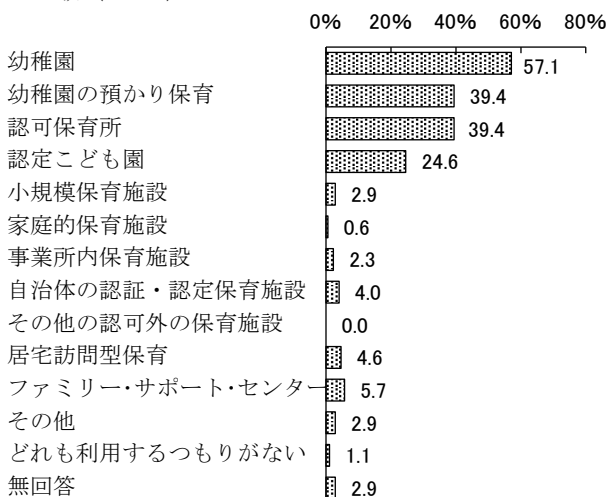
■ 2歳 (n=191)



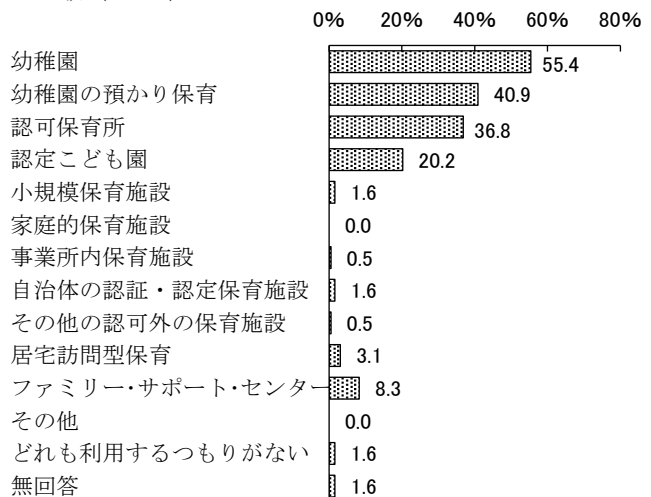
■ 3歳 (n=175)



■ 4歳 (n=175)



■ 5歳 (n=193)



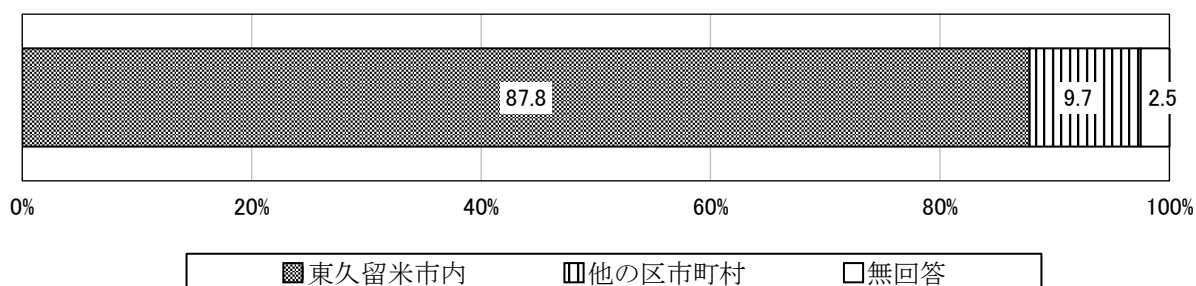
## (7) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所

※問16で「1. 幼稚園」から「12. その他」のいずれかに○をつけた方にかがいました。

問16-1 問16のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東久留米市内」が87.8%、「他の区市町村」が9.7%となっています。

n=1,035



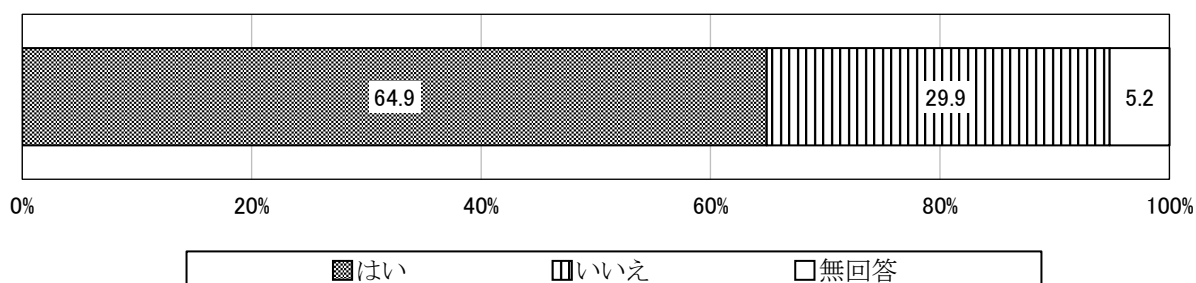
## (8) 幼稚園を利用したい強い希望の有無

※問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「12. その他」のいずれかに○をつけた方にかがいました。

問16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」が64.9%、「いいえ」が29.9%となっています。

n=271



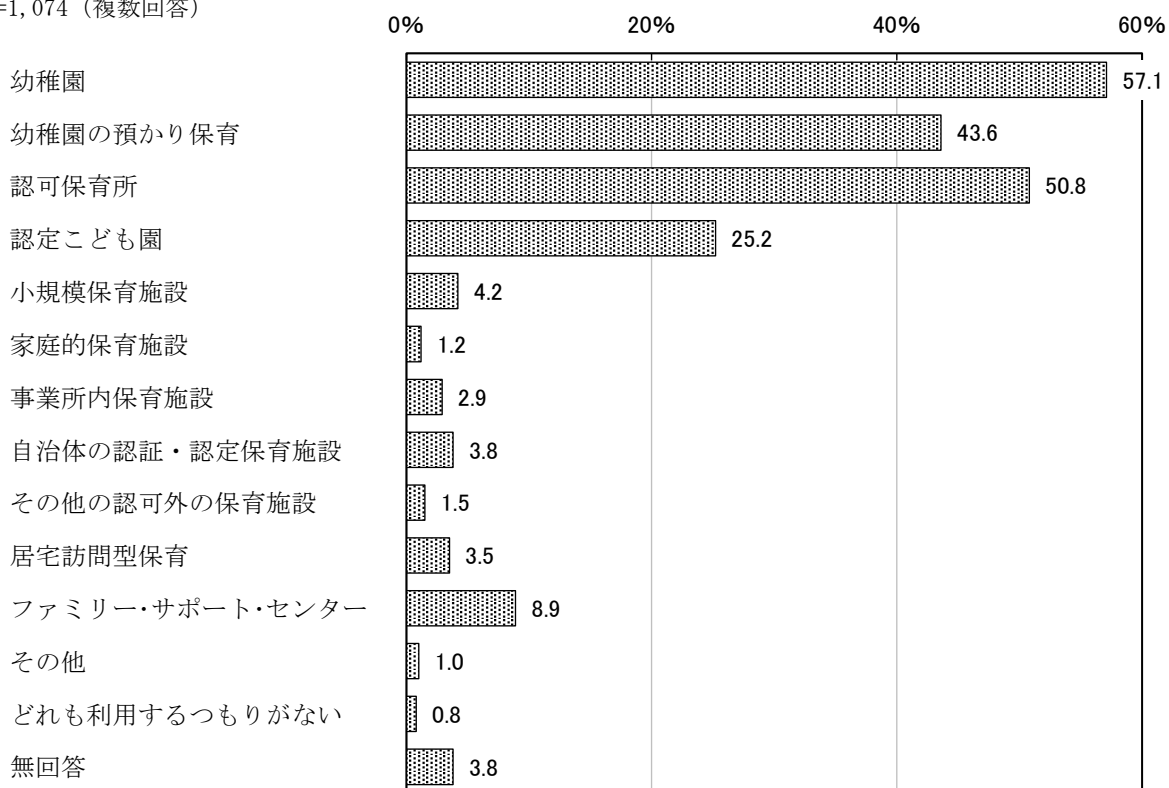


## (9) 幼児教育の無償化が拡大した場合の定期的な教育・保育事業の利用希望

問16-3 すべての方にうかがいます。前ページに記載した内容で幼児教育の無償化が拡大した場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」が最も多く、57.1%となっています。次いで「認可保育所」が50.8%、「幼稚園の預かり保育」が43.6%、「認定こども園」が25.2%と続いています。

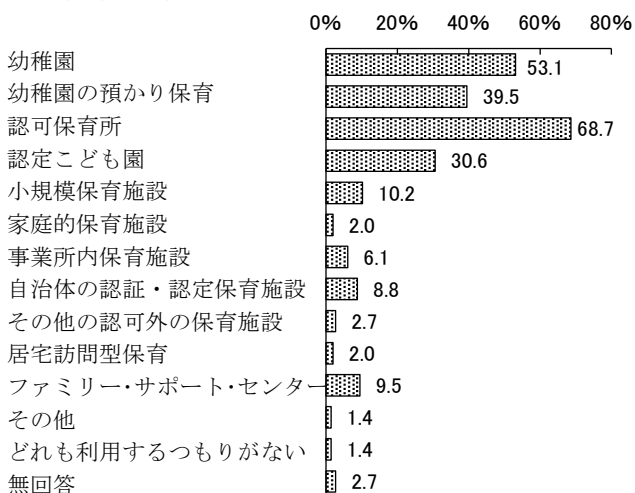
n=1,074（複数回答）



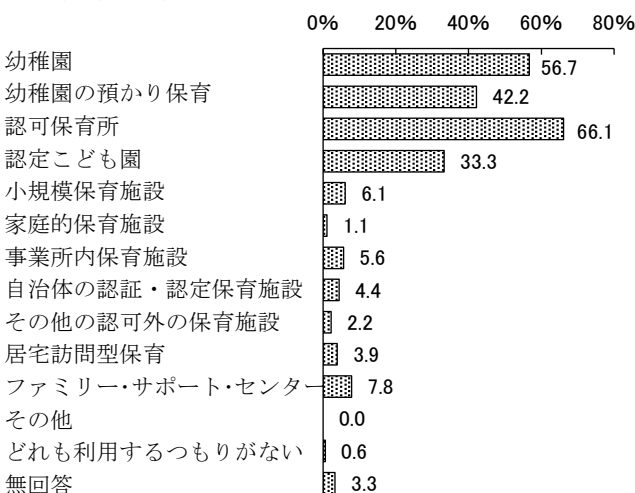
## 【幼児教育の無償化が拡大した場合の事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

幼児教育の無償化が拡大した場合の定期的な教育・保育事業の利用希望を年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では「認可保育所」が6割後半と最も多く、次いで「幼稚園」が5割台、「幼稚園の預かり保育」が4割前後と続いています。2歳～5歳では「幼稚園」が最も多く、いずれも5割後半となっています。

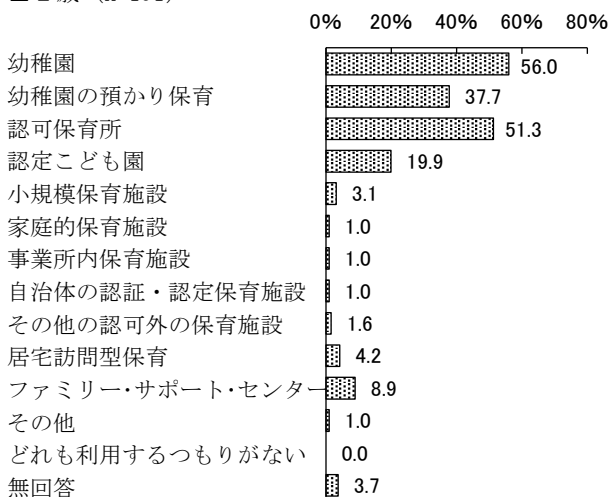
■ 0歳 (n=147)



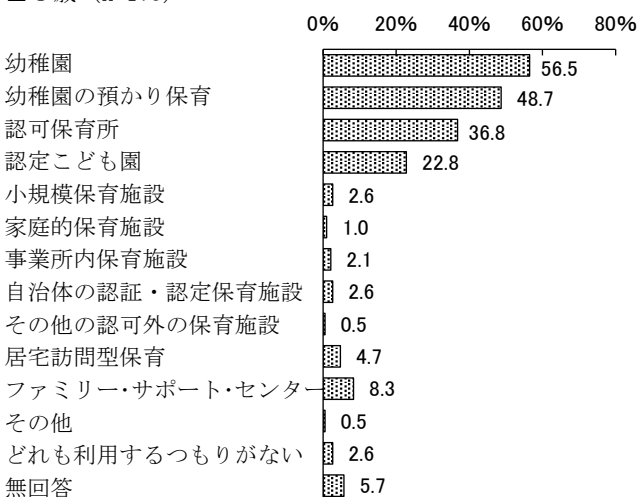
■ 1歳 (n=180)



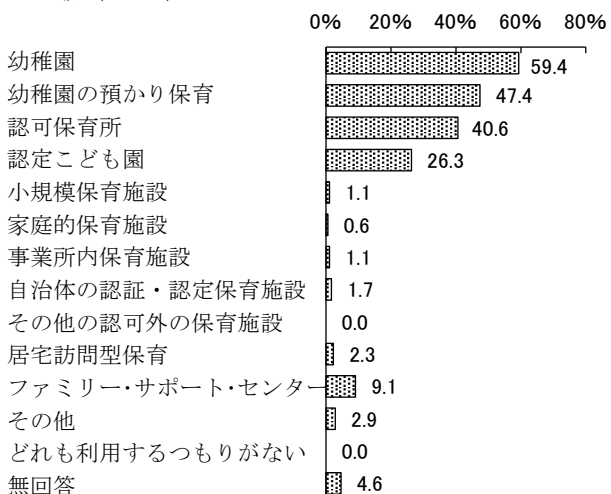
■ 2歳 (n=191)



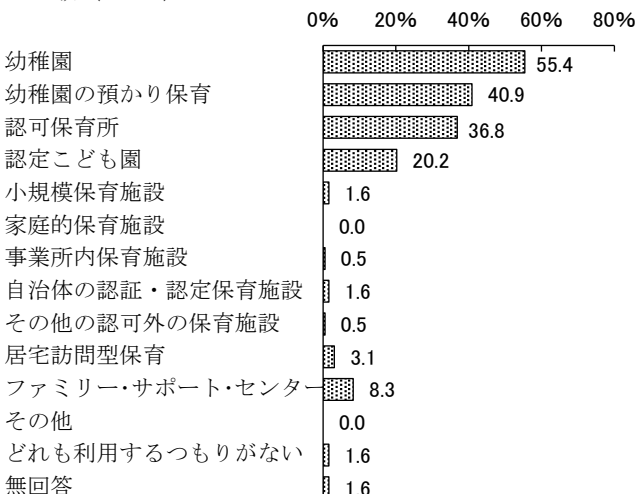
■ 3歳 (n=175)



■ 4歳 (n=175)



■ 5歳 (n=193)



## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

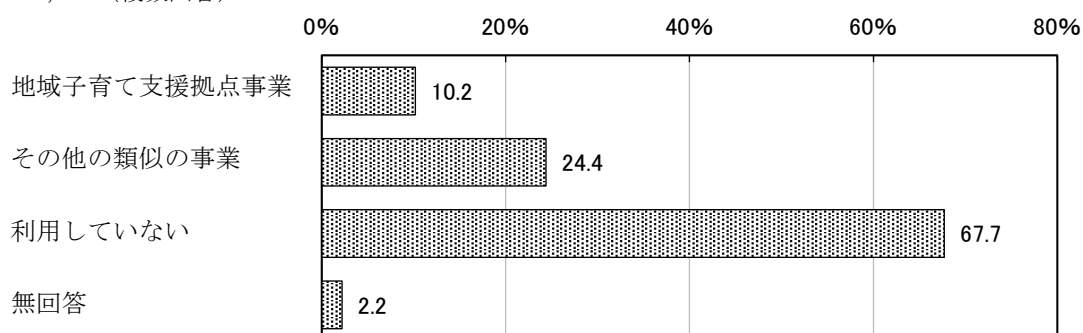
### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

#### ①利用状況

「利用していない」が最も多く、67.7%となっています。次いで「その他の類似の事業」が24.4%、「地域子育て支援拠点事業」が10.2%と続いています。

n=1,074（複数回答）

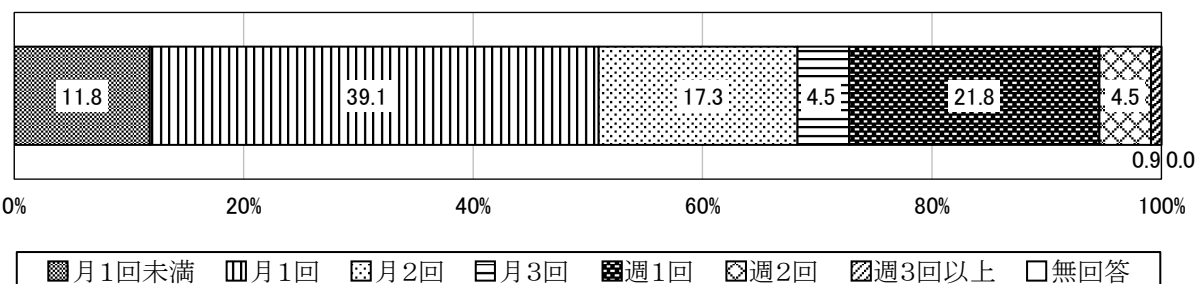


#### ②「地域子育て支援拠点事業」の利用回数（頻度）

※問17で「1. 地域子育て支援拠点事業」に○をつけた方にうかがいました。

「月1回」が最も多く、39.1%となっています。次いで「週1回」が21.8%、「月2回」が17.3%と続いています。

n=110

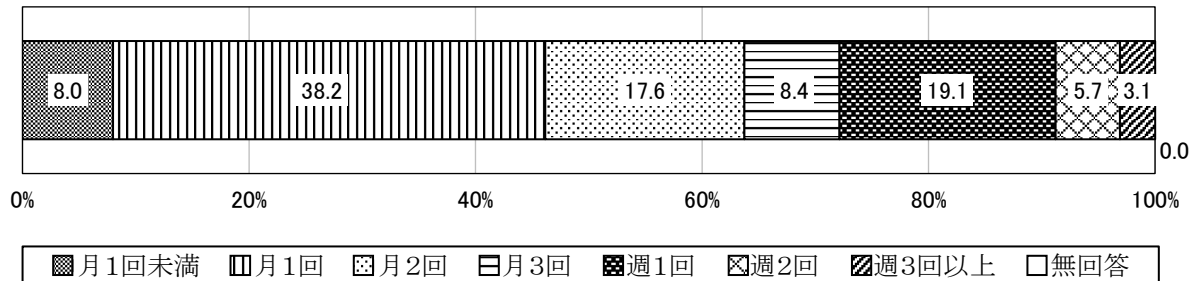


### ③ 「その他の類似の事業」の利用回数（頻度）

※問17で「2. その他の類似の事業」に○をつけた方にうかがいました。

「月1回」が最も多く、38.2%となっています。次いで「週1回」が19.1%、「月2回」が17.6%と続いています。

n=262



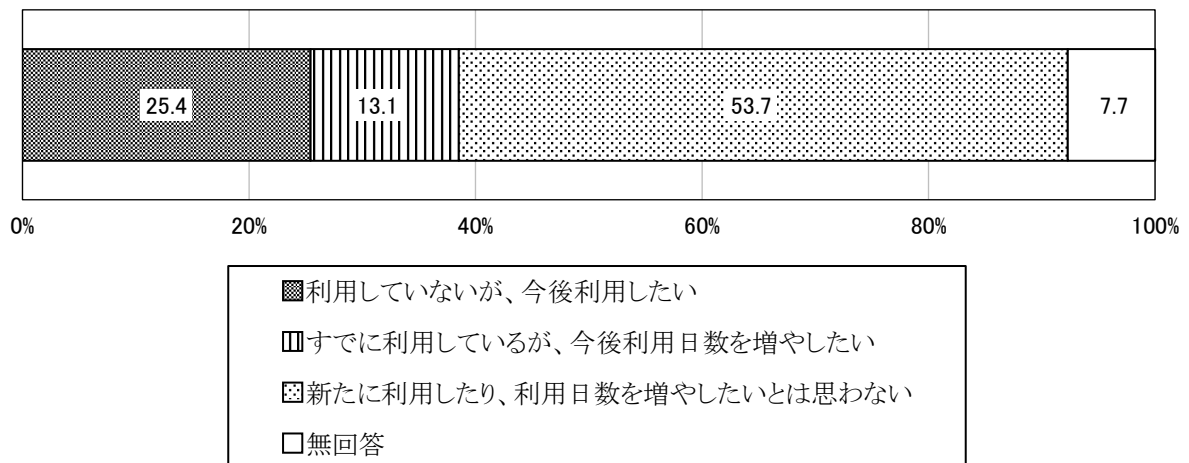
## （2）地域子育て支援拠点事業の利用意向

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

### ①利用意向

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く、53.7%となっています。次いで「利用していないが、今後利用したい」が25.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.1%と続いています。

n=1,074

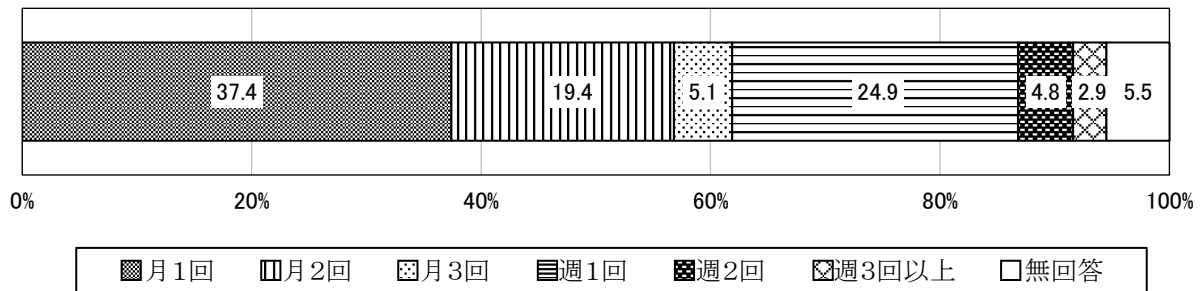


## ②今後利用したい回数

※問18で「1. 利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「月1回」が最も多く、37.4%となっています。次いで「週1回」が24.9%、「月2回」が19.4%と続いています。

n=273

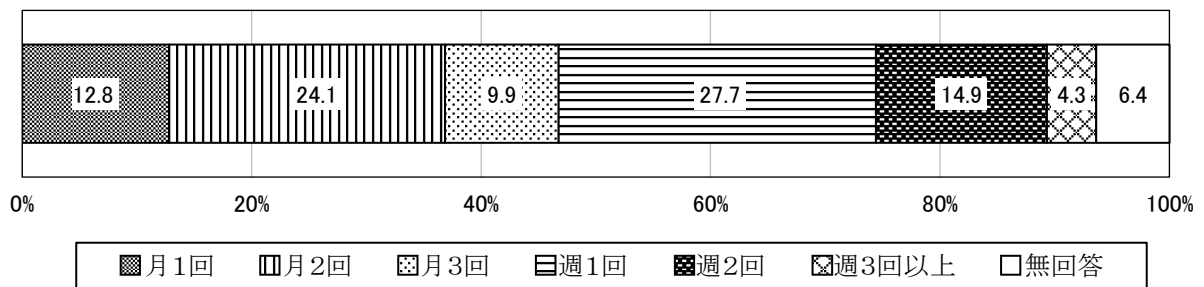


## ③利用日数を増やしたい回数

※問18で「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方にかがいました。

「週1回」が最も多く、27.7%となっています。次いで「月2回」が24.1%、「週2回」が14.9%と続いています。

n=141



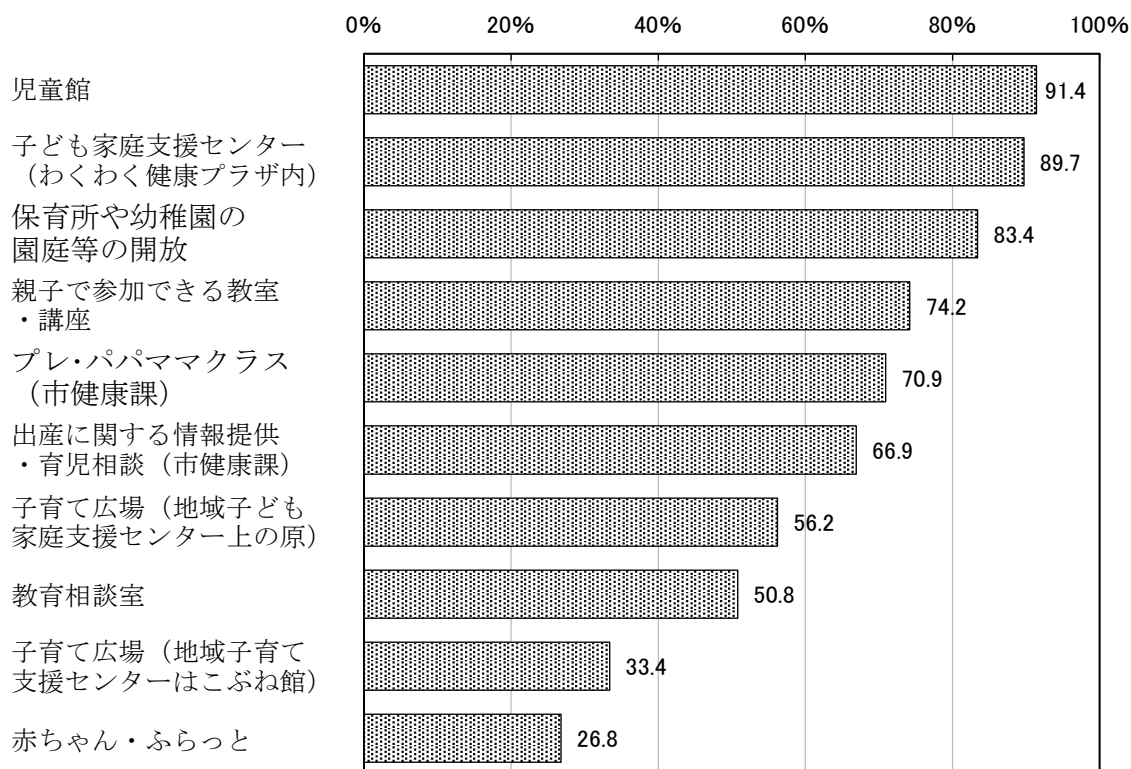
### (3) 子育て支援事業の認知状況・利用状況・利用意向

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

#### ①認知状況

「児童館」が最も多く、91.4%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が89.7%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が83.4%、「親子で参加できる教室・講座」が74.2%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が70.9%、「出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）」が66.9%と続いています。

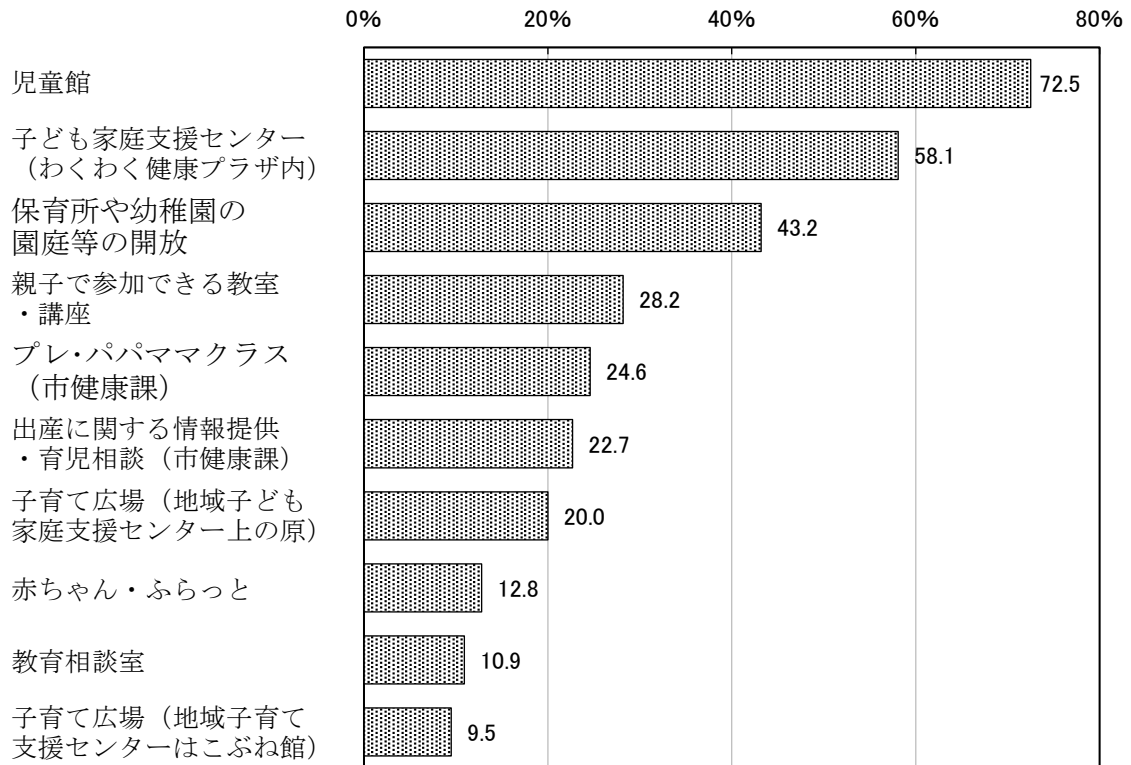
n=1,074



## ②利用状況

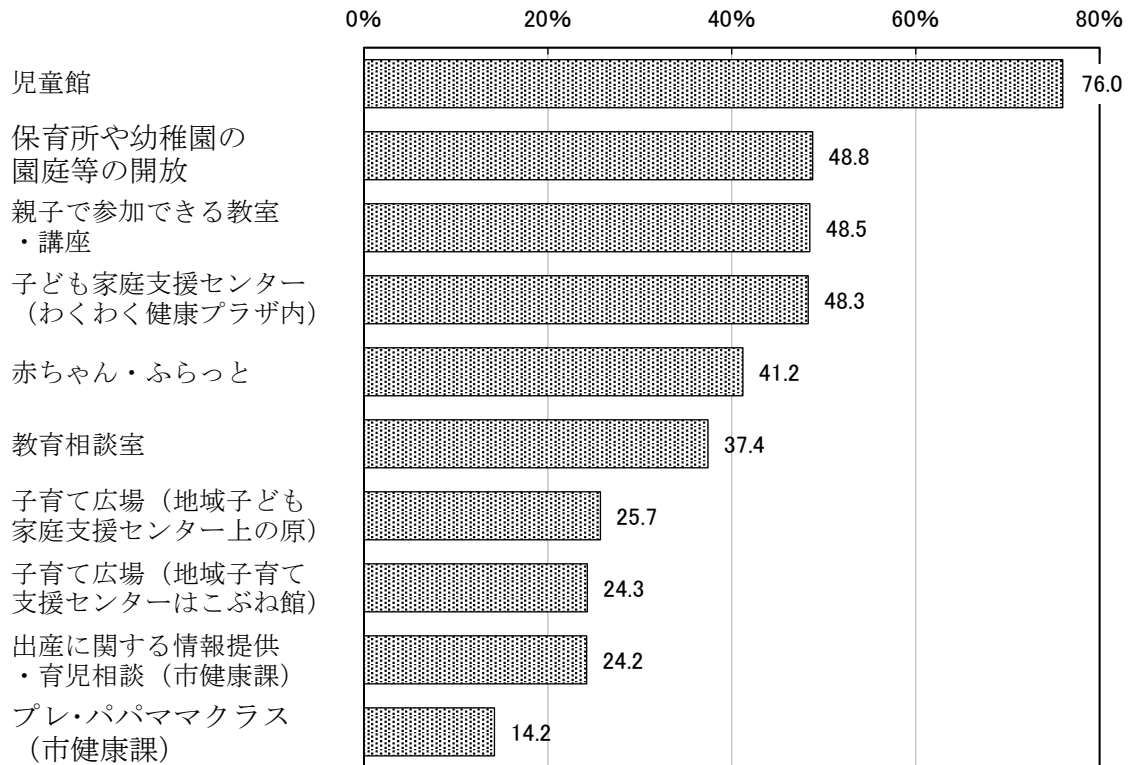
「児童館」が最も多く、72.5%となっています。次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が58.1%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が43.2%、「親子で参加できる教室・講座」が28.2%、「プレ・パパママクラス（市健康課）」が24.6%と続いています。

n=1,074



### ③利用意向

「児童館」が最も多く、76.0%となっています。次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が48.8%、「親子で参加できる教室・講座」が48.5%、「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が48.3%、「赤ちゃん・ふらっと」が41.2%、「教育相談室」が37.4%と続いています。





## 7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

### (1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

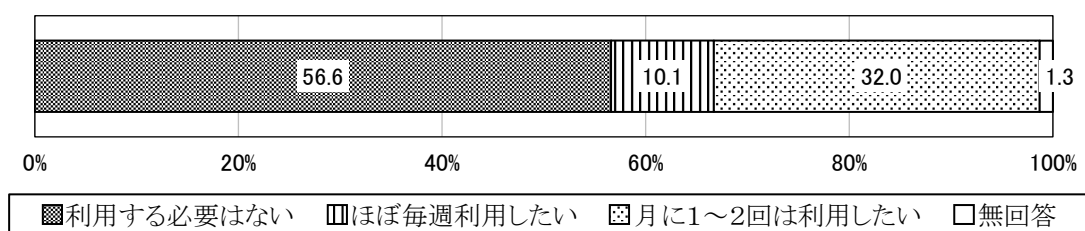
※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

#### ①土曜日

##### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、56.6%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が32.0%、「ほぼ毎週利用したい」が10.1%と続いています。

n=1,074

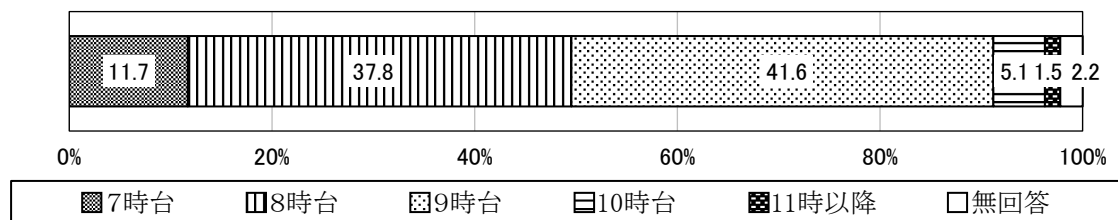


##### 【利用開始時間】

※問20 (1) で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「9時台」が最も多く、41.6%となっています。次いで「8時台」が37.8%、「7時台」が11.7%と続いています。

n=452

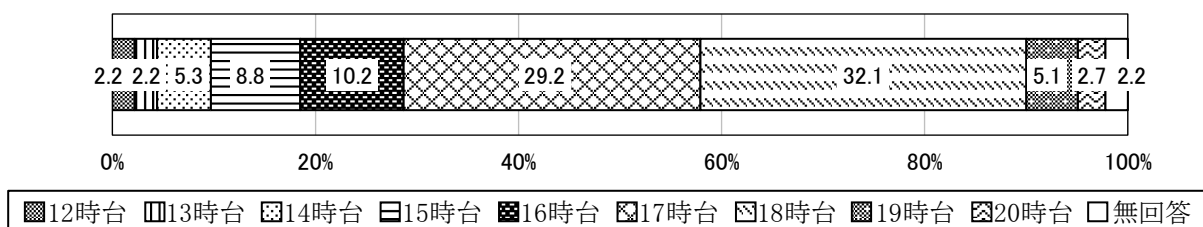


##### 【利用終了時間】

※問20 (1) で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「18時台」が最も多く、32.1%となっています。次いで「17時台」が29.2%、「16時台」が10.2%と続いています。

n=452

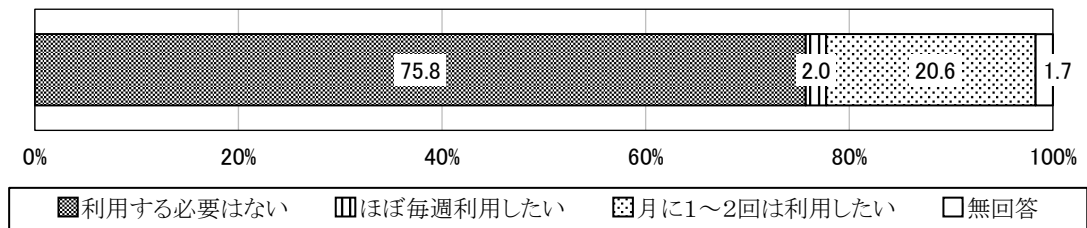


## ②日曜日・祝日

### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、75.8%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」が20.6%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%と続いています。

n=1,074

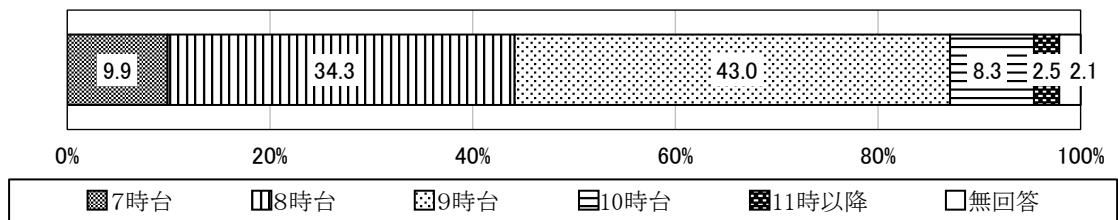


### 【利用開始時間】

※問20(2)で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「9時台」が最も多く、43.0%となっています。次いで「8時台」が34.3%、「7時台」が9.9%と続いています。

n=242

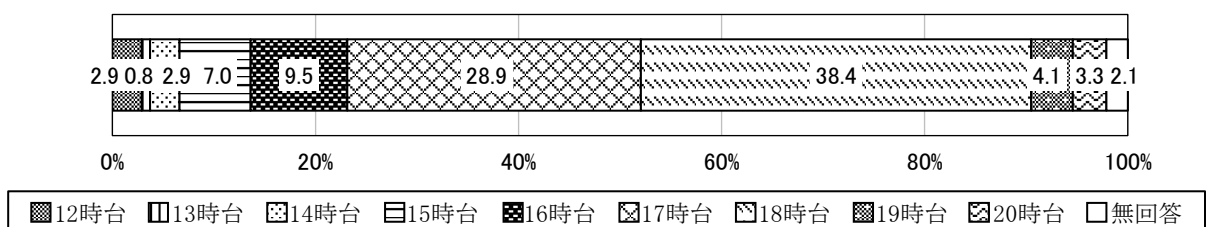


### 【利用終了時間】

※問20(2)で「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「18時台」が最も多く、38.4%となっています。次いで「17時台」が28.9%、「16時台」が9.5%と続いています。

n=242



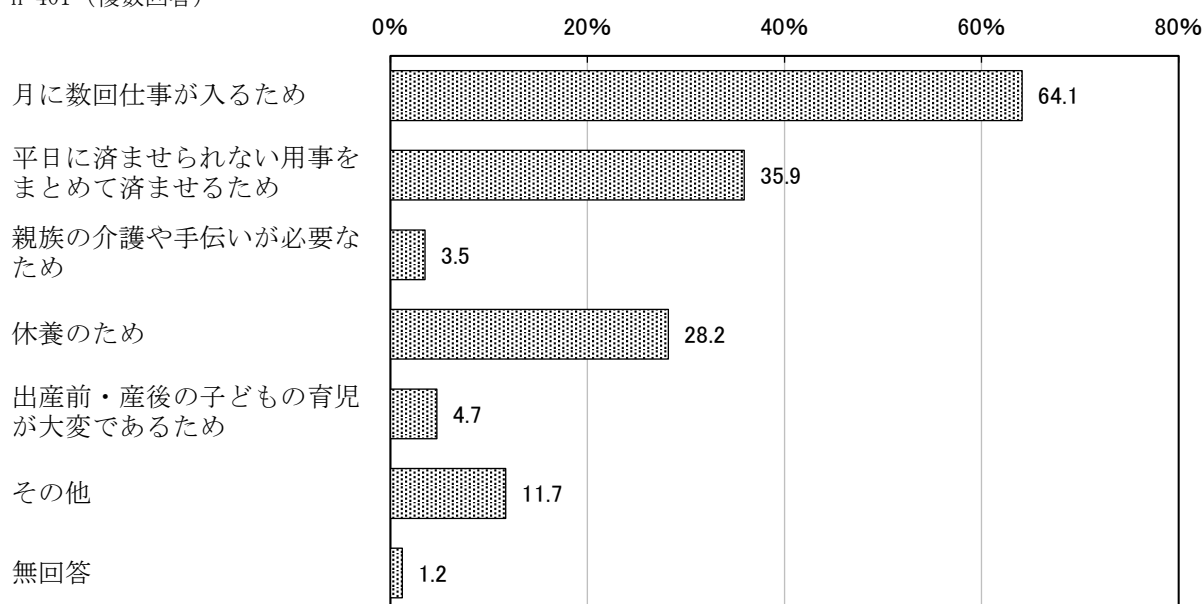
## (2) 土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問20の(1)もしくは(2)で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が最も多く、64.1%となっています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.9%、「休養のため」が28.2%と続いています。

n=401 (複数回答)



### (3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

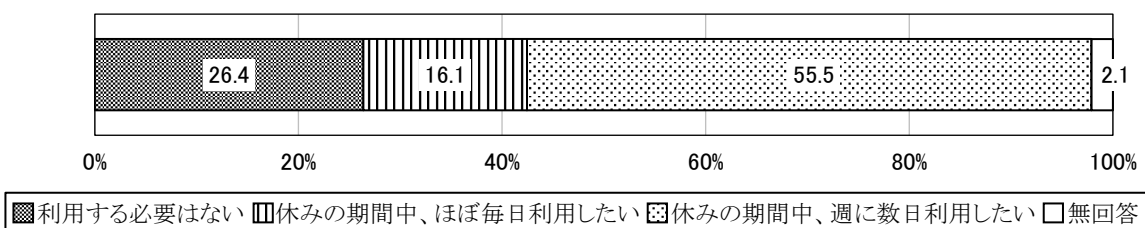
※問15-1で「1. 幼稚園」に○をつけた方うかがいました。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

#### 【利用希望】

「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多く、55.5%となっています。次いで「利用する必要はない」が26.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.1%と続いています。

n=292

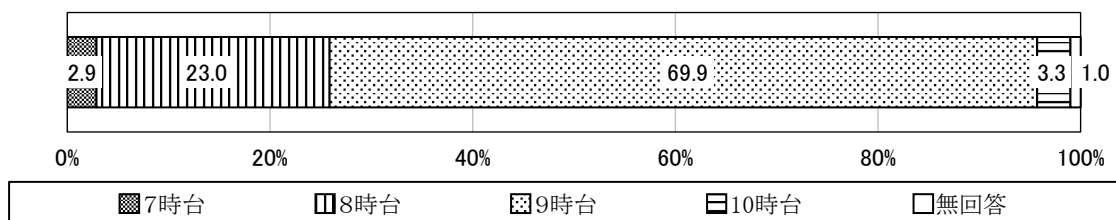


#### 【利用開始時間】

※問21で「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいました。

「9時台」が最も多く、69.9%となっています。次いで「8時台」が23.0%と続いています。

n=209

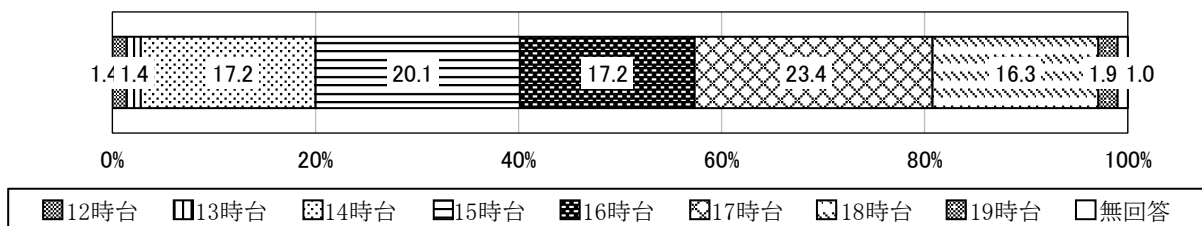


#### 【利用終了時間】

※問21で「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいました。

「17時台」が最も多く、23.4%となっています。次いで「15時台」が20.1%、「14時台」と「16時台」が17.2%と続いています。

n=209



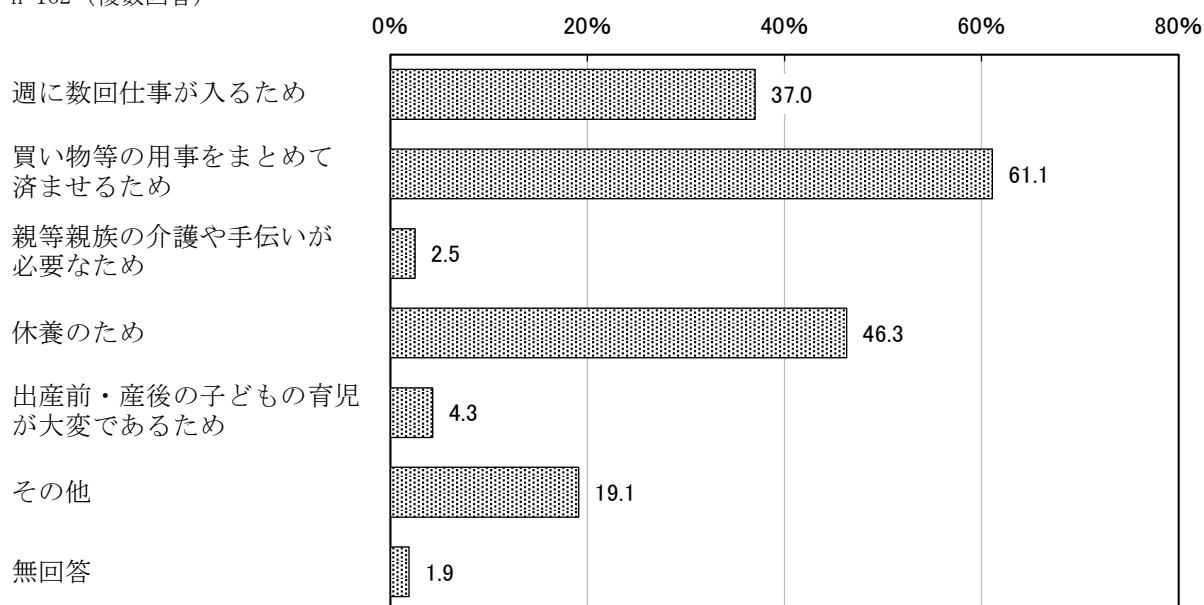
#### (4) 長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

※問21で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が最も多く、61.1%となっています。次いで「休養のため」が46.3%、「週に数回仕事が入るため」が37.0%と続いています。

n=162 (複数回答)



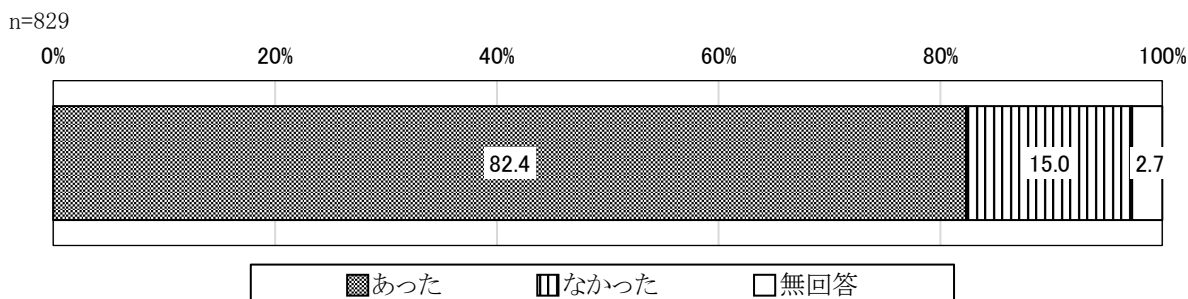
## 8. お子さんの病気の際の対応について

### (1) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無

※平日（月～金）、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方（問15で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいました。

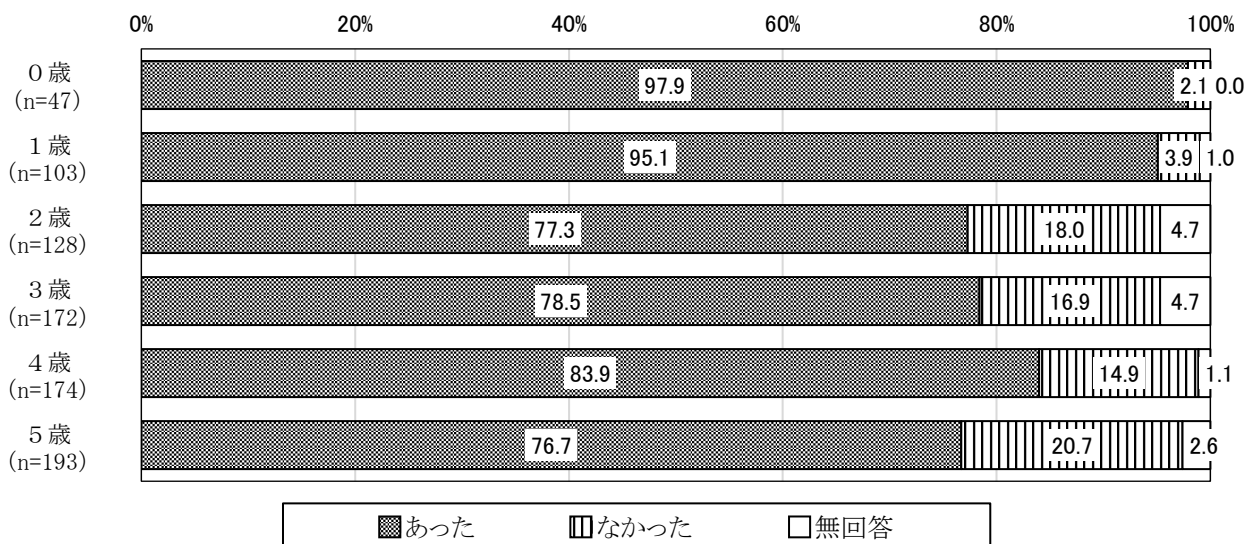
問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

「あった」が82.4%、「なかった」が15.0%となっています。



### 【病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無—子どもの年齢（学年齢）別】

病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「あった」は0歳で最も多く、97.9%となっています。次いで、1歳で95.1%、4歳で83.9%と続いています。



## (2) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかった場合の対処方法と日数

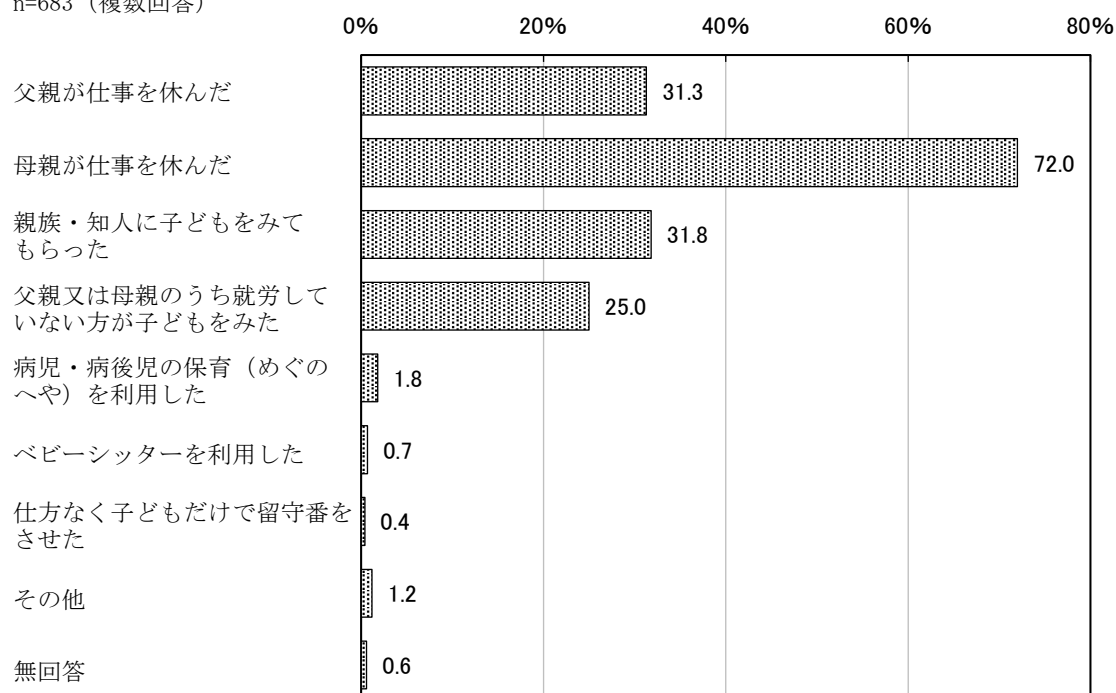
※問22で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

### ①対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、72.0%となっています。次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が31.8%、「父親が仕事を休んだ」が31.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.0%と続いています。

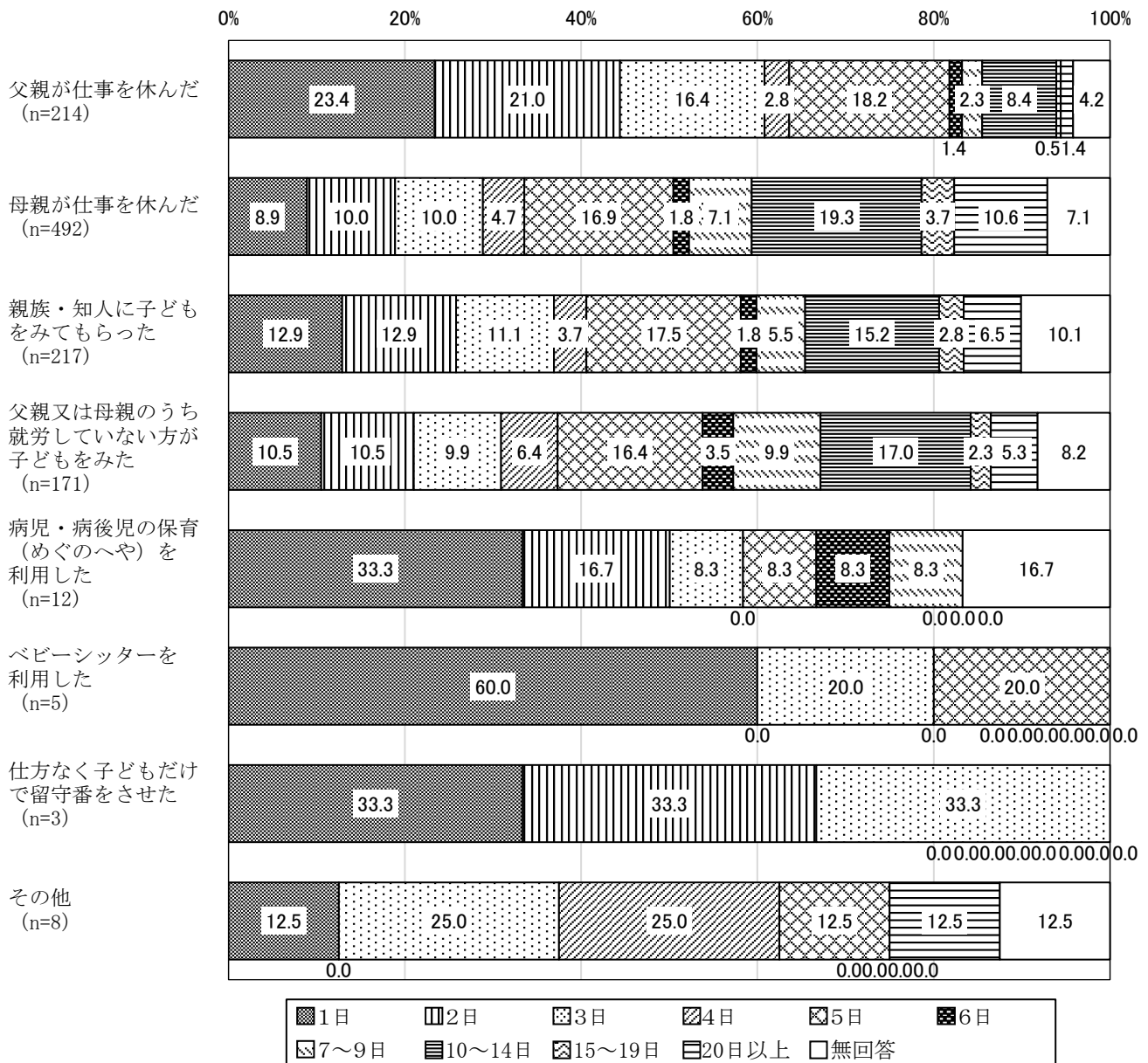
n=683（複数回答）



## ②日数

“父親が仕事を休んだ”は「1日」が最も多く、23.4%となっており、「2日」が21.0%、「5日」が18.2%と続いています。“母親が仕事を休んだ”と“父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた”は「10～14日」が最も多く、10%台後半となっており、「5日」が10%台半ばと続いています。“親族・知人に子どもをみてもらった”は「5日」が最も多く、17.5%となっており、「10～14日」が15.2%と続いています。

※ “病児・病後児の保育（めぐのへや）を利用した” “ベビーシッターを利用した” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。





### (3) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

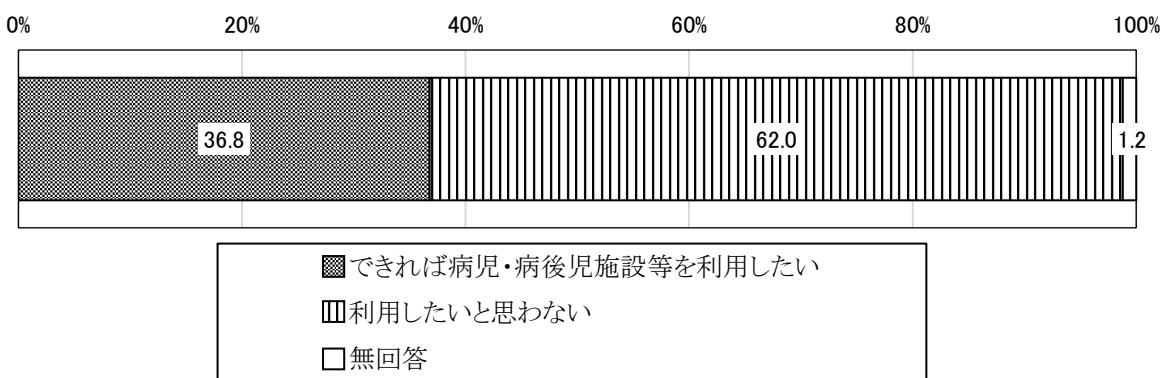
※問22-1で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいました。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

#### ①利用意向

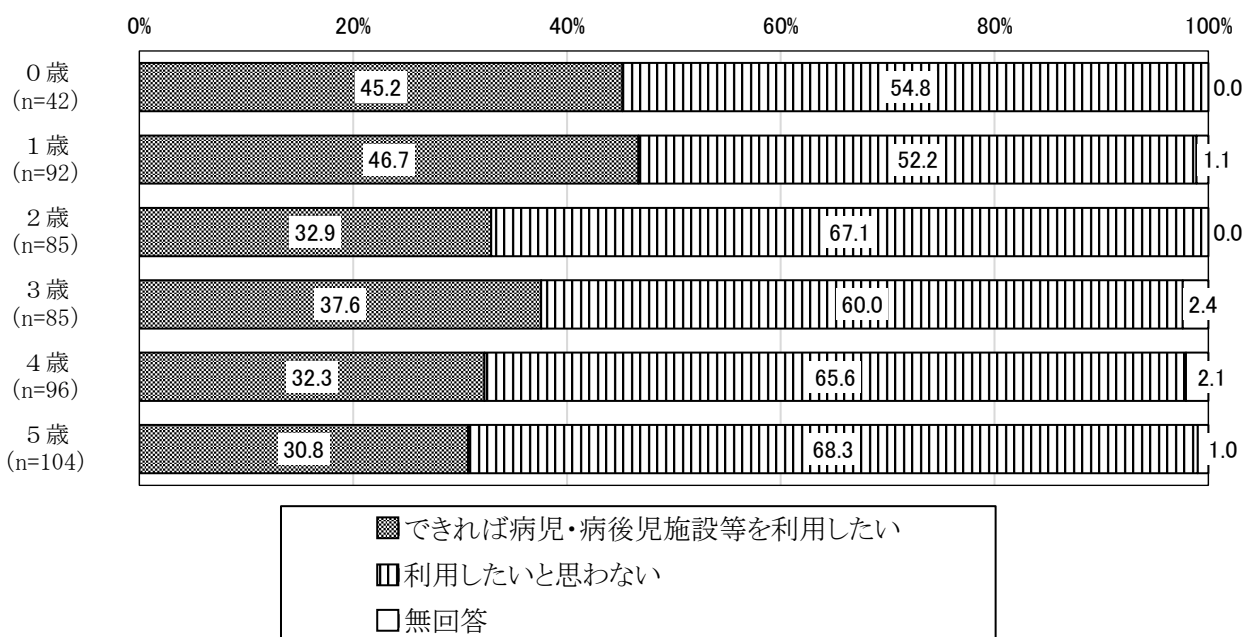
「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が36.8%、「利用したいと思わない」が62.0%となっています。

n=513



#### 【病児・病後児施設等の利用意向—子どもの年齢（学年齢）別】

病児・病後児施設等の利用意向を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「できれば病児・病後児施設等を利用したい」は1歳で最も多く、46.7%となっています。「利用したいと思わない」は5歳で最も多く、68.3%となっています。

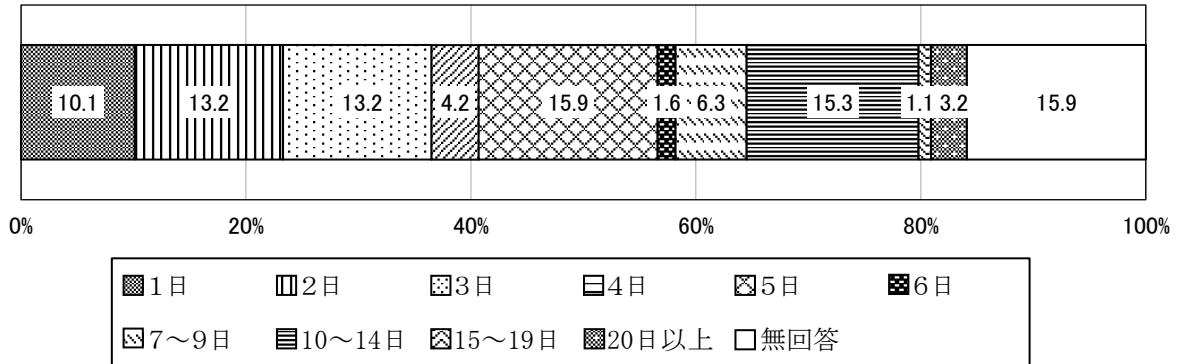


## ②利用希望日数

※問22-2で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「5日」が最も多く、15.9%となっています。次いで「10～14日」が15.3%、「2日」と「3日」が13.2%と続いています。

n=189



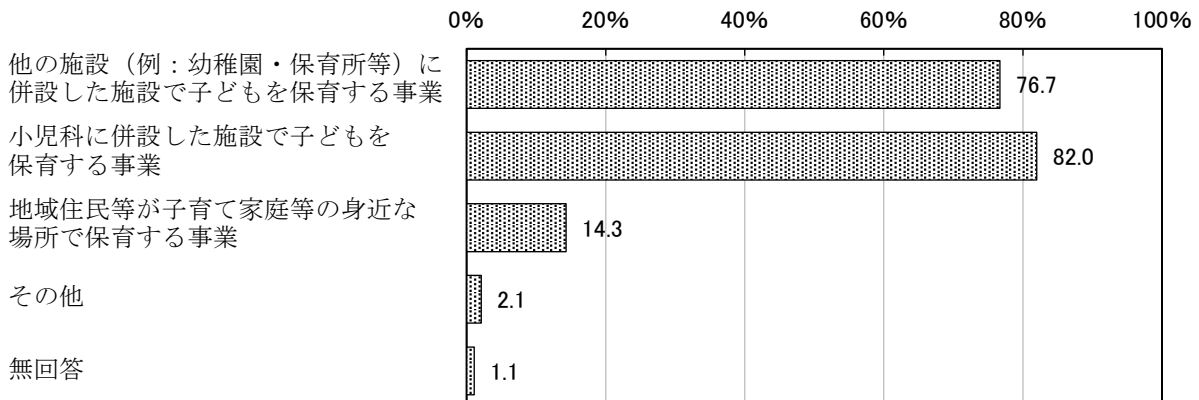
## (4) 病児・病後児施設等の事業形態

※問22-2で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

問22-3 子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、82.0%となっています。次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が76.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が14.3%と続いています。

n=189（複数回答）



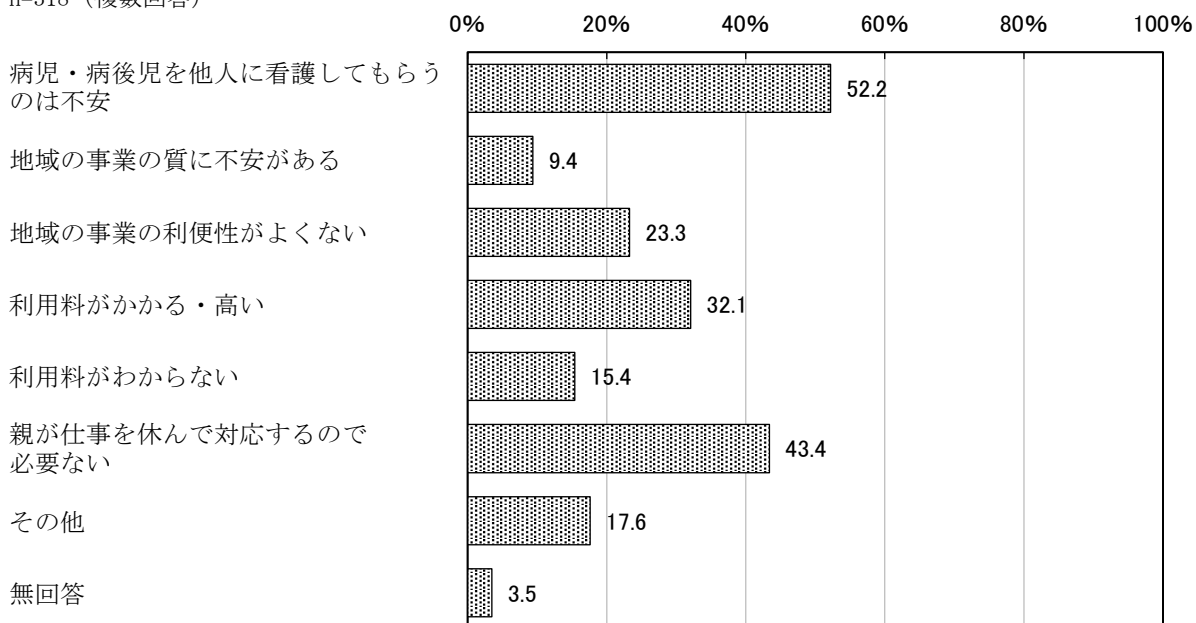
## (5) 病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

※問22-2で「1. 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいました。

問22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が最も多く、52.2%となっています。次いで「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が43.4%、「利用料がかかる・高い」が32.1%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」が23.3%と続いています。

n=318（複数回答）



## (6) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

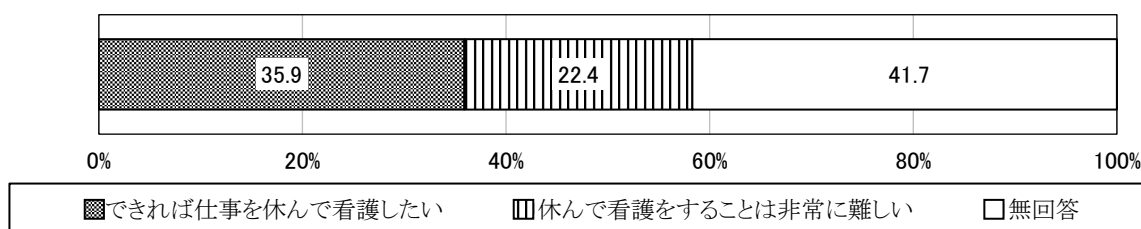
※問22-1で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかに○をつけた方にかがいました。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

### ① 休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が35.9%、「休んで看護をすることは非常に難しい」が22.4%となっています。

n=393

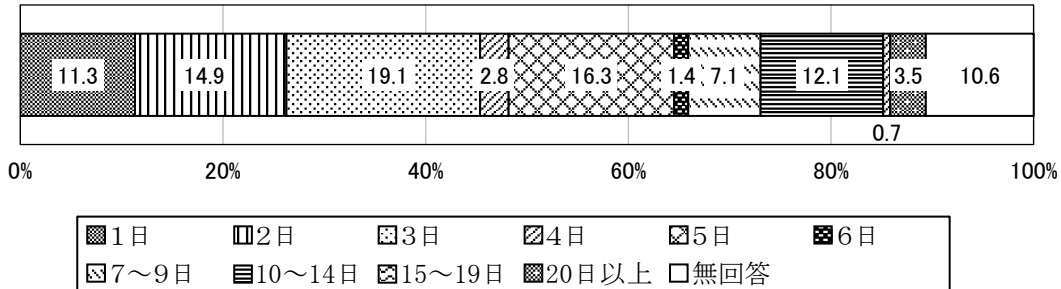


## ②日数

※問22-5で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方にかがいました。

「3日」が最も多く、19.1%となっています。次いで「5日」が16.3%、「2日」が14.9%、「2日」が14.9%と続いています。

n=141



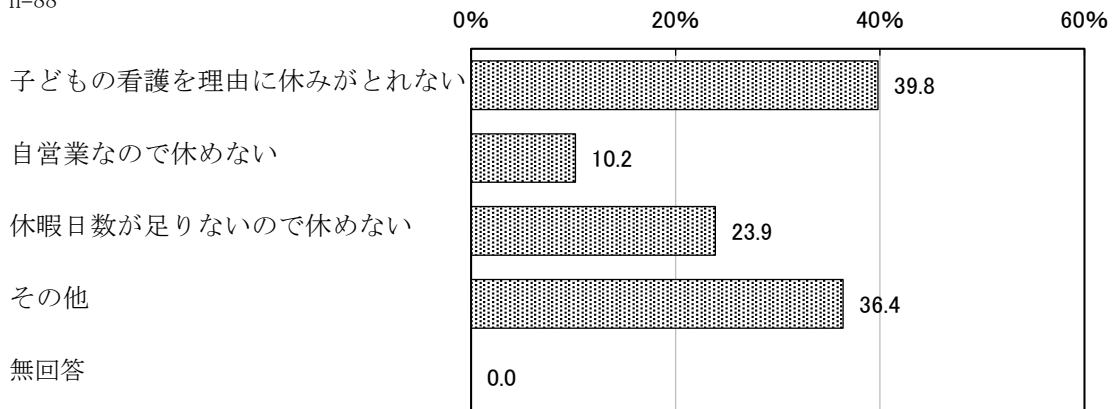
## (7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問22-5で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にかがいました。

問22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、39.8%となっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が23.9%と続いています。

n=88



## 9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について

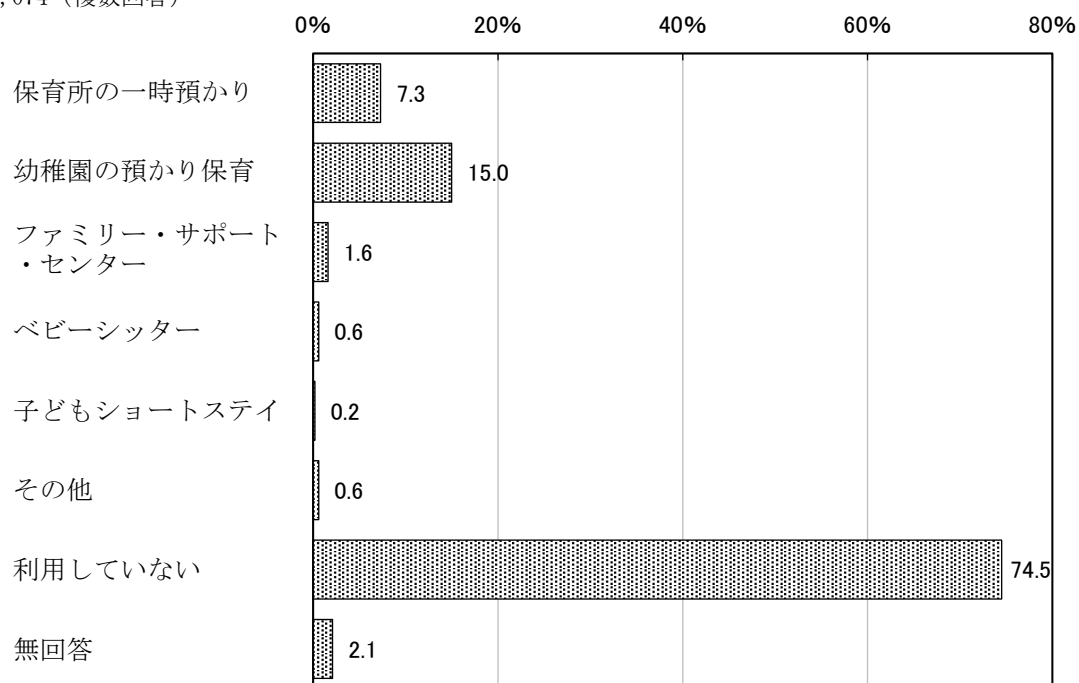
### (1) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不  
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる  
番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

#### ①利用状況

「利用していない」が最も多く、74.5%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が15.0%、「保育所の一時預かり」が7.3%と続いています。

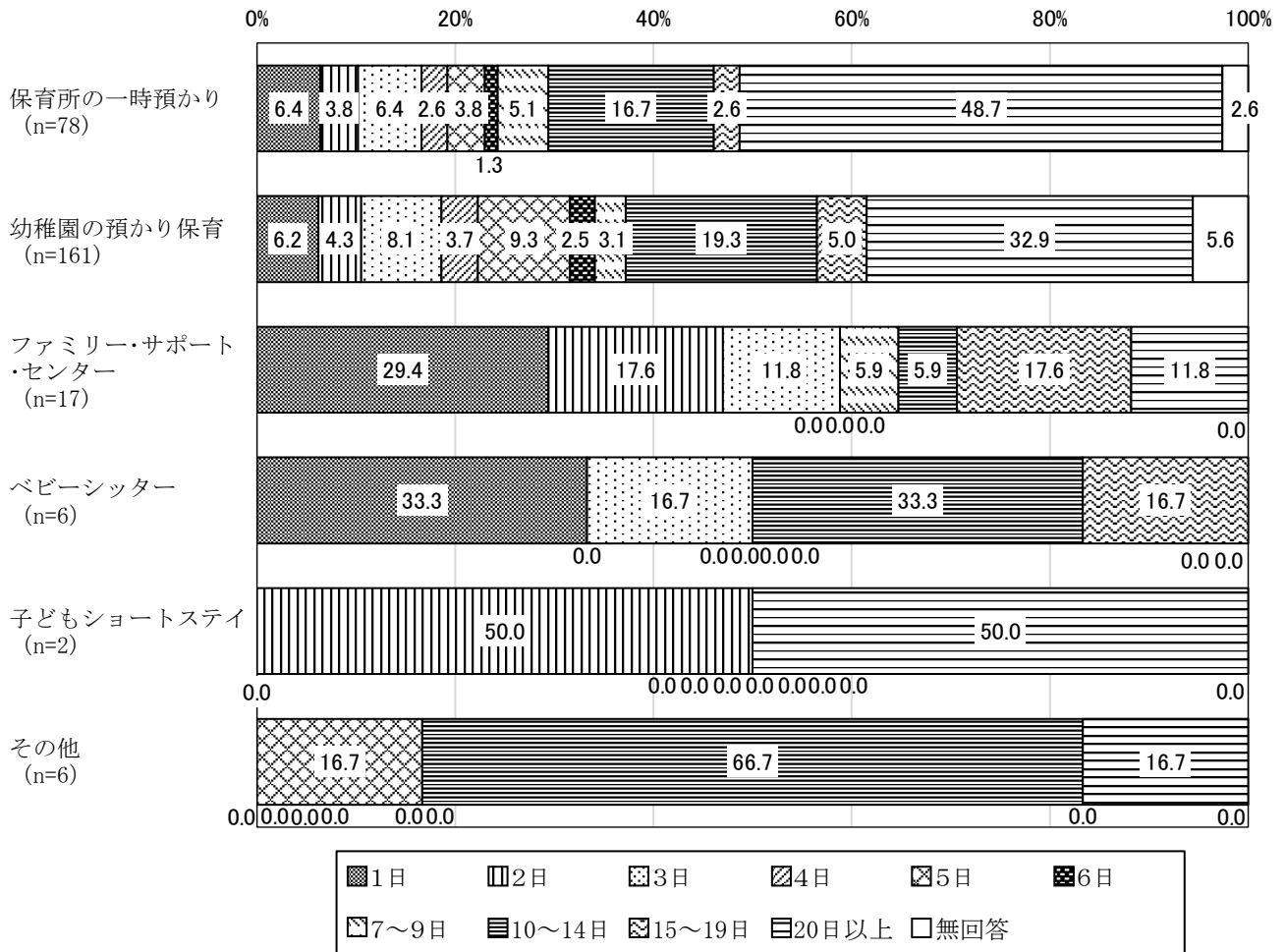
n=1,074（複数回答）



## ②日数

“保育所の一時預かり”は「20日以上」が最も多く、48.7%となっており、「10～14日」が16.7%と続いています。“幼稚園の預かり保育”は「20日以上」が最も多く、32.9%となっており、「10～14日」が19.3%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター” “ベビーシッター” “子どもショートステイ”は回答者数が少ないため、参考値となります。



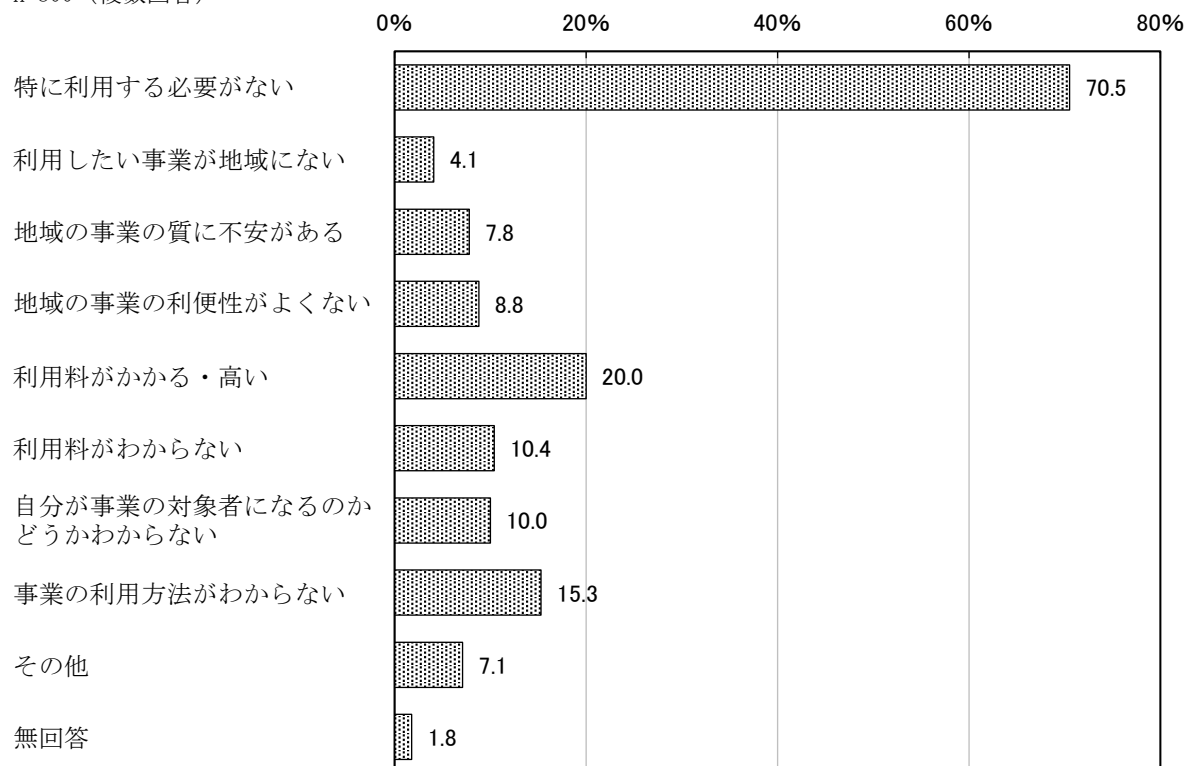
## (2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

※問23で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が最も多く、70.5%となっています。次いで「利用料がかかる・高い」が20.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が15.3%と続いています。

n=800（複数回答）



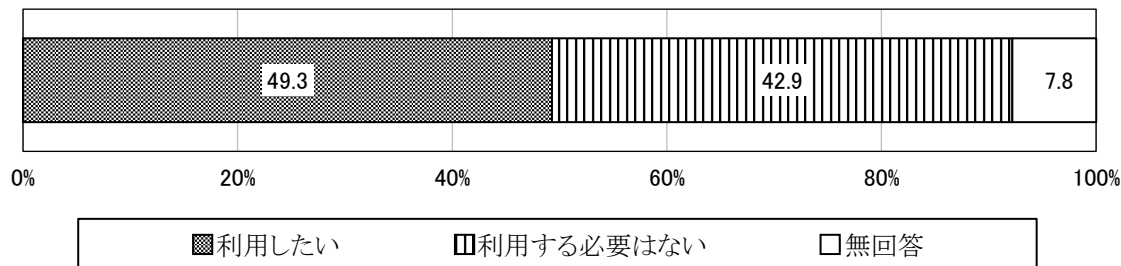
### (3) 不定期の教育・保育事業の利用希望と日数

問24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

#### ①利用希望

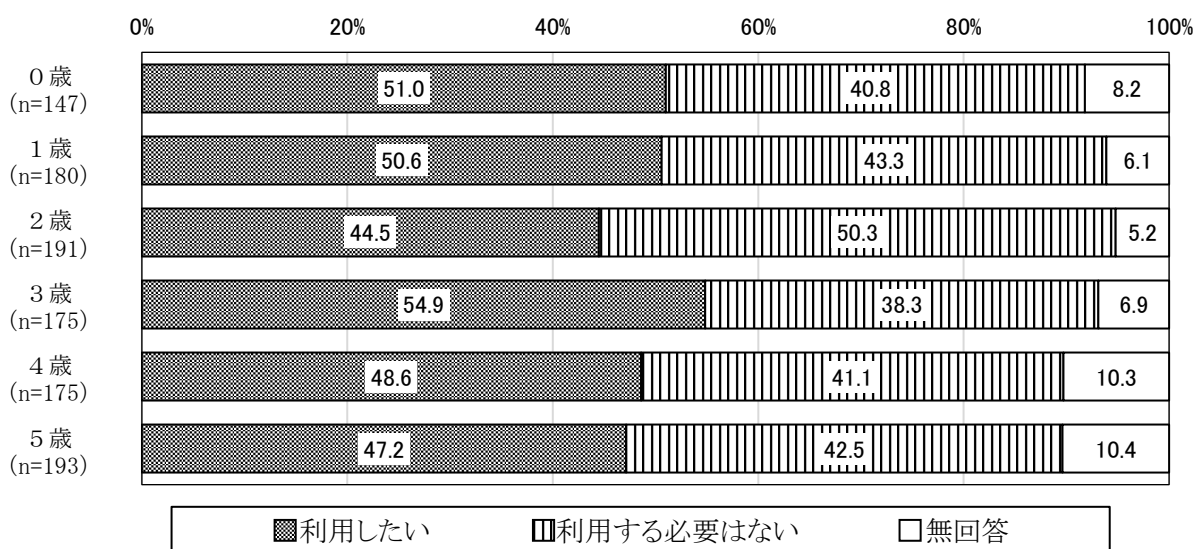
「利用したい」が49.3%、「利用する必要はない」が42.9%となっています。

n=1,074



#### 【不定期の教育・保育事業の利用希望—子どもの年齢（学年齢）別】

不定期の教育・保育事業の利用希望を子どもの年齢（学年齢）別にみると、2歳では44.5%とほかの年齢と比べて若干少なくなっていますが、年齢による特徴的な差異はみられず、各年齢ともに5割前後が「利用したい」と回答している。



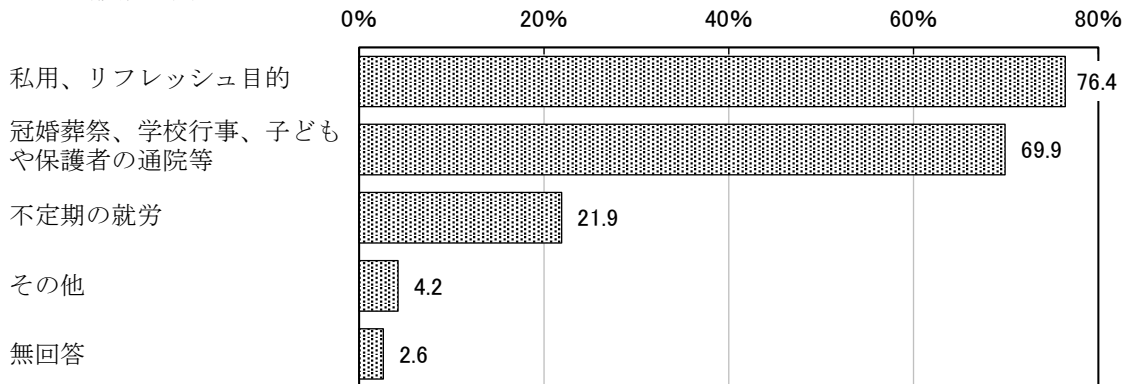


## ②利用目的

※問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く、76.4%となっています。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が69.9%、「不定期の就労」が21.9%と続いています。

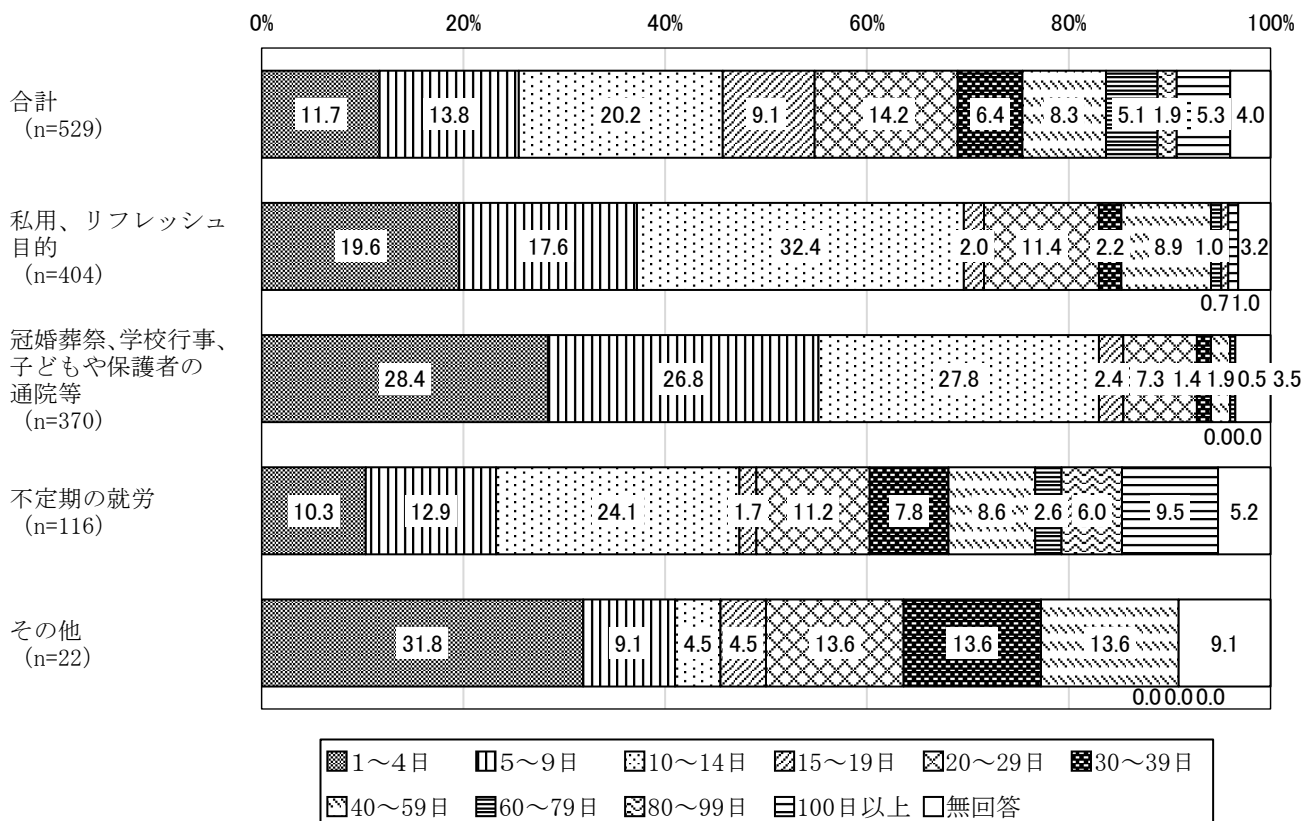
n=529（複数回答）



## ③日数

※問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”は「10～14日」が最も多く、32.4%となっており、「1～4日」が19.6%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等”は「1～4日」が最も多く、28.4%となっており、「10～14日」が27.8%と続いています。“不定期の就労”は「10～14日」が最も多く、24.1%となっており、「5～9日」が12.9%と続いています。



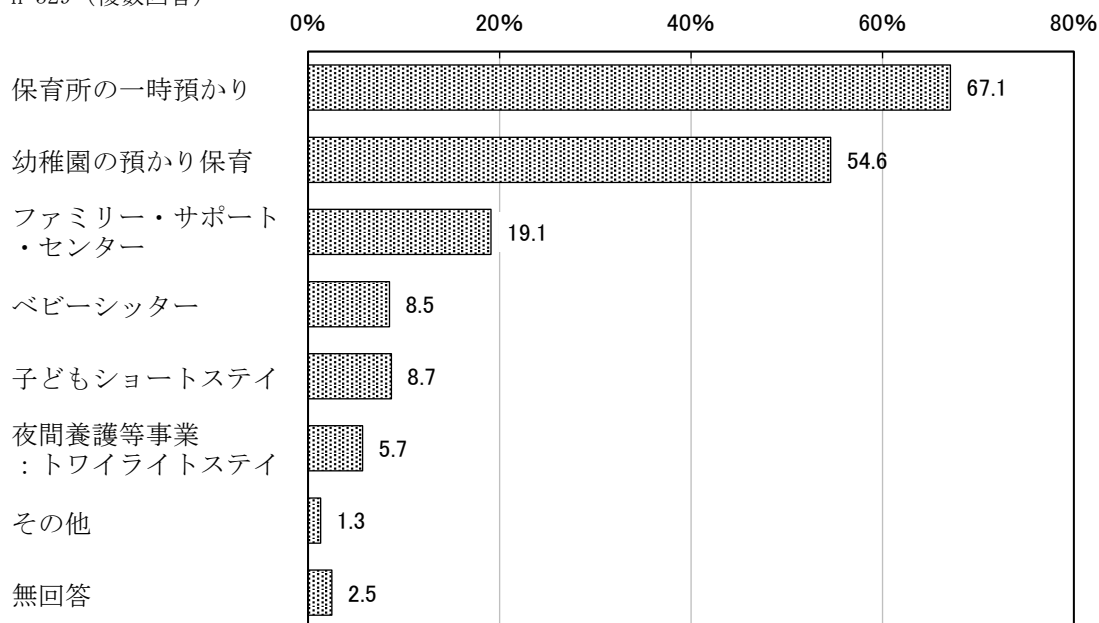
#### (4) 不定期の教育・保育事業の利用形態

※問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所の一時預かり」が最も多く、67.1%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が54.6%、「ファミリー・サポート・センター」が19.1%と続いています。

n=529 (複数回答)



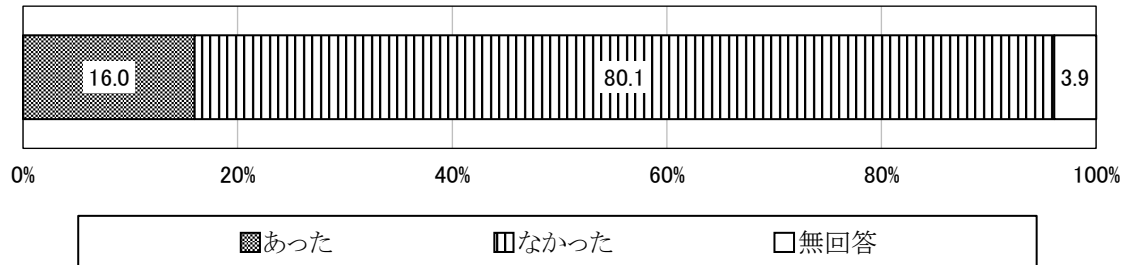
## (5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてアから力の当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

### ① 宿泊を伴う一時預かりの有無

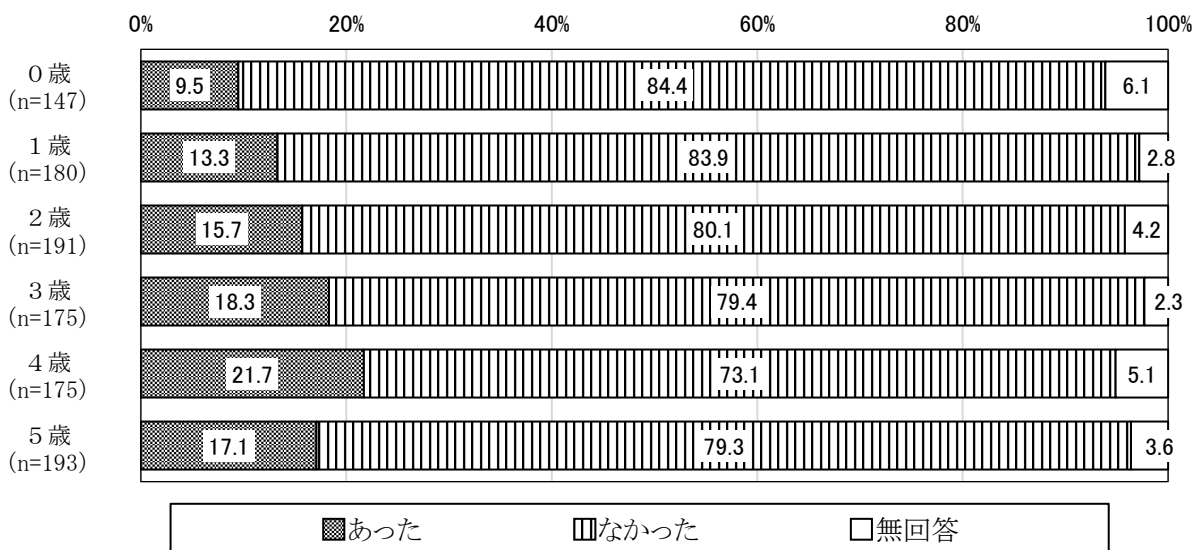
「あった」が16.0%、「なかった」が80.1%となっています。

n=1,074



### 【宿泊を伴う一時預かりの有無－子どもの年齢（学年齢）別】

宿泊を伴う一時預かりの有無を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「あった」は4歳で最も多く、21.7%となっています。また、1歳・2歳・3歳・5歳ではそれぞれ10割台となっており、0歳では9.5%と最も少なくなっています。

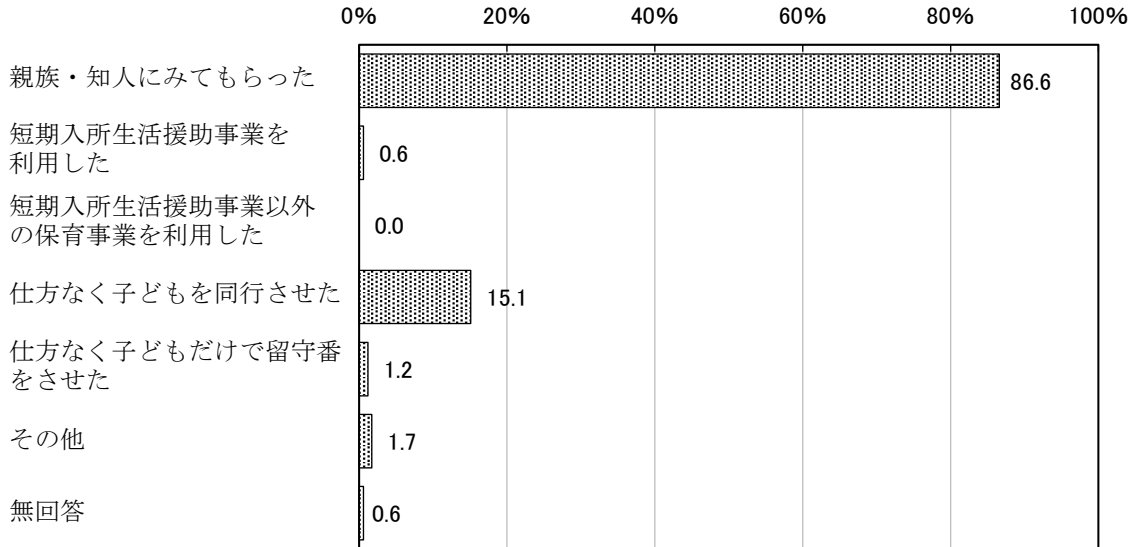


## ②対処方法

※問25で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、86.6%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が15.1%と続いています。

n=172（複数回答）



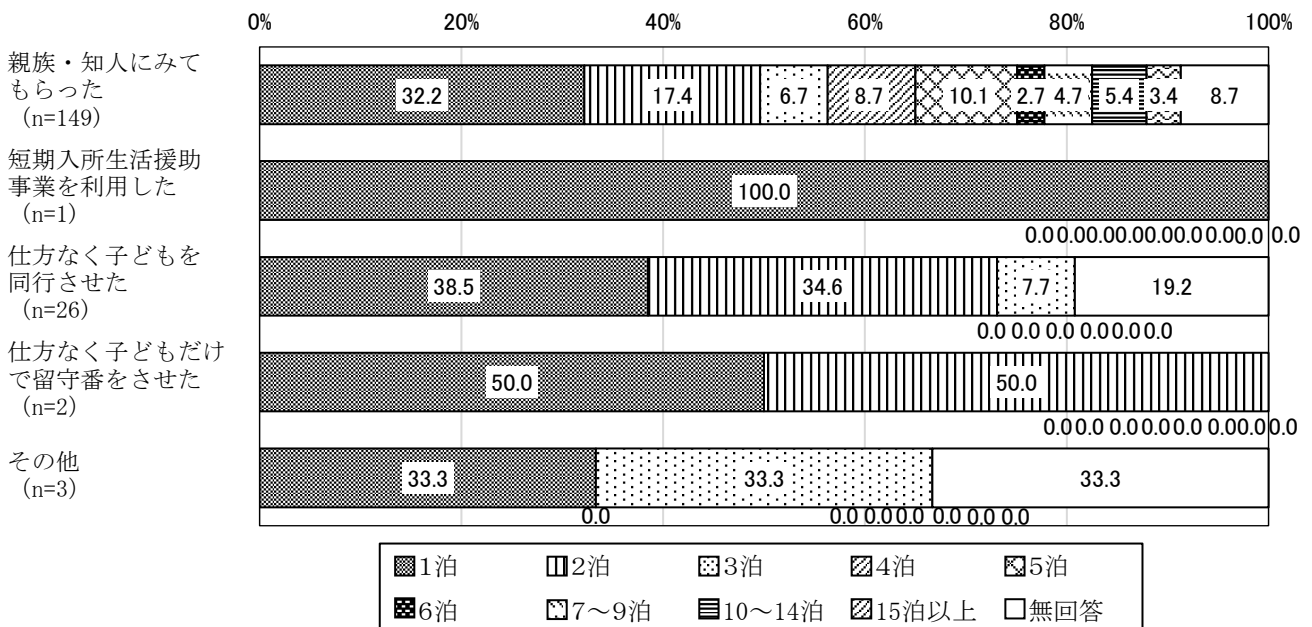
## ③泊数

※問25で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”は「1泊」が最も多く、32.2%となっており、「2泊」が17.4%、「5泊」が10.1%と続いています。

※ “短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した”は、回答対象者がいませんでした。

※ “短期入所生活援助事業を利用した” “仕方なく子どもを同行させた” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。



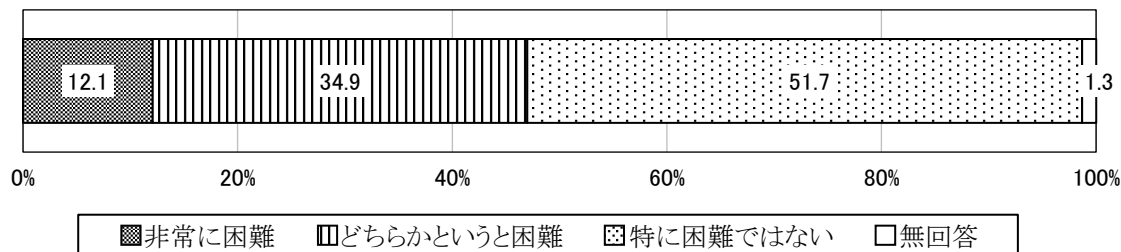
## (6) 親族・知人に預ける困難さ

※問25で「1. あった」のうち、「ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、51.7%となっています。次いで「どちらかという困難」が34.9%、「非常に困難」が12.1%と続いています。

n=149



## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※「10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について」は、2012年（平成24年）4月2日～2013年（平成25年）4月1日生まれのお子さんを対象としています。

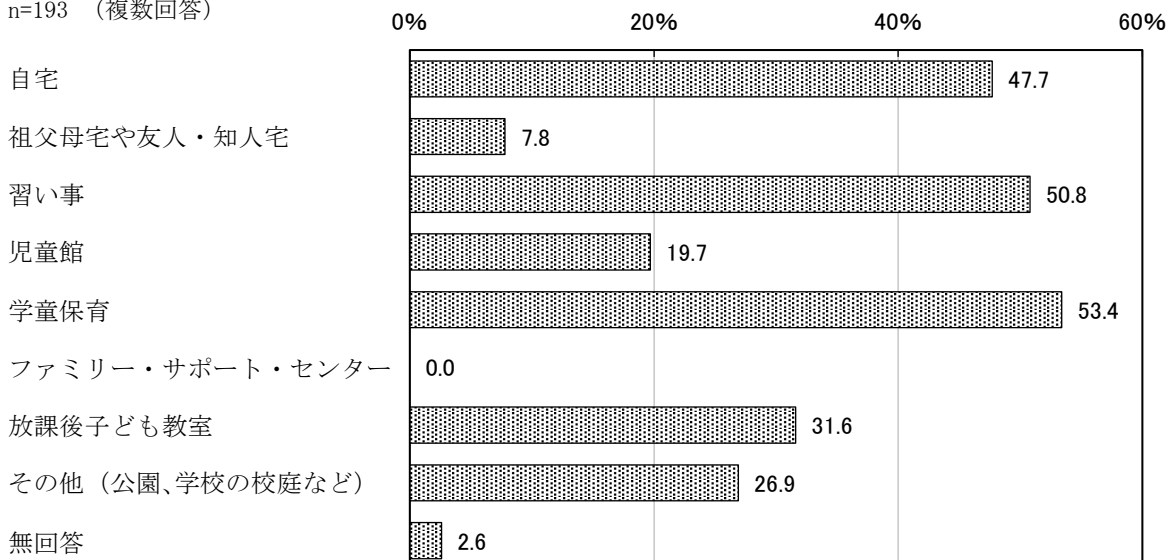
### (1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

#### ①希望する放課後の過ごし方

「学童保育」が最も多く、53.4%となっています。次いで「習い事」が50.8%、「自宅」が47.7%と続いています。

n=193（複数回答）

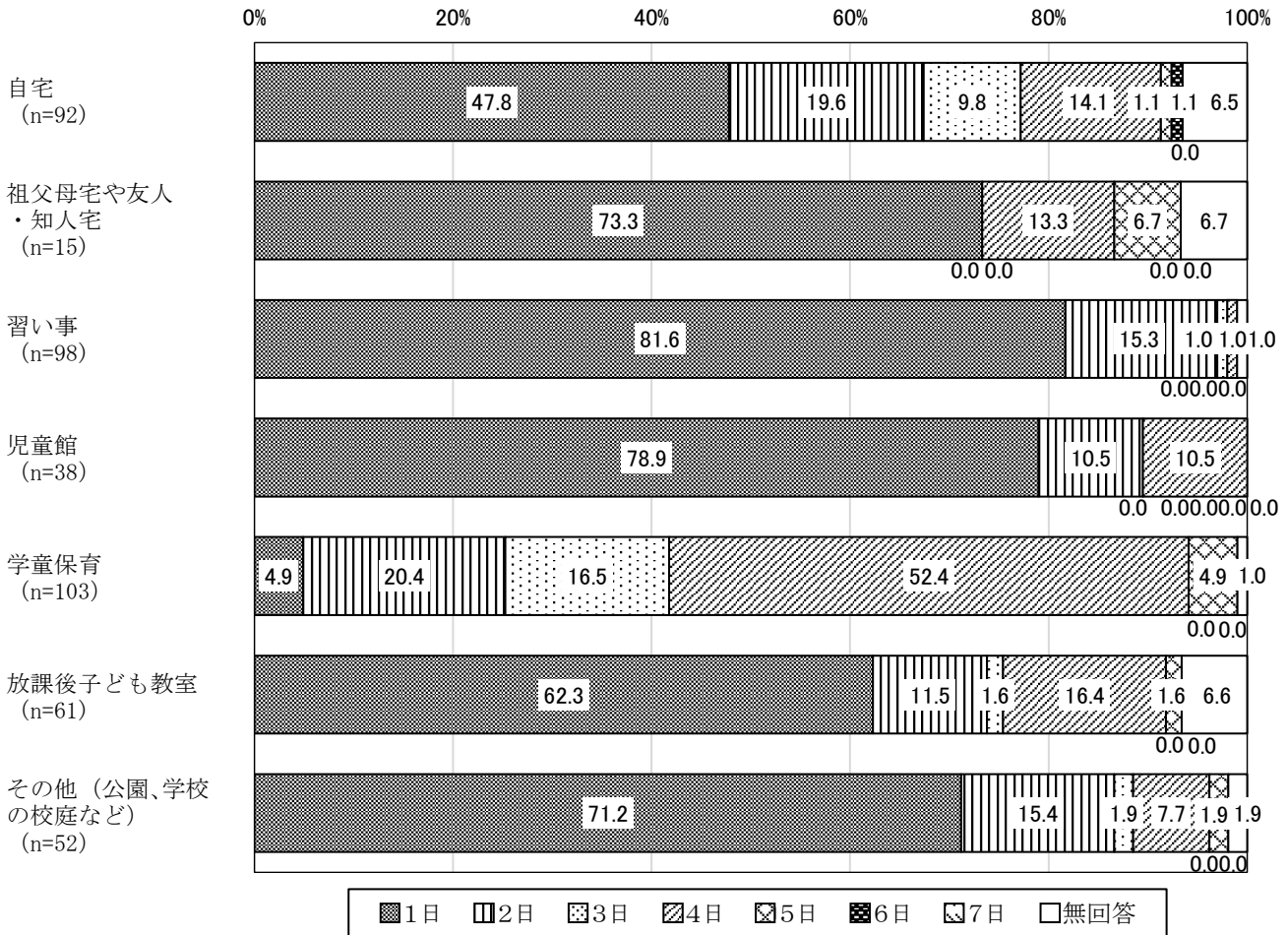


## ② 1週当たりの日数

“自宅”は「1日」が最も多く、47.8%となっており、「2日」が19.6%、「4日」が14.1%と続いています。“習い事”は「1日」が最も多く、81.6%となっており、「2日」が15.3%と続いています。“児童館”は「1日」が最も多く、78.9%となっています。“学童保育”は「4日」が最も多く、52.4%となっており、「2日」が20.4%、「3日」が16.5%と続いています。“放課後子ども教室”は「1日」が最も多く、62.3%となっており、「4日」が16.4%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は、回答対象者がいませんでした。

※ “祖父母宅や友人・知人宅”は回答者数が少ないため、参考値となります。

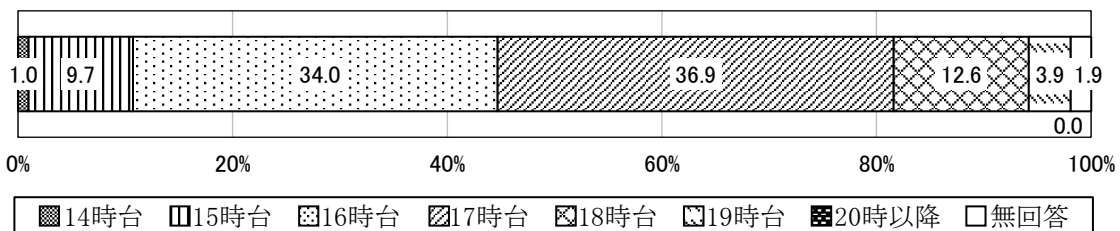


## ③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問26で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、36.9%となっています。次いで「16時台」が34.0%、「18時台」が12.6%と続いています。

n=103



## (2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

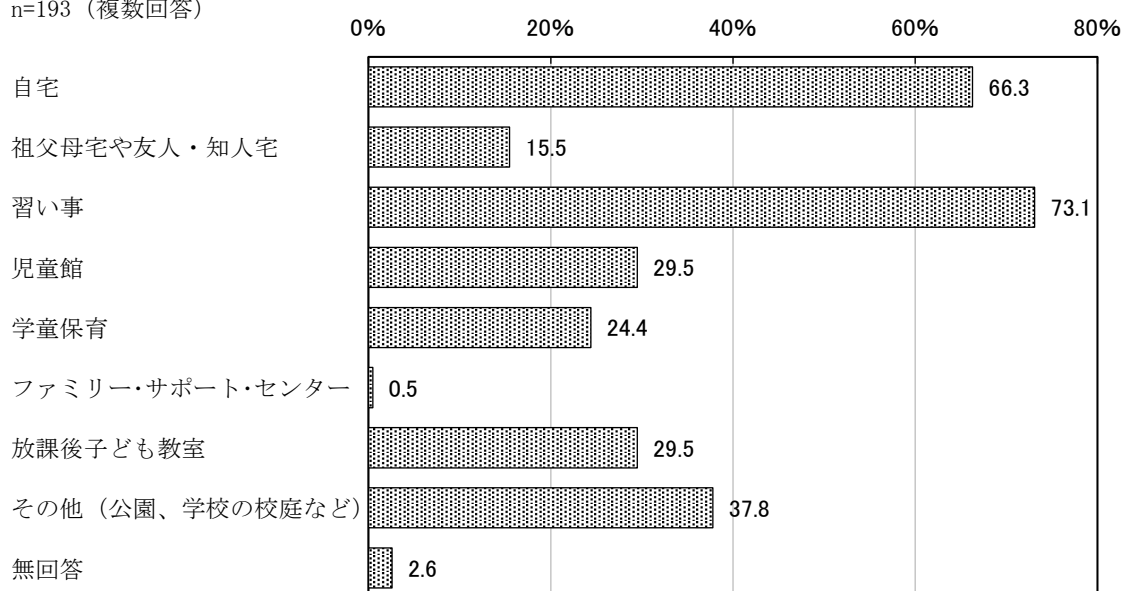
問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

### ①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、73.1%となっています。次いで「自宅」が66.3%、「その他（公園、学校の校庭など）」が37.8%、「児童館」と「放課後子ども教室」が29.5%、「学童保育」が24.4%と続いています。

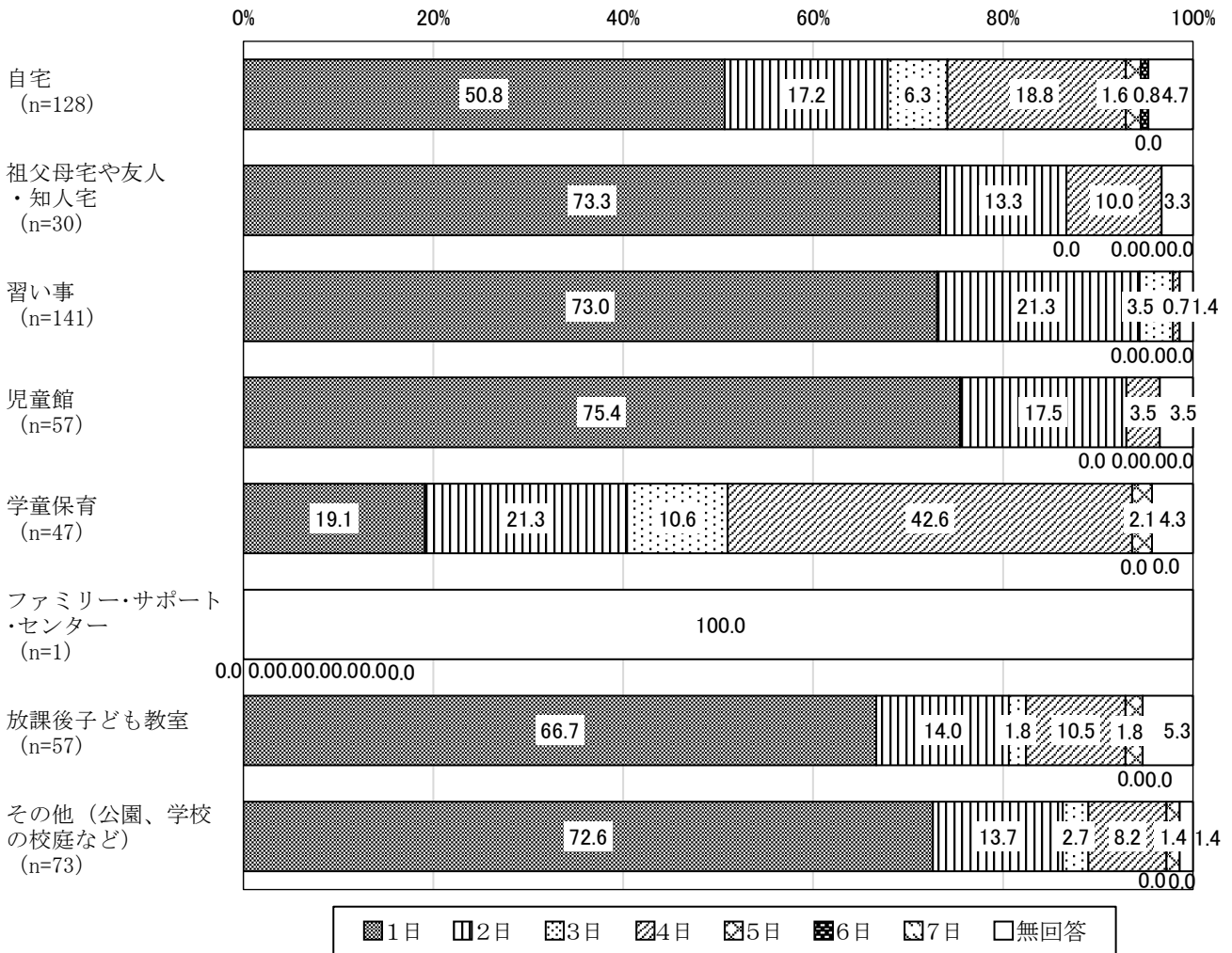
n=193（複数回答）



## ② 1週当たりの日数

“自宅”は「1日」が最も多く、50.8%となっており、「4日」が18.8%、「2日」が17.2%と続いています。“祖父母や友人・知人宅”、“習い事”、“児童館”、“放課後子ども教室”、“その他（公園、学校の校庭など）”はいずれも「1日」が最も多く、特に“児童館”では75.4%となっています。“学童保育”は「4日」が最も多く、42.6%となっており、「2日」が21.3%、「1日」が19.1%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

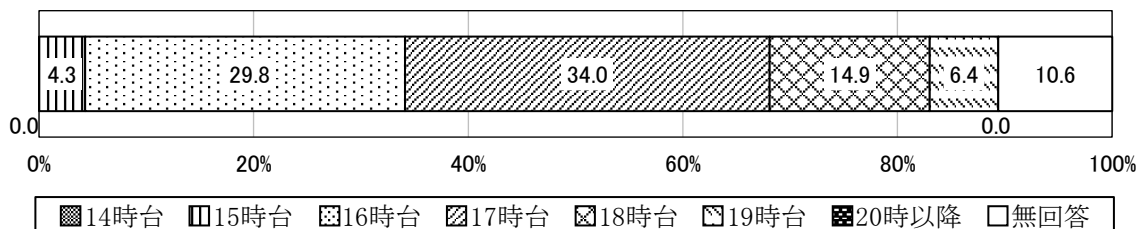


## ③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問27で「5. 学童保育」に○をつけた方にかがいました。

「17時台」が最も多く、34.0%となっています。次いで「16時台」が29.8%、「18時台」が14.9%と続いています。

n=47





### (3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

※問26または問27で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

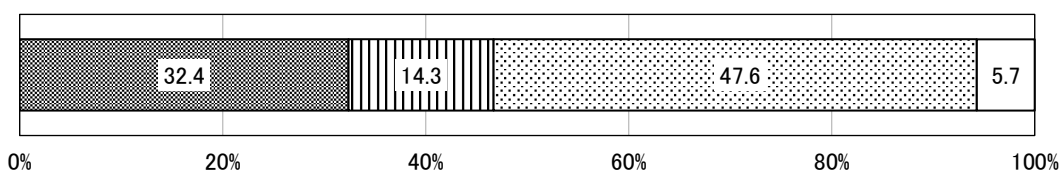
問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。  
 (1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

#### ①土曜日

##### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、47.6%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が32.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.3%と続いています。

n=105



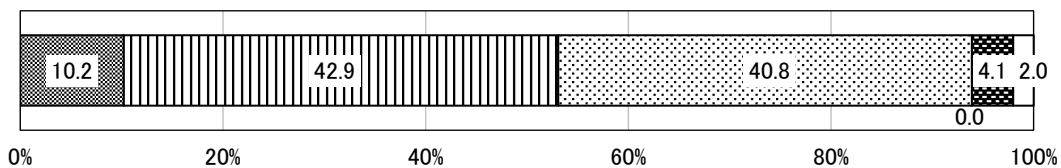
■低学年(1～3年生)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

##### 【利用開始時間】

※問28 (1) で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、42.9%となっています。次いで「9時台」が40.8%と続いています。

n=49



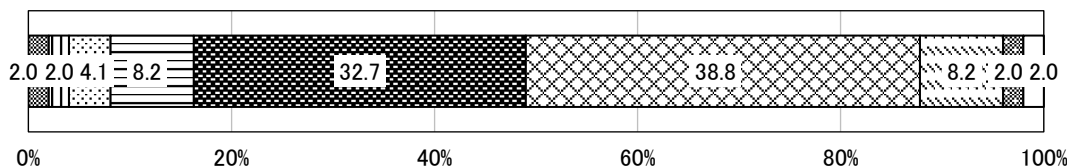
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

##### 【利用終了時間】

※問28 (1) で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、38.8%となっています。次いで「17時台」が32.7%と続いています。

n=49



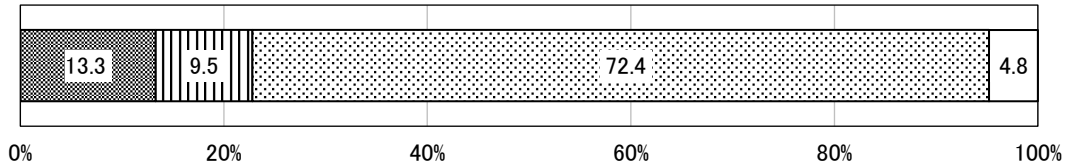
■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

## ②日曜日

### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、72.4%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が13.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.5%と続いています。

n=105



■低学年(1~3年生)の間は利用したい □高学年(4~6年生)になっても利用したい ▨利用する必要はない □無回答

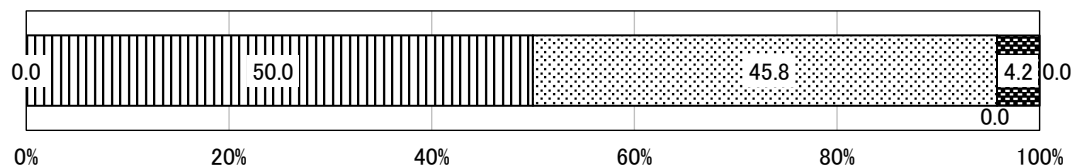
### 【利用開始時間】

※問28(2)で「1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい」または「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、50.0%(24人中12人)となっています。次いで「9時台」が45.8%(24人中11人)と続いています。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

n=24



■7時台 □8時台 ▨9時台 ▩10時台 ▤11時以降 □無回答

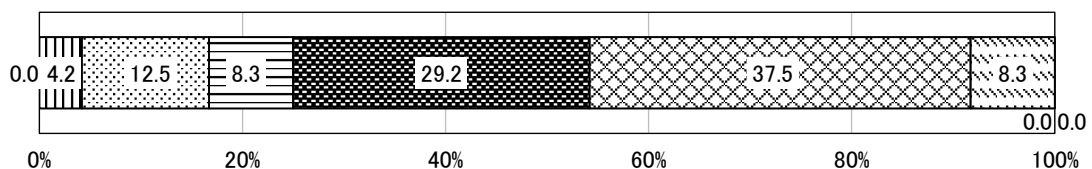
### 【利用終了時間】

※問28(2)で「1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい」または「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、37.5%(24人中9人)となっています。次いで「17時台」が29.2%(24人中7人)と続いています。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

n=24



■13時台 □14時台 ▨15時台 ▩16時台 ▤17時台 ▥18時台 ▦19時台 ▧20時以降 □無回答

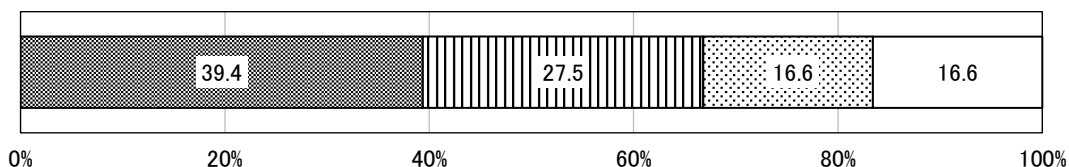
#### (4) 長期期間中の学童保育の利用希望

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

##### 【利用希望】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が最も多く、39.4%となっています。次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.5%、「利用する必要はない」が16.6%と続いています。

n=193



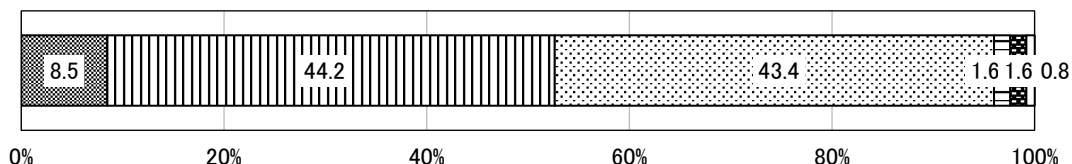
■低学年(1～3年生)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

##### 【利用開始時間】

※問29で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「8時台」が最も多く、44.2%となっています。次いで「9時台」が43.4%と続いています。

n=129



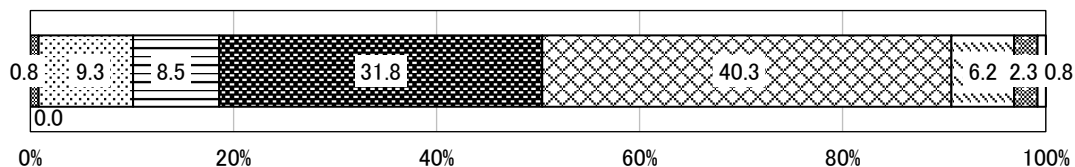
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

##### 【利用終了時間】

※問29で「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「18時台」が最も多く、40.3%となっています。次いで「17時台」が31.8%と続いています。

n=129



■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

## 11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

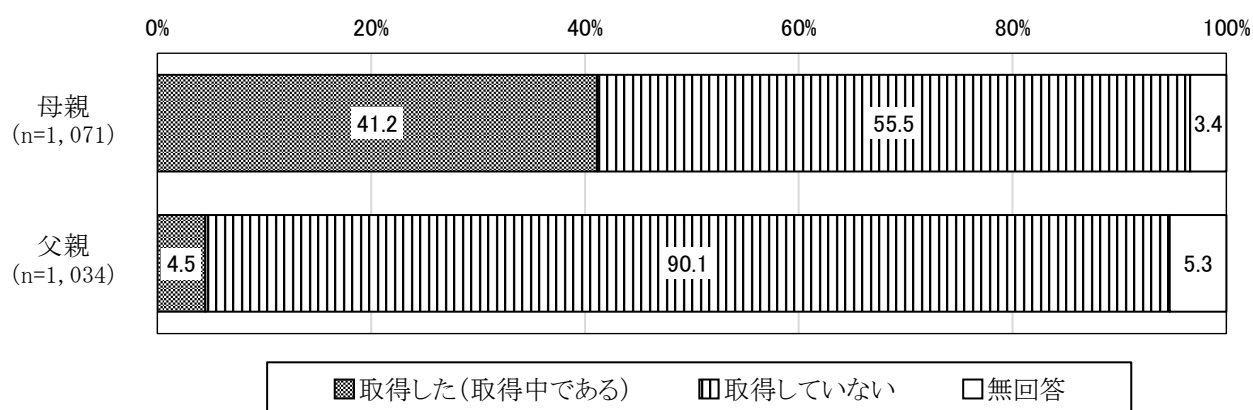
### (1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

#### ①取得状況

母親では「取得した（取得中である）」が41.2%、「取得していない」が55.5%となっています。

父親では「取得した（取得中である）」が4.5%、「取得していない」が90.1%となっています。



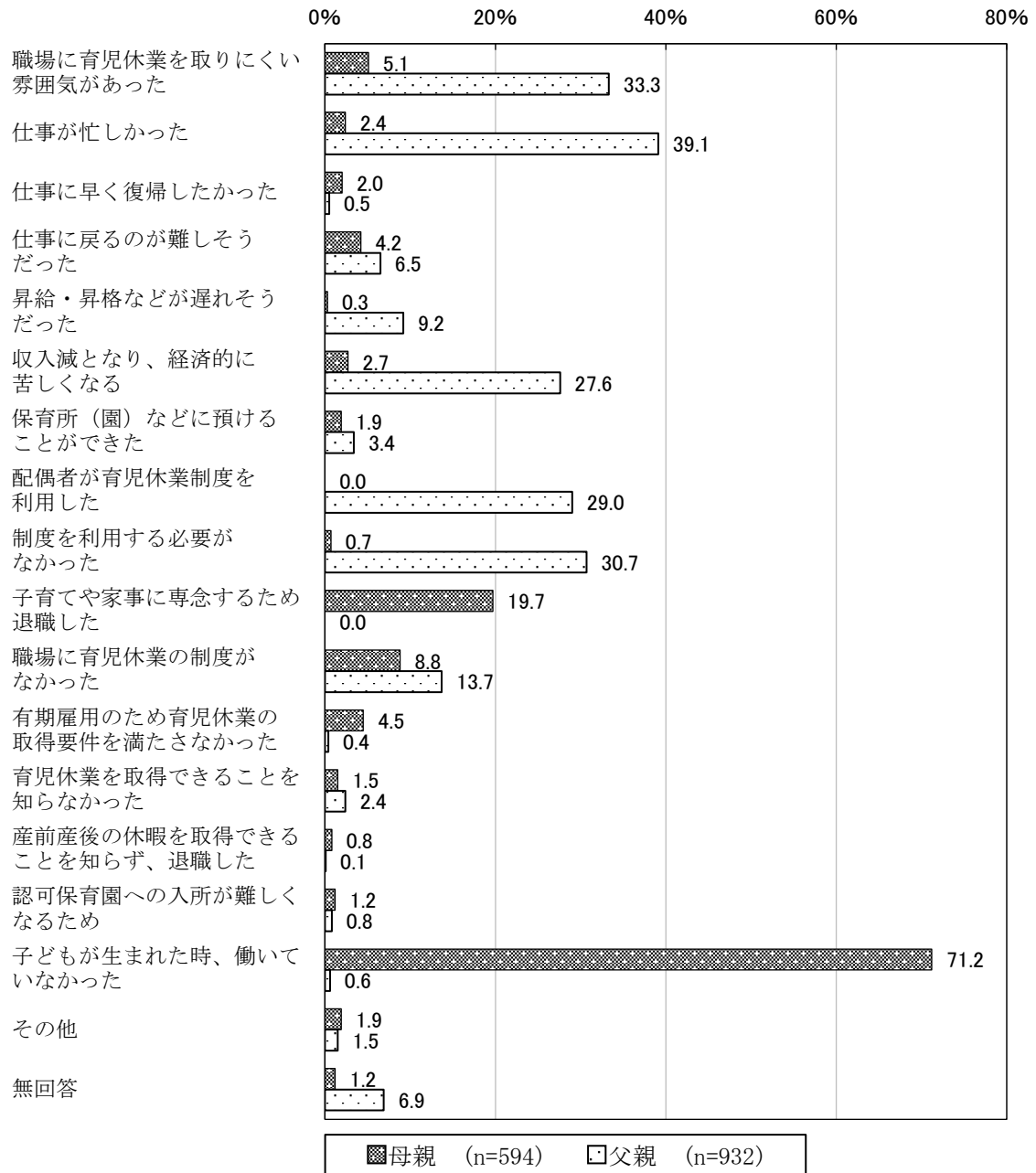
## ②取得していない理由

※問30で「2. 取得していない」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「子どもが生まれた時、働いていなかった」が最も多く、71.2%となっています。次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が19.7%と続いています。

父親では「仕事が忙しかった」が最も多く、39.1%となっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.3%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」30.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が29.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が27.6%と続いています。

(複数回答)

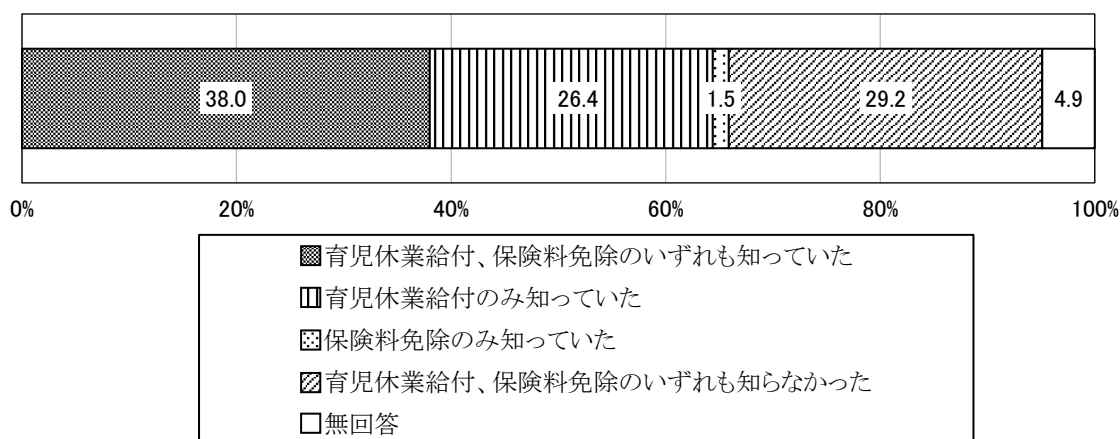


## (2) 育児休業給付・保育料免除の認知状況

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が最も多く、38.0%となっています。次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が29.2%、「育児休業給付のみ知っていた」が26.4%と続いています。

n=1,074



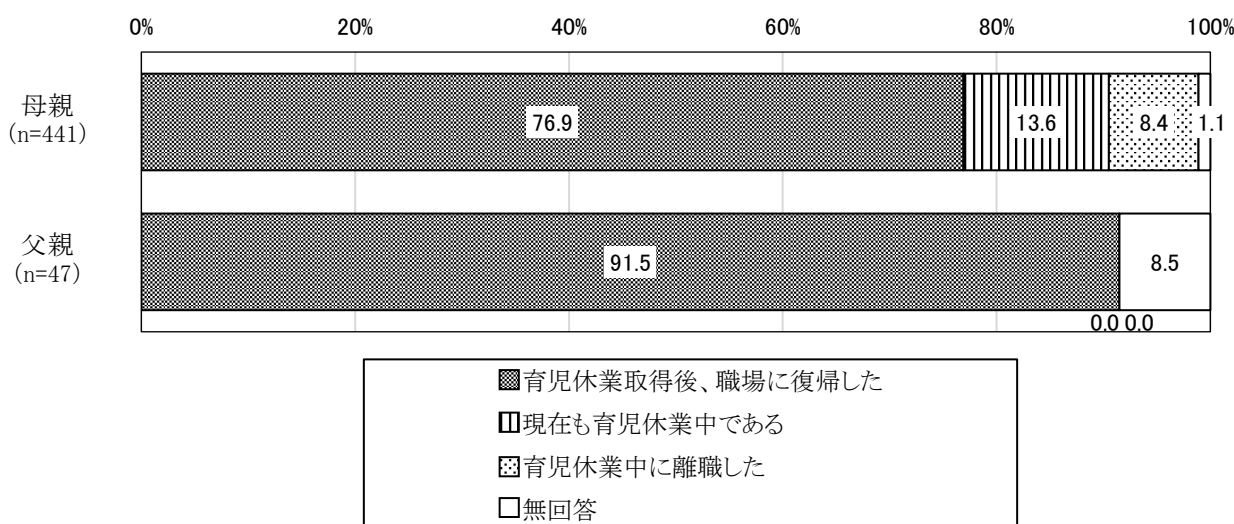
## (3) 育児休業取得後の職場復帰

※問30で「1. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にかがいました。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、76.9%となっています。次いで、「現在も育児休業中である」が13.6%と続いています。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.5%となっています。



#### (4) 職場復帰の時期

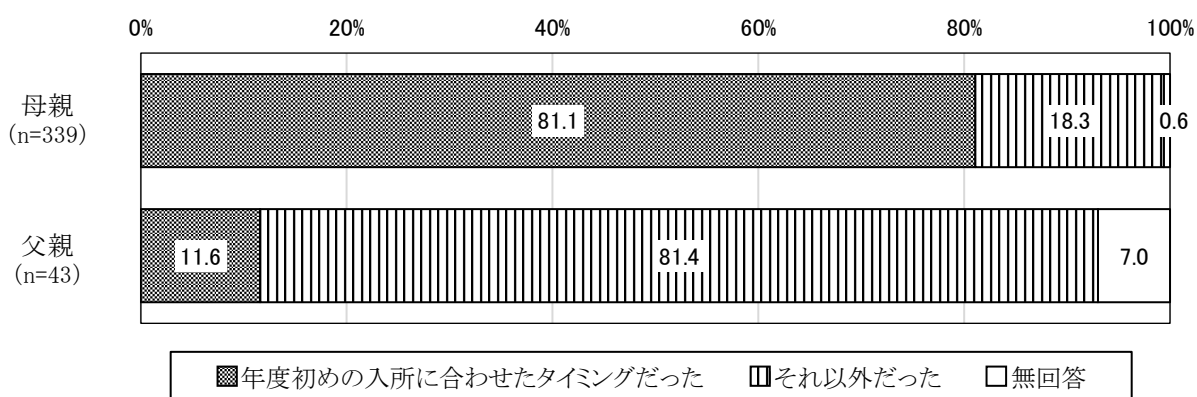
※問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいました。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が81.1%、「それ以外だった」が18.3%となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が11.6%、「それ以外だった」が81.4%となっています。



## (5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

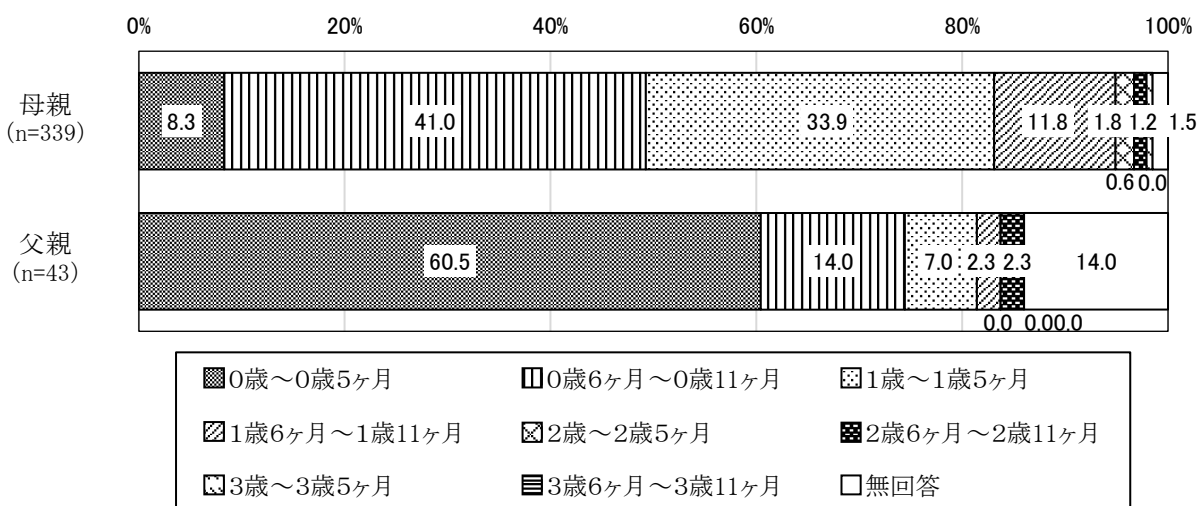
※問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいました。

問30-4 育児休業からは、「実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。下線部に数字でご記入ください。

### ①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が最も多く、41.0%となっています。次いで「1歳～1歳5ヶ月」が33.9%、「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が11.8%と続いています。

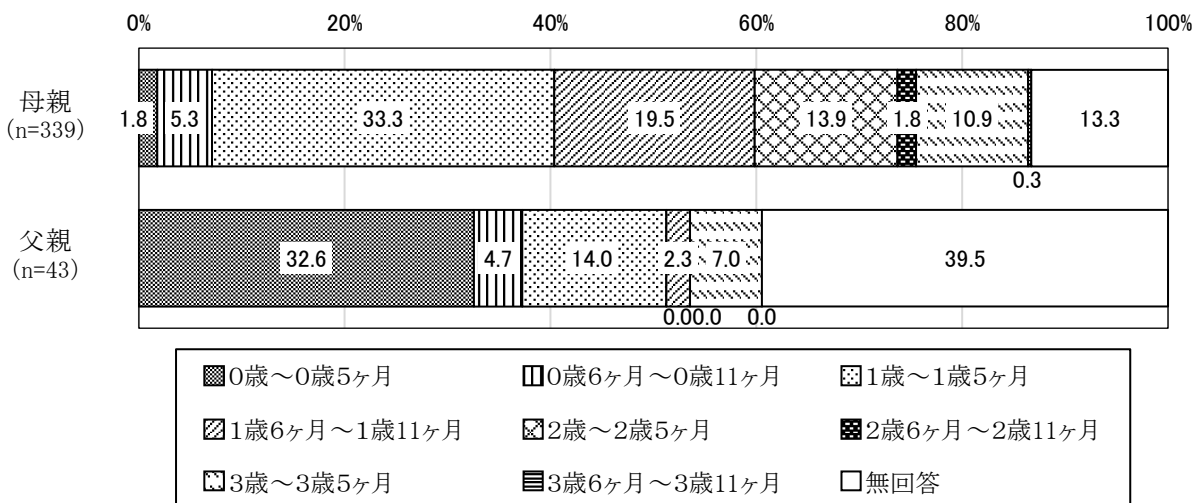
父親では「0歳～0歳5ヶ月」が最も多く、60.5%となっています。次いで「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が14.0%と続いています。



### ②希望時期

母親では「1歳～1歳5ヶ月」が最も多く、33.3%となっています。次いで「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が19.5%、「2歳～2歳5ヶ月」が13.9%と続いています。

父親では「0歳～0歳5ヶ月」が最も多く、32.6%となっています。次いで「1歳～1歳5ヶ月」が14.0%と続いています。





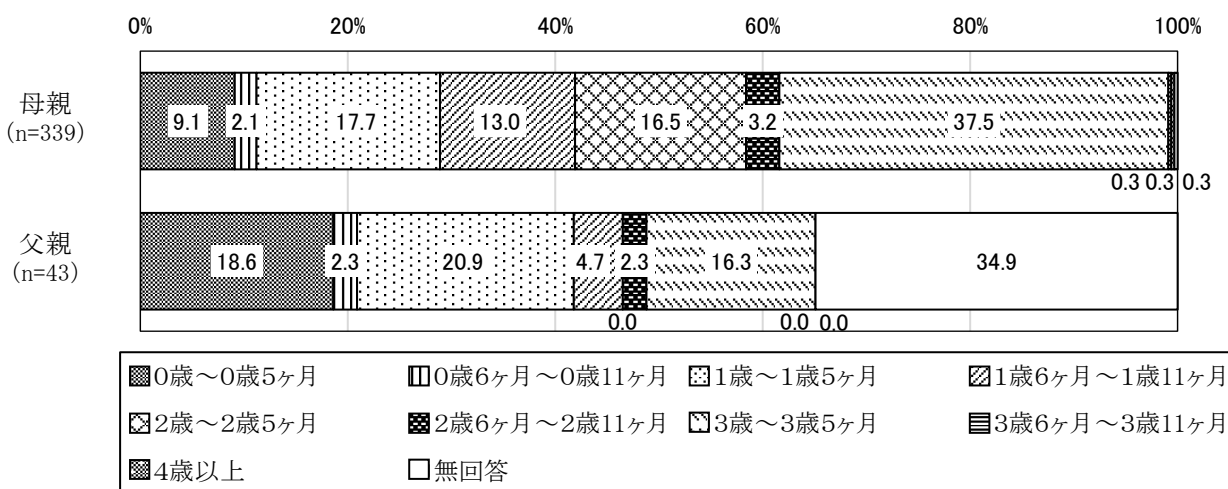
## (6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

※問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字をご記入ください。

母親では「3歳～3歳5ヶ月」が最も多く、37.5%となっています。次いで「1歳～1歳5ヶ月」が17.7%、「2歳～2歳5ヶ月」が16.5%と続いています。

父親では「1歳～1歳5ヶ月」が最も多く、20.9%となっています。次いで「0歳～0歳5ヶ月」が18.6%、「3歳～3歳5ヶ月」が16.3%と続いています。



## (7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

※問30-4で実際の復帰と希望が異なる方がいました。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当てはまる番号  
すべてに○をつけてください。

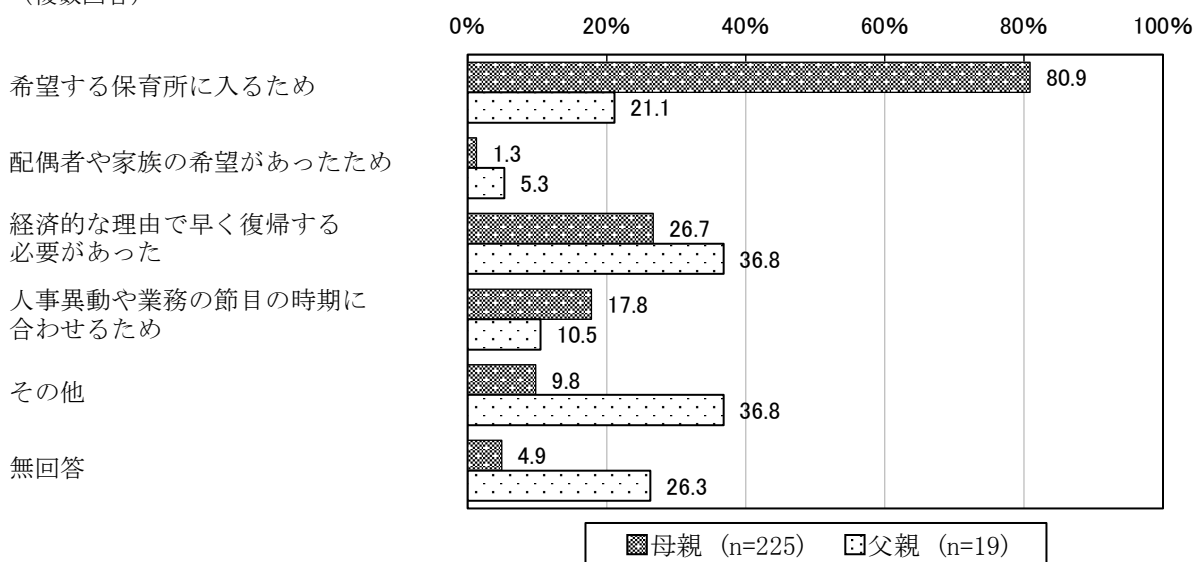
### ①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「希望する保育所に入るため」が最も多く、80.9%となっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が26.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が17.8%と続いています。

父親では「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が最も多く、36.8%（19人中7人）となっています。

※ 父親の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

(複数回答)



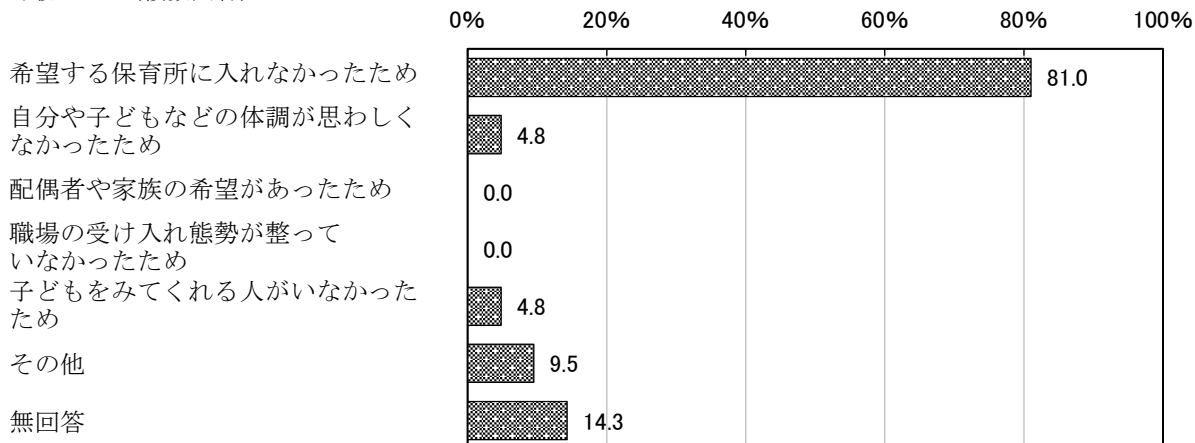
### ①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、81.0%（21人中17人）となっています。

※ “父親”は、回答対象者がいませんでした。

※ 本設問の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

母親 n=21 (複数回答)



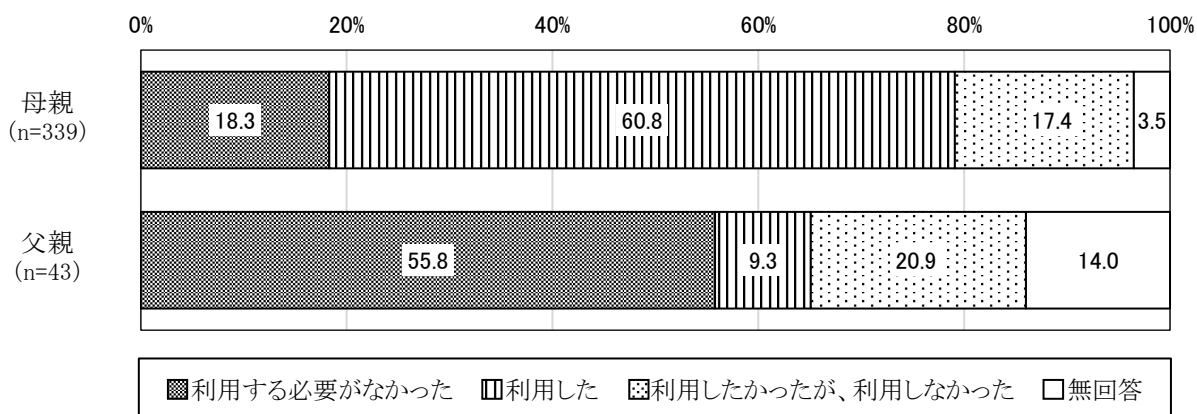
## (8) 短時間勤務制度の利用の有無

※問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいました。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「利用した」が最も多く、60.8%となっています。次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が18.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が17.4%と続いています。

父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が最も多く、55.8%となっています。次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が20.9%と続いています。



## (9) 短時間勤務制度を利用できなかった理由

※問30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方  
にうかがいました。

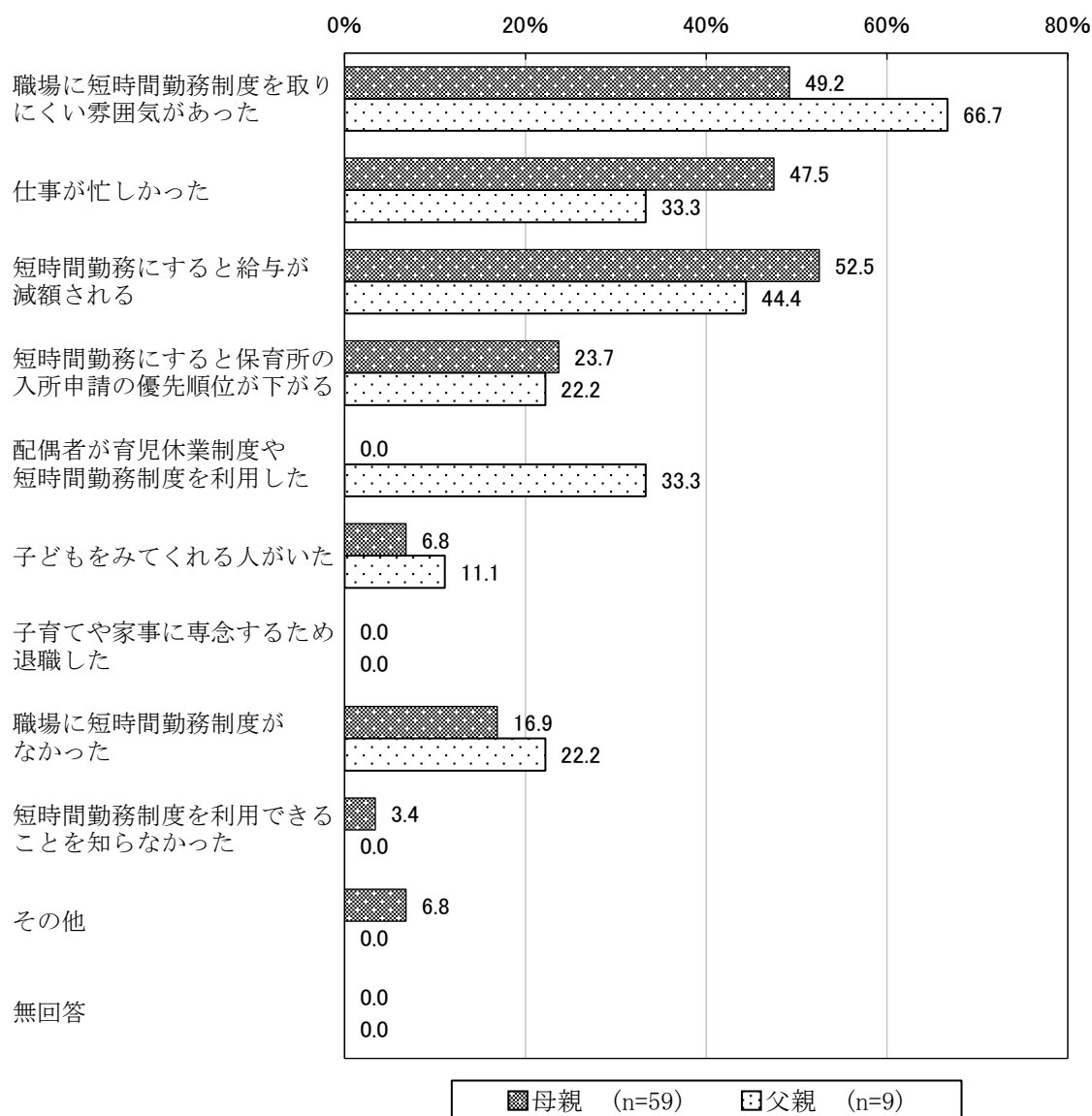
問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が最も多く、52.5%となっています。次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が49.2%、「仕事が忙しかった」が47.5%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が23.7%と続いています。

父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、66.7%（9人中6人）となっています。次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が44.4%（9人中4人）と続いています。

※ 父親の結果については、回答者数が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

（複数回答）



## (10) 必ず利用できる事業があった場合の、1歳になるまで育児休業取得希望

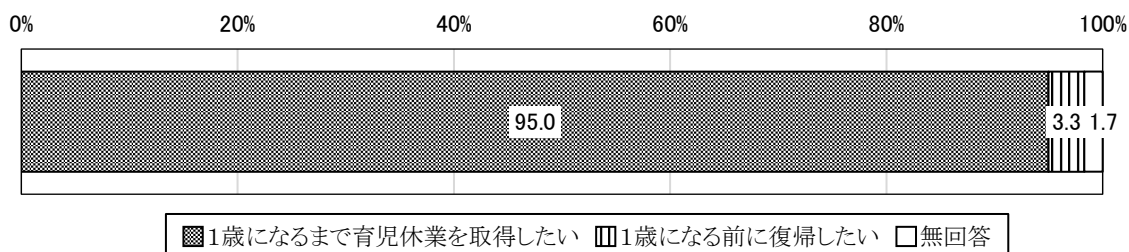
※問30-2で「2. 現在も育児休暇中である」に○をつけた方にうかがいました。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が95.0%、「1歳になる前に復帰したい」が3.3%となっています。

※ 父親については、回答対象者がいませんでした。

n=60 (母親)



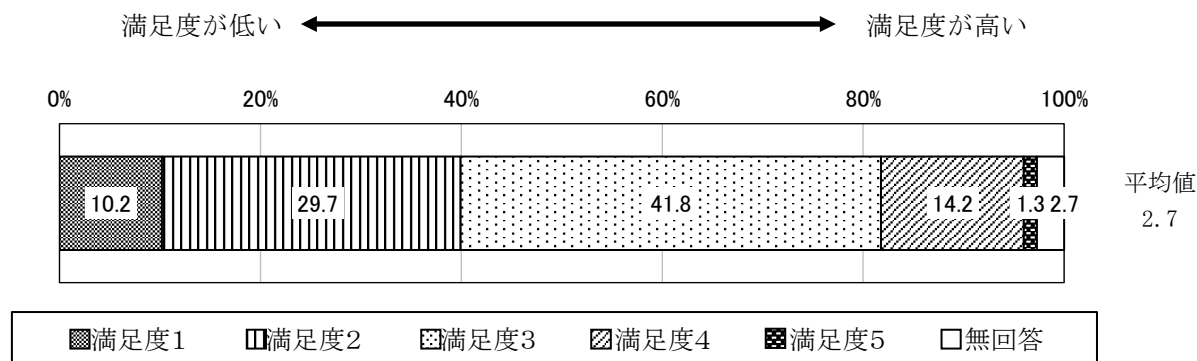
## 12. 子育て支援への満足度やご意見について

### (1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問31 東久留米市の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

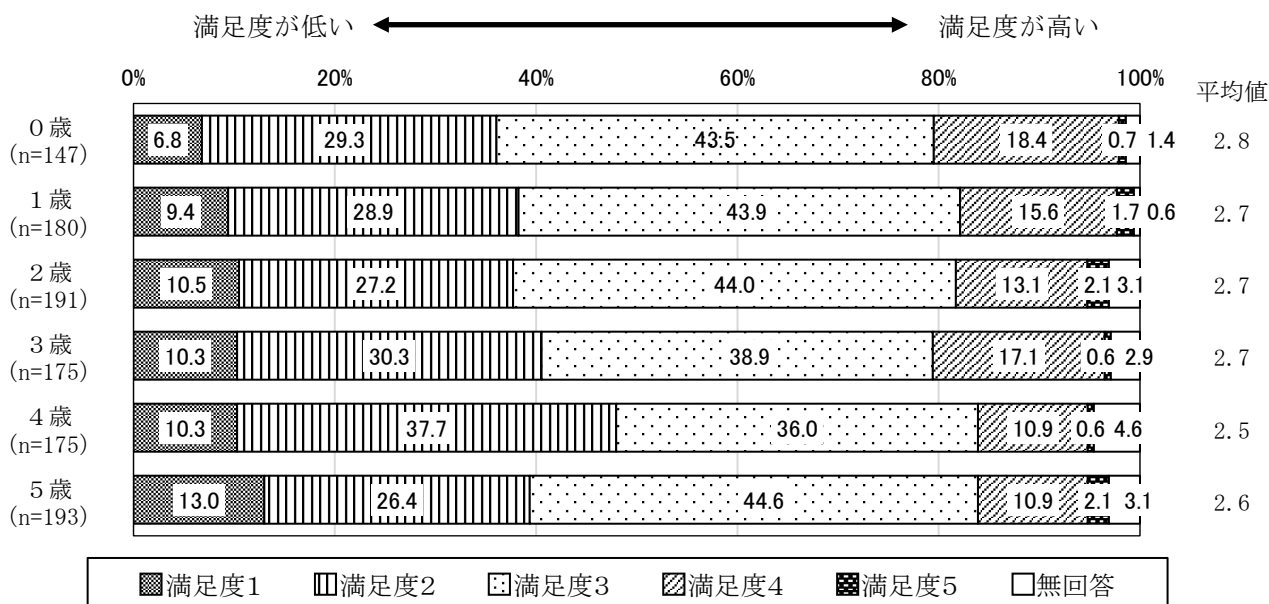
「満足度3」が最も多く、41.8%となっています。次いで「満足度2」が29.7%、「満足度4」が14.2%、「満足度1」が10.2%、「満足度5」が1.3%と続いています。

n=1,074



#### 【東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度—子どもの年齢（学年齢）別】

東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「満足度4」と「満足度5」の計は0歳で最も多く、19.1%となっています。「満足度1」と「満足度2」の計は4歳で最も多く、48.0%となっています。



## (2) 自由意見

問32 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。





### Ⅲ. 就学児童（小学校 2 年生） 調査の結果



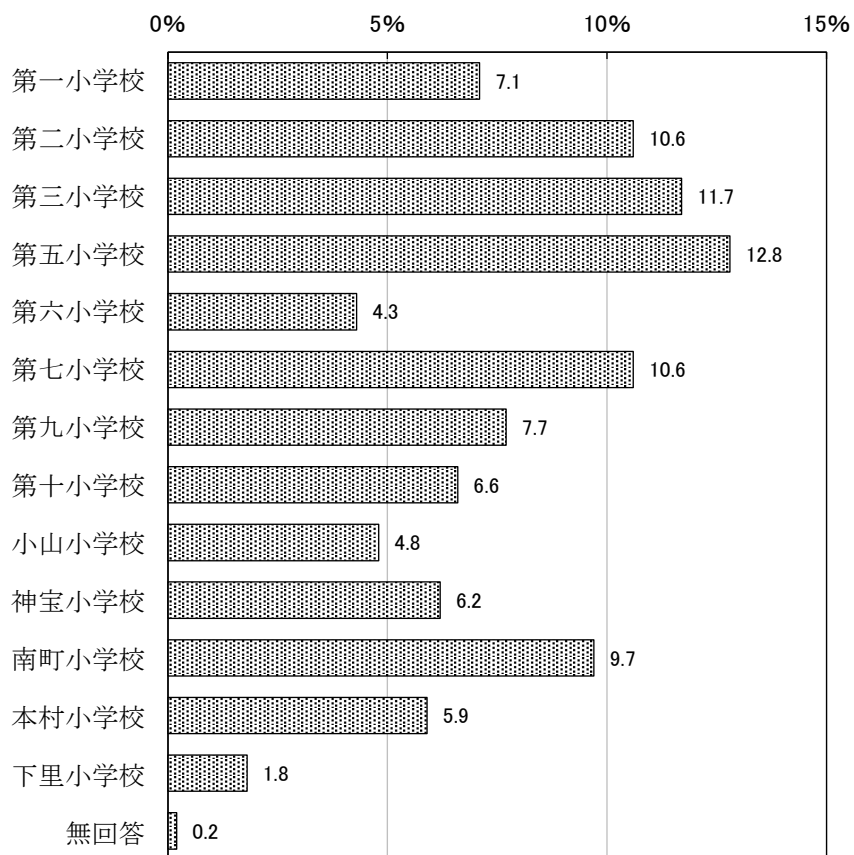
# 1. お住まいの地域

## (1) 通っている小学校

問1 お子さんが通っている学校はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「第五小学校」が最も多く、12.8%となっています。次いで「第三小学校」が11.7%、「第二小学校」と「第七小学校」が10.6%と続いています。

n=649



## 2. お子さんご家族の状況について

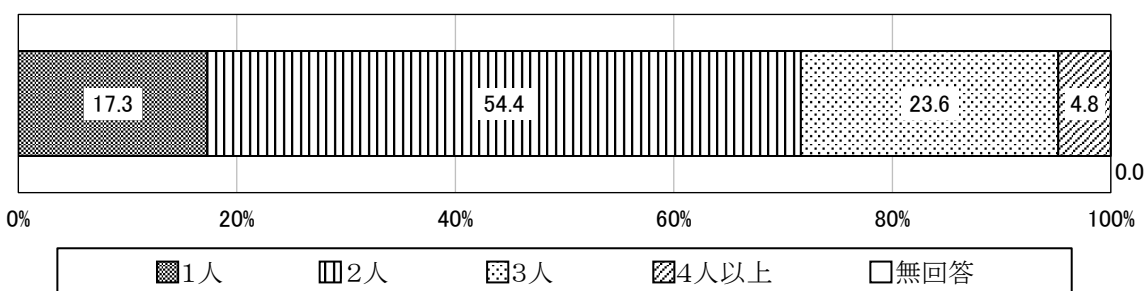
### (2) きょうだいの数・末子の年齢

問2 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

#### ①きょうだいの数

「2人」が最も多く、54.4%となっています。次いで「3人」が23.6%、「1人」が17.3%と続いています。

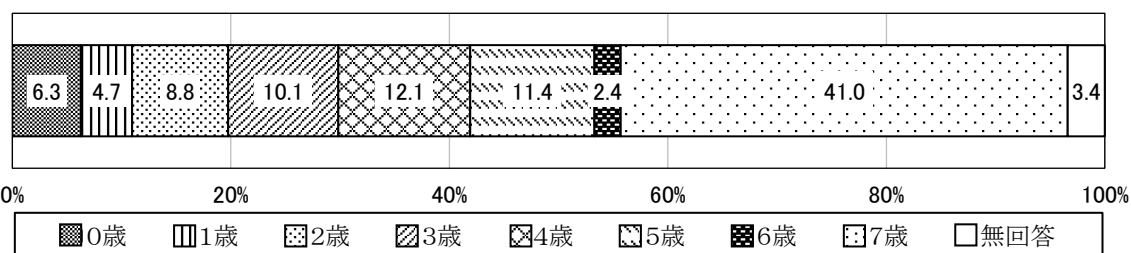
n=649



#### ②末子の年齢

「7歳」が最も多く、41.0%となっています。次いで「4歳」が12.1%、「5歳」が11.4%、「3歳」が10.1%と続いています。

n=537

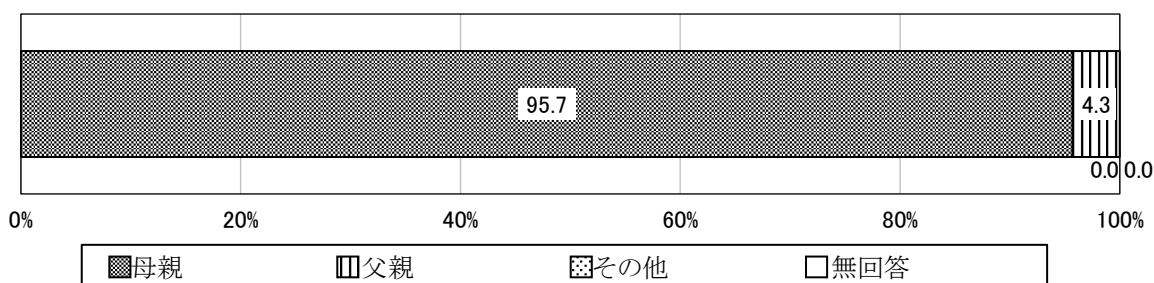


### (3) 調査票の回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が95.7%、「父親」が4.3%となっています。

n=649

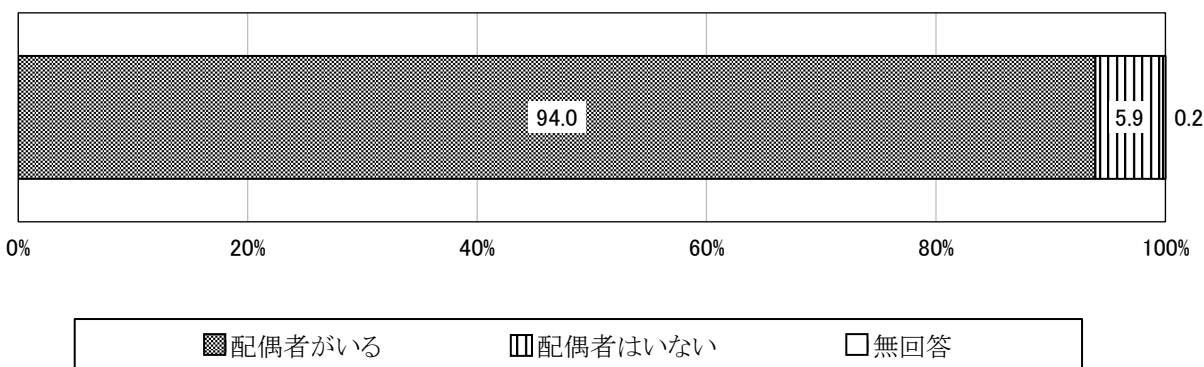


#### (4) 調査票の回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が94.0%、「配偶者はいない」が5.9%となっています。

n=649

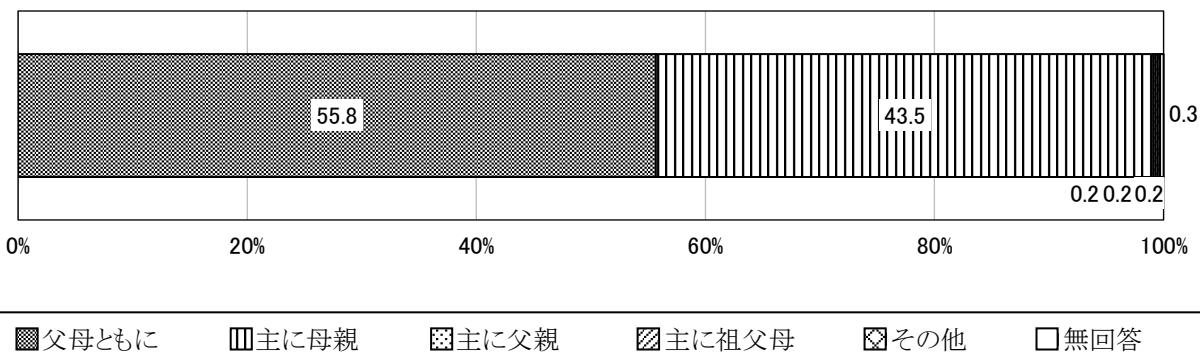


#### (5) 子育てを主に行っている人

問5 小学2年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が最も多く、55.8%となっています。次いで「主に母親」が43.5%と続いています。

n=649



### 3. 保護者の働き方について

#### (1) 保護者の就労状況

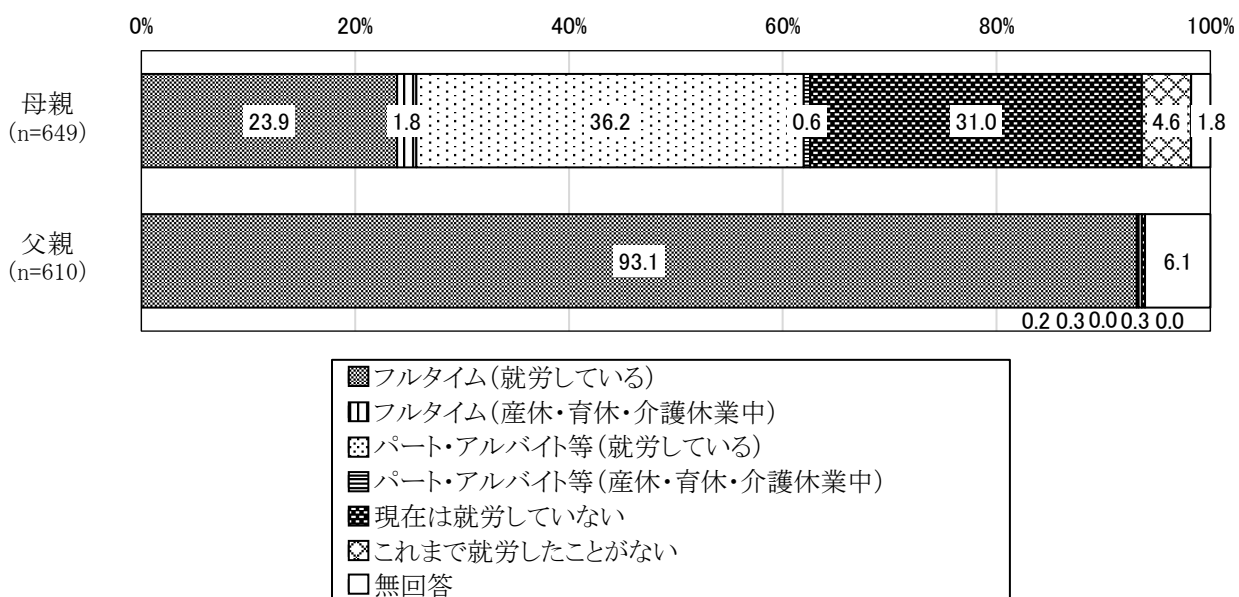
##### ①就労状況

問6 (1) 小学2年生のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等で就労している」が最も多く、36.2%となっています。次いで「現在は就労していない」が31.0%、「フルタイムで就労している」が23.9%と続いています。

父親では「フルタイムで就労している」が最も多く、93.1%となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。



## ①就労日数・就労時間

※問6（1）で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

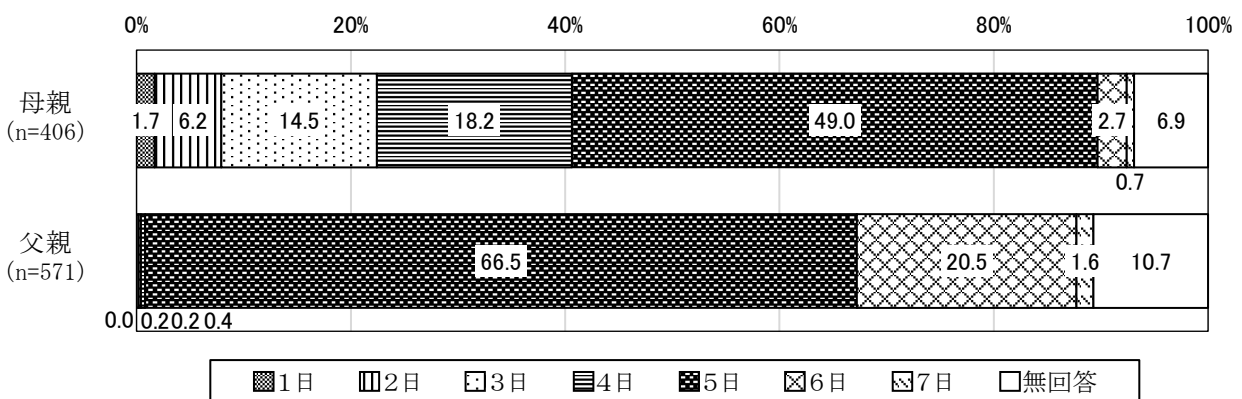
問6（2）週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

### 【1週当たりの就労日数】

母親では「5日」が最も多く、49.0%となっています。次いで「4日」が18.2%、「3日」が14.5%と続いています。

父親では「5日」が最も多く、66.5%となっています。次いで「6日」が20.5%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

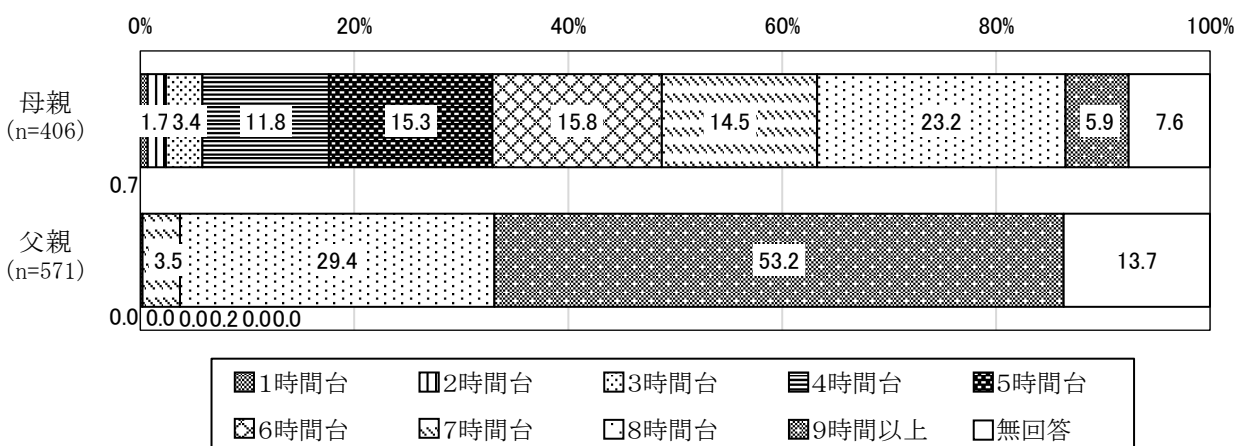


### 【1日当たりの就労時間】

母親では「8時間台」が最も多く、23.2%となっています。次いで「6時間台」が15.8%、「5時間台」が15.3%、「7時間台」が14.5%、「4時間台」が11.8%と続いています。

父親では「9時間以上」が最も多く、53.2%となっています。次いで「8時間台」が29.4%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。



### ③家を出る時間と帰宅時間

※問6で「1」から「4」のいずれか（就労している）に○をつけた方にうかがいました。

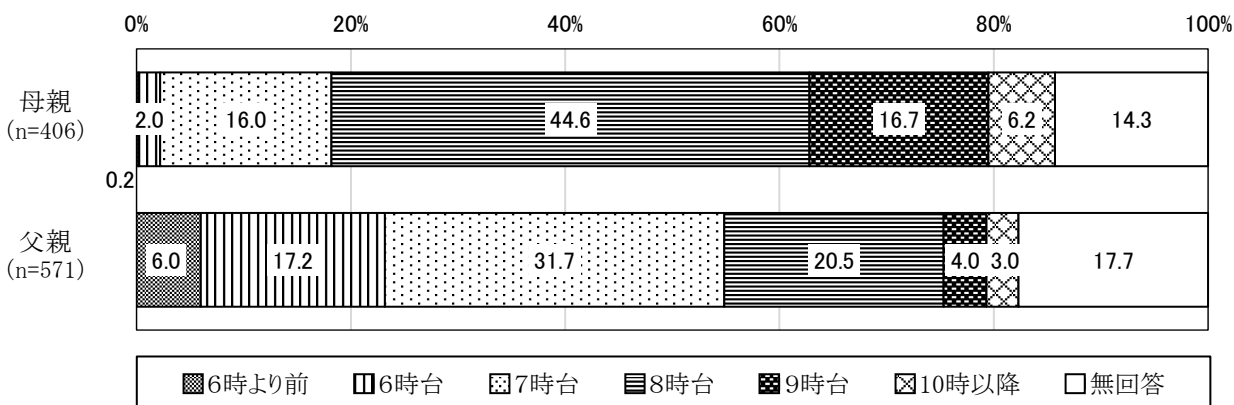
問6（3）家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

#### 【家を出る時間】

母親では「8時台」が最も多く、44.6%となっています。次いで「9時台」が16.7%、「7時台」が16.0%と続いています。

父親では「7時台」が最も多く、31.7%となっています。次いで「8時台」が20.5%、「6時台」が17.2%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

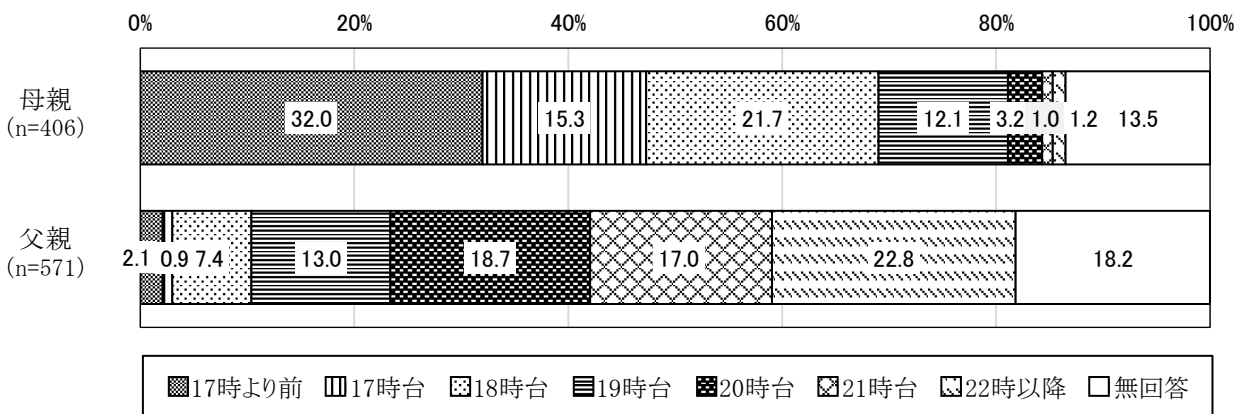


#### 【帰宅時間】

母親では「17時より前」が最も多く、32.0%となっています。次いで「18時台」が21.7%、「17時台」が15.3%と続いています。

父親では「22時以降」が最も多く、22.8%となっています。次いで「20時間台」が18.7%、「21時台」が17.0%と続いています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。





## (2) フルタイムへの転換希望

※問6 (1) で「3. パート・アルバイト等で就労している」または「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいました。

### ①就労状況

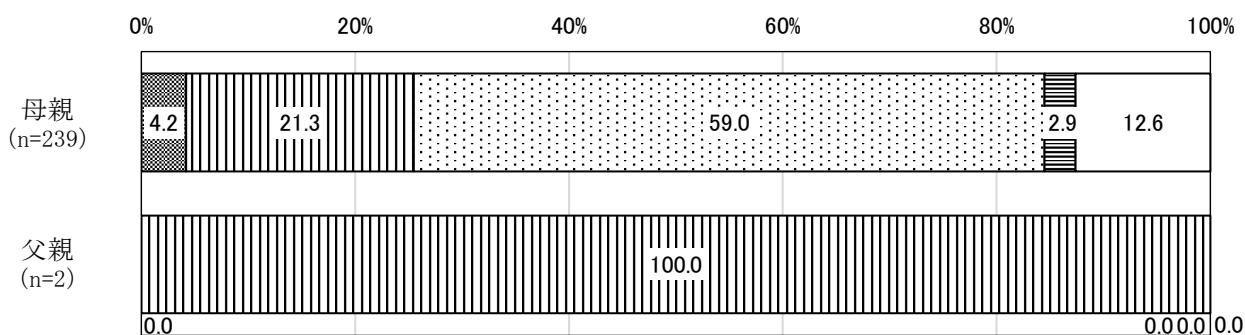
問7 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、59.0%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.3%と続いています。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が100.0%（2人中2人）となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▩ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ▧ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

### (3) 就労希望

※問6 (1) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいました。

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○を付け、該当する下線部に数字をご記入ください。

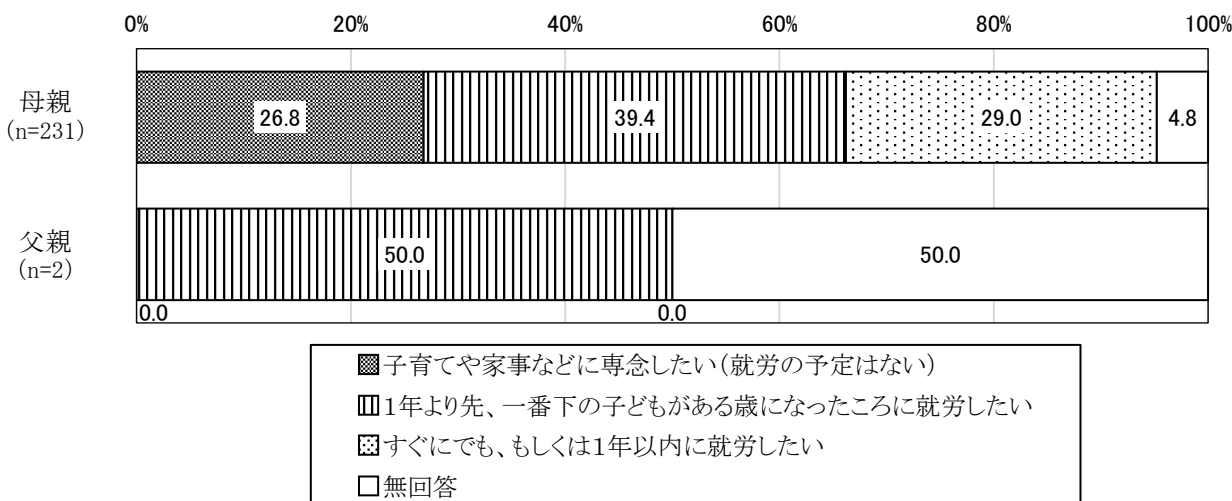
#### ①就労希望

母親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が最も多く、39.4%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が26.8%と続いています。

父親では「1年より先、一番下の子どもがある歳になったころに就労したい」が50.0% (2人中1人) となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



#### 【一番下の子どもが何歳になったころに仕事に就きたいか】

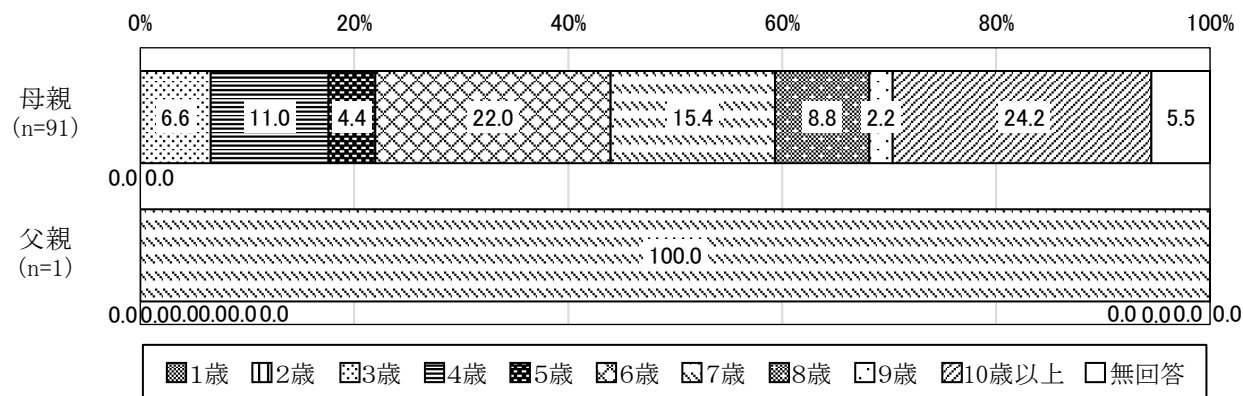
※問8で「1年より先、一番下の子どもがある年齢になったころに仕事に就きたい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「10歳以上」が最も多く、24.2%となっています。次いで「6歳」が22.0%、「7歳」が15.4%、「4歳」が11.0%と続いています。

父親では「7歳」が100% (1人中1人) となっています。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

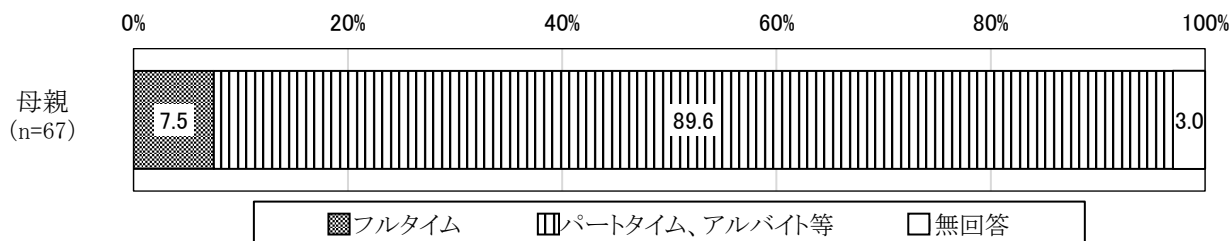


## ②就労形態

※問8で「すぐにでも、もしくは1年以内に仕事に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親では「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、89.6%となっています。次いで「フルタイム」が7.5%と続いています。

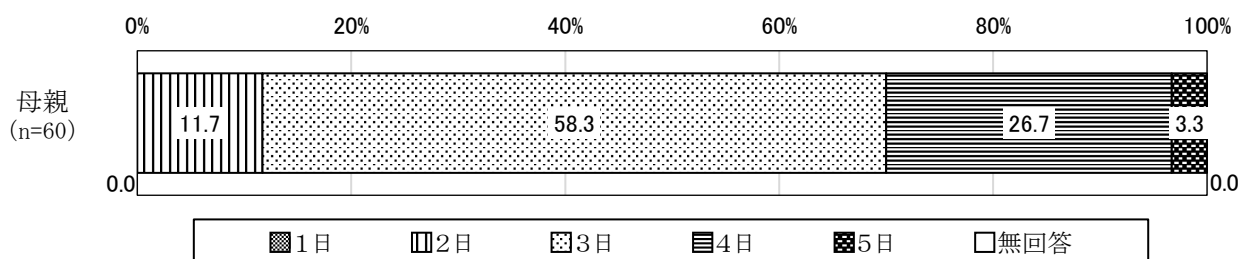
※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



### 【パートタイム、アルバイト等の1週当たりの就労日数】

母親では「3日」が最も多く、58.3%となっています。次いで「4日」が26.7%、「2日」が11.7%と続いています。

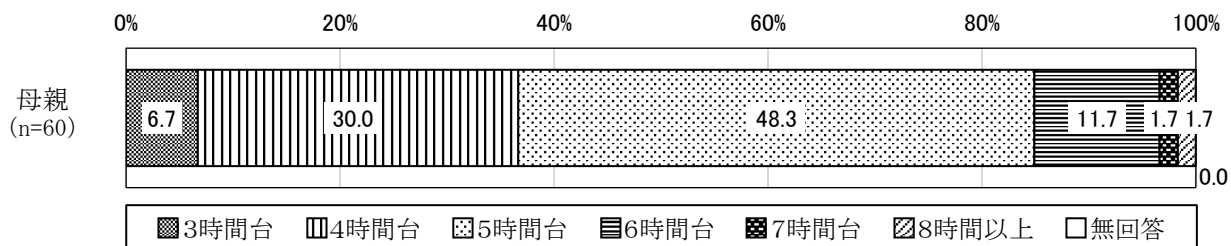
※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



### 【パートタイム、アルバイト等の1日当たりの就労時間】

母親では「5時間台」が最も多く、48.3%となっています。次いで「4時間台」が30.0%、「6時間台」が11.7%と続いています。

※“父親”“その他”は、回答対象者がいませんでした。



## 4. お子さんの病気の際の対応について

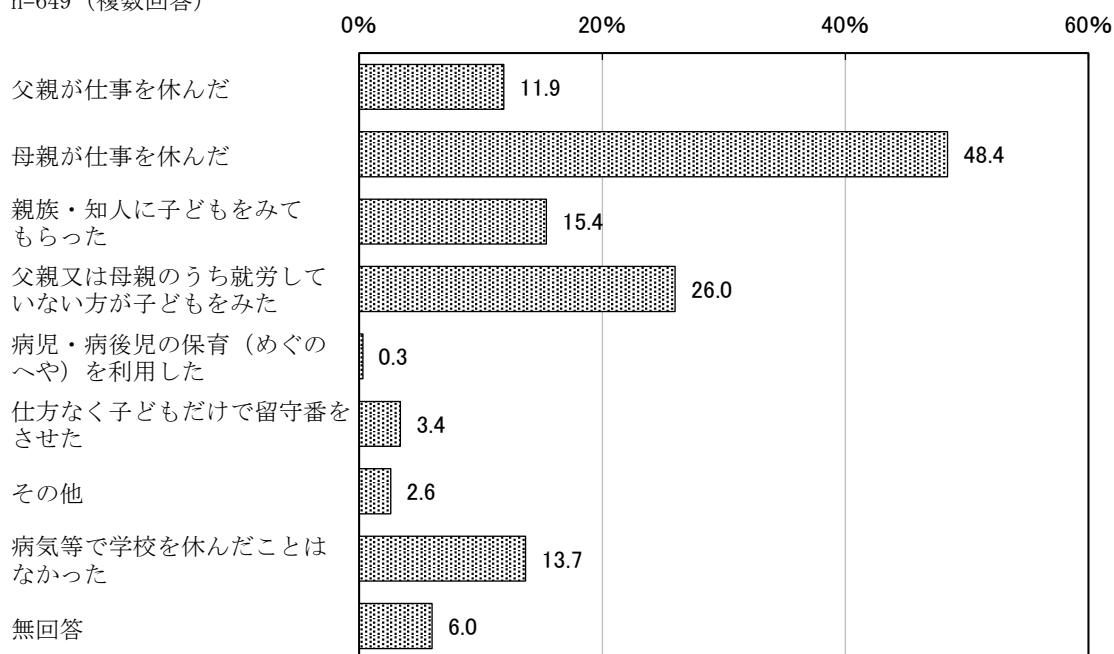
### (1) 病気やケガで学校を休んだ歳の対処方法と日数

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

#### ①対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く、48.4%となっています。次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が26.0%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が15.4%と続いています。

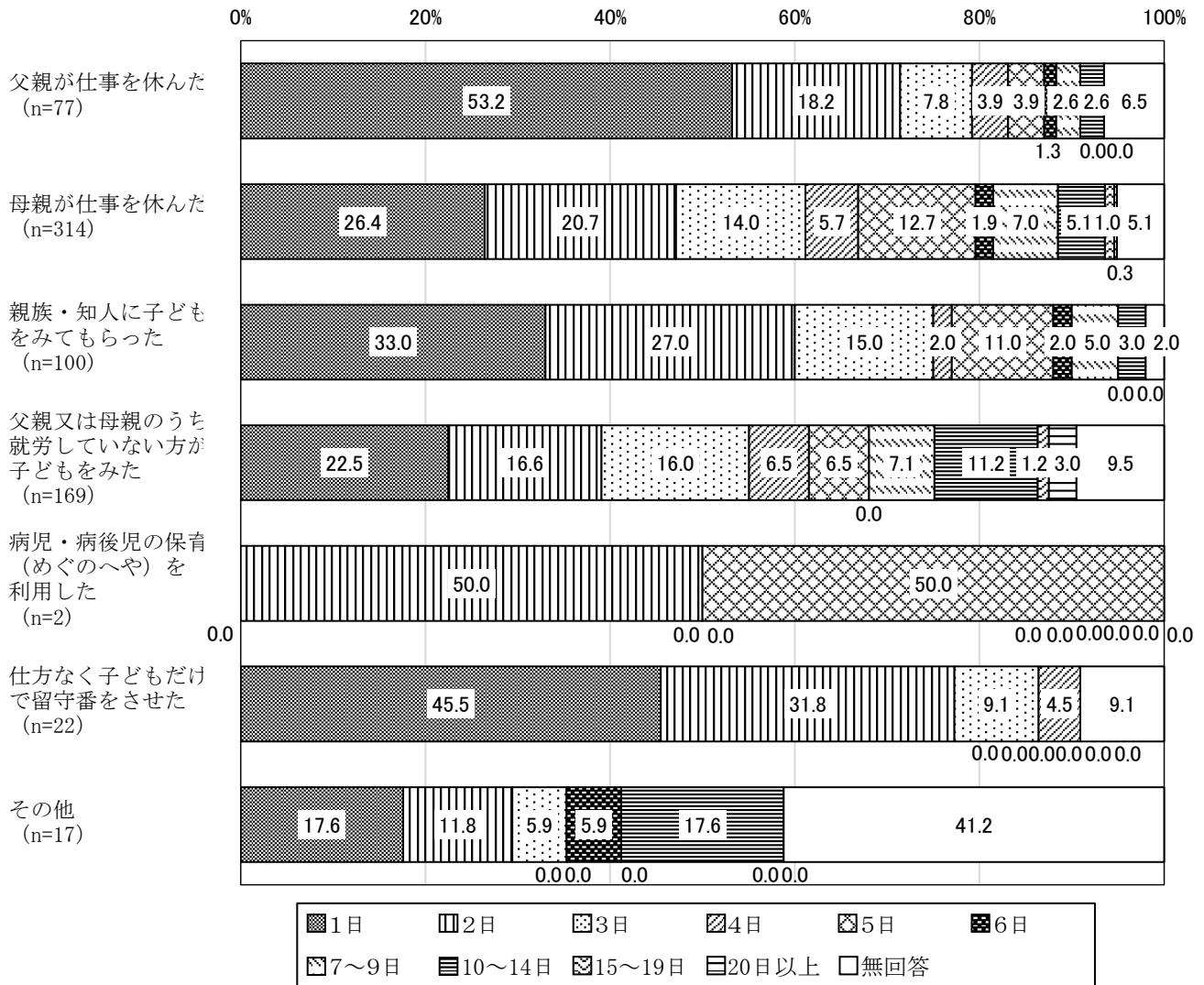
n=649（複数回答）



## ② 1年間の日数

いずれの項目も「1日」が最も多く、「父親が仕事を休んだ」では53.2%と半数以上となっています。次いで「2日」、「3日」と続いています。

※ “病児・病後児の保育（めぐのへや）を利用した” “仕方なく子どもだけで留守番をさせた” は回答者数が少ないため、参考値となります。



## (2) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

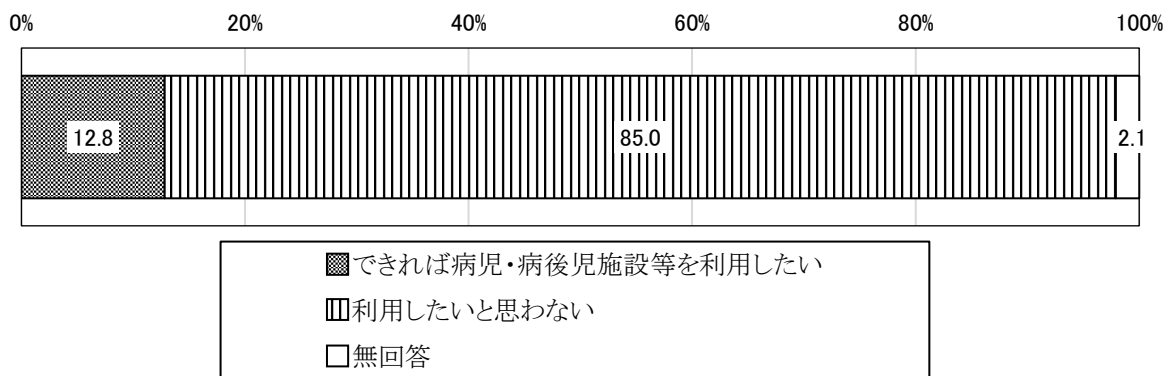
※問9-1で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方がうかがいました。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

### ①利用意向

「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が12.8%、「利用したいと思わない」が85.0%となっています。

n=327

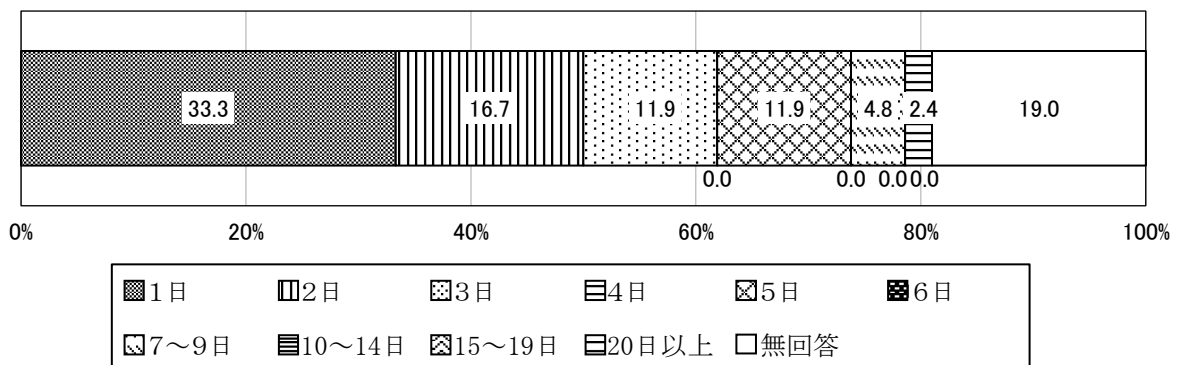


### ②利用希望日数

※問9-2で「1. できれば病児・病後児施設等を利用したい」に○をつけた方がうかがいました。

「1日」が最も多く、33.3%となっています。次いで「2日」が16.7%、「3日」と「5日」が11.9%と続いています。

n=42



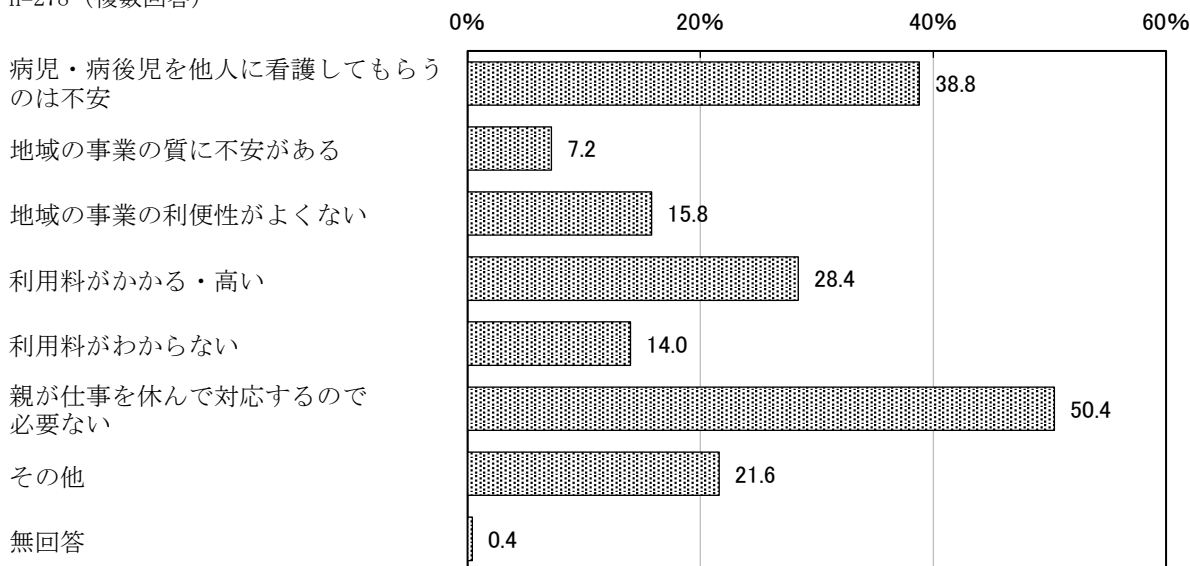
### (3) 病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

※問9-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にかがいました。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が最も多く、50.4%となっています。次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が38.8%、「利用料がかかる・高い」が28.4%と続いています。

n=278 (複数回答)



### (4) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

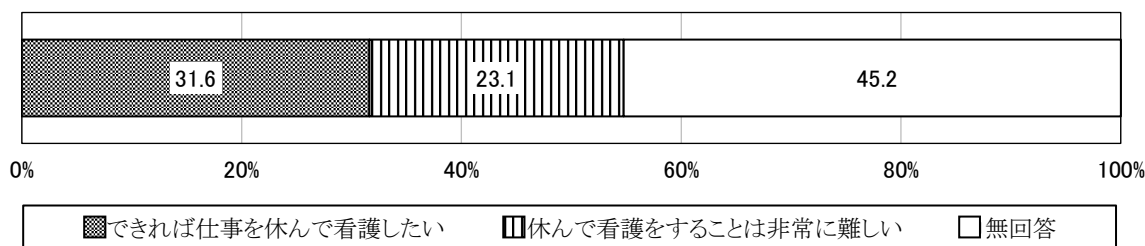
※問9-1で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「キ. その他」のいずれかに○をつけた方にかがいました。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

#### ① 休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が31.6%、「休んで看護をすることは非常に難しい」が23.1%となっています。

n=294

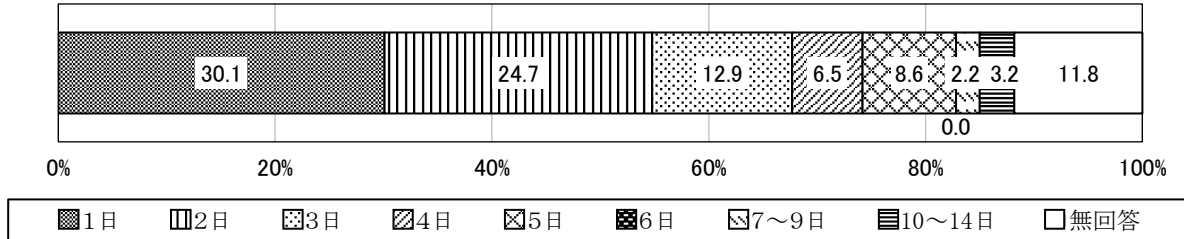


## ②日数

※問9-4で「1. できれば仕事を休んで看護したい」に○をつけた方にかがいました。

「1日」が最も多く、30.1%となっています。次いで「2日」が24.7%、「3日」が12.9%と続いています。

n=93



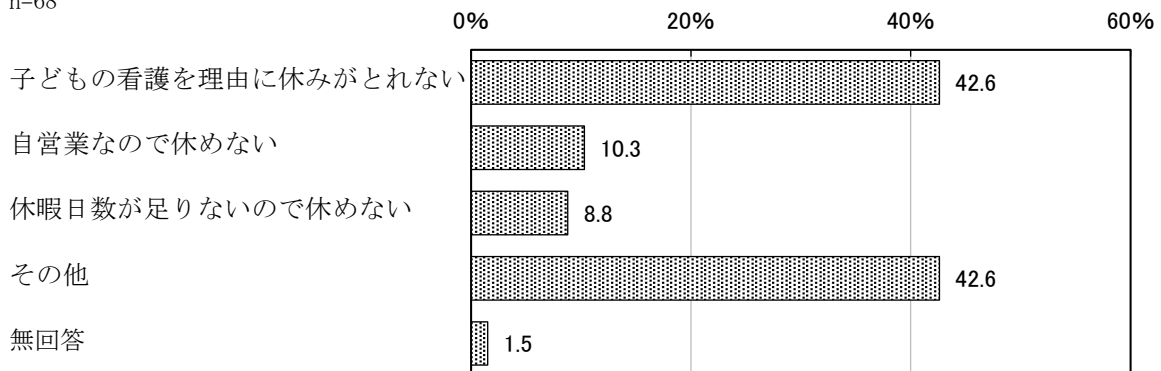
## (5) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

※問9-4で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にかがいました。

問9-5 「休んで看護することは難しい」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、42.6%となっています。次いで「自営業なので休めない」が10.3%と続いています。

n=68





## 5. 一時預かり等の利用状況について

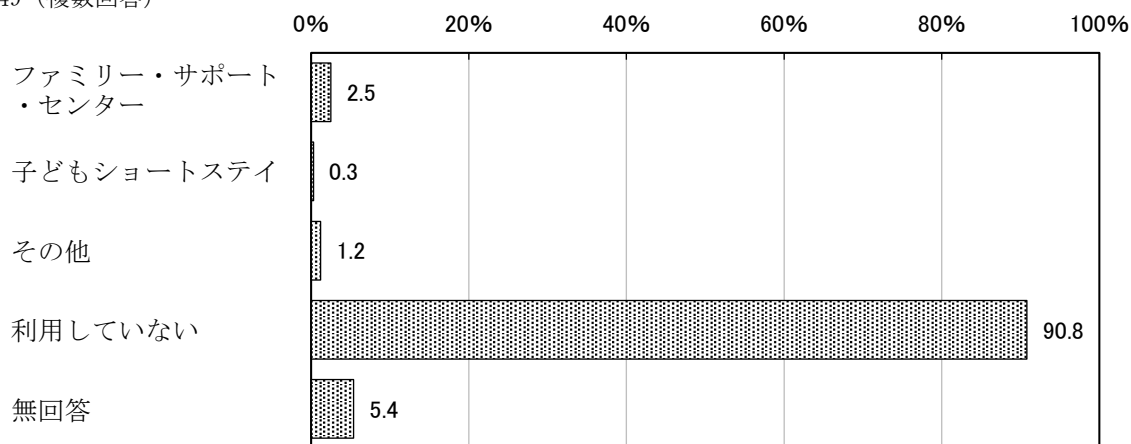
### (1) 一時預かり等の利用状況と日数

問10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

#### ①利用状況

「利用していない」が最も多く、90.8%となっています。次いで「ファミリー・サポート・センター」が2.5%と続いています。

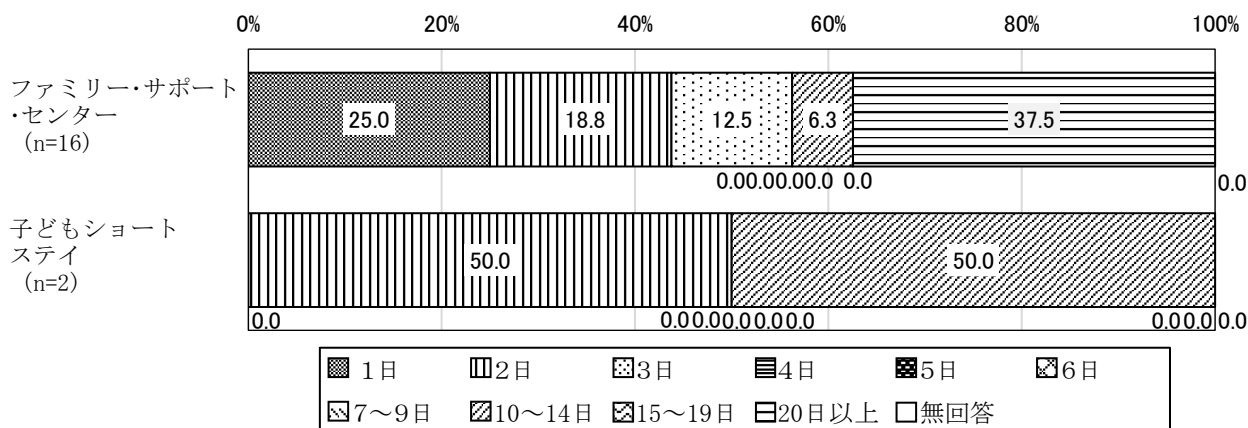
n=649（複数回答）



#### ②日数

“ファミリー・サポート・センター”の利用日数は「20日以上」が最も多く、37.5%（16人中6人）となっています。“子どもショートステイ”の利用日数は「2日」と「10～14日」が50.0%（2人中1人）となっています。

※本設問の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



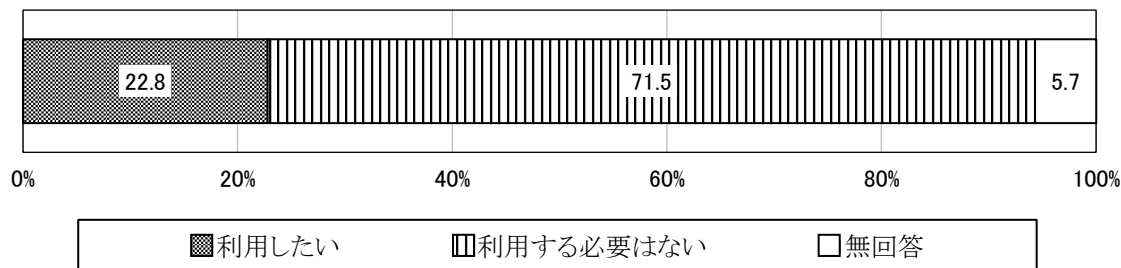
## (2) 一時預かり等の利用希望と日数

問11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

### ①利用希望

「利用したい」が22.8%、「利用する必要はない」が71.5%となっています。

n=649

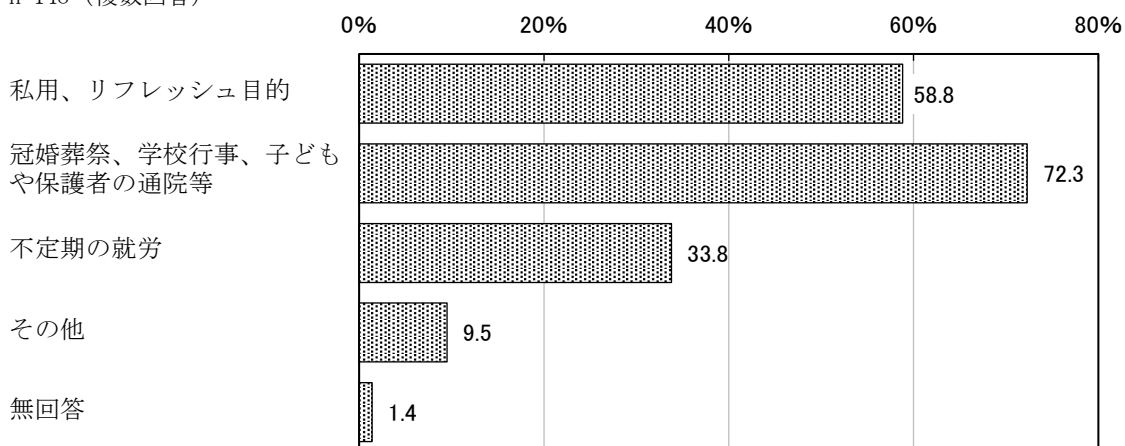


### ②利用目的

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等」が最も多く、72.3%となっています。次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が58.8%、「不定期の就労」が33.8%と続いています。

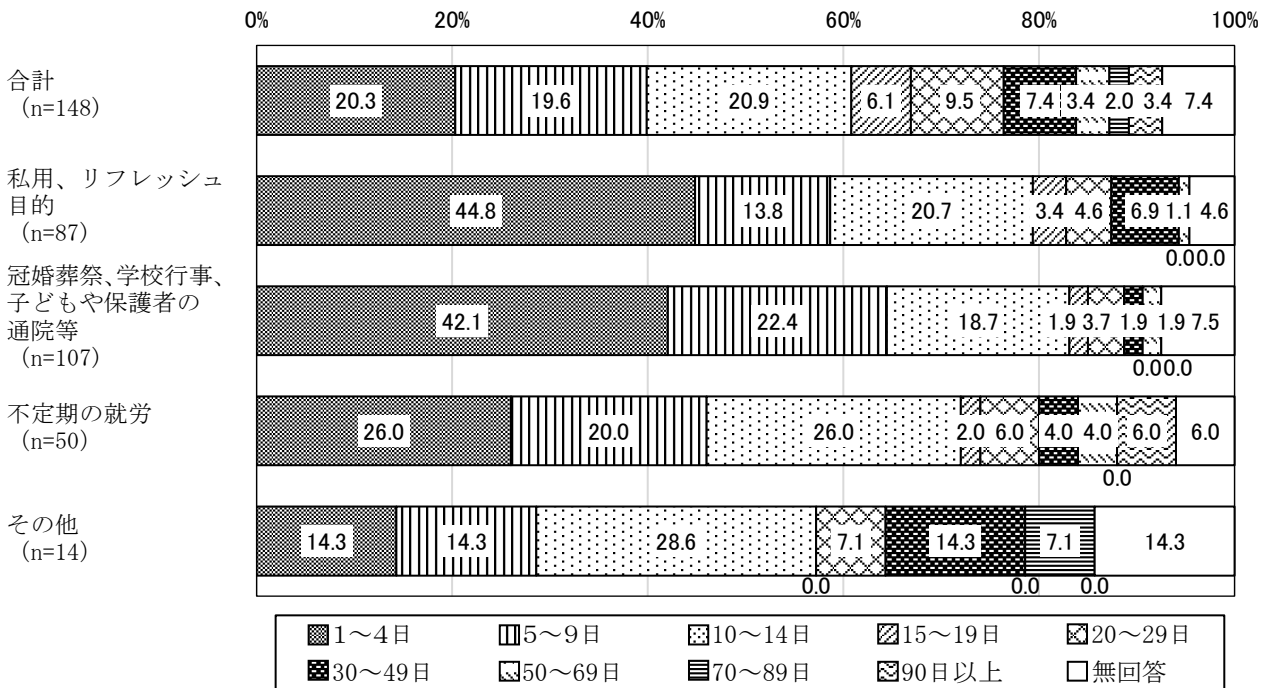
n=148（複数回答）



### ③日数

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

“合計”では「10～14日」が最も多く、20.9%となっており、「1～4日」が20.3%、「5～9日」が19.6%と続いています。“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的”では「1～4日」が最も多く、44.8%となっており、「10～14日」が20.7%と続いています。“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等”では「1～4日」が最も多く、42.1%となっており、「5～9日」が22.4%、「10～14日」が18.7%と続いています。“不定期の就労”では「1～4日」と「10～14日」が最も多く、26.0%となっており、次いで「5～9日」が20.0%と続いています。

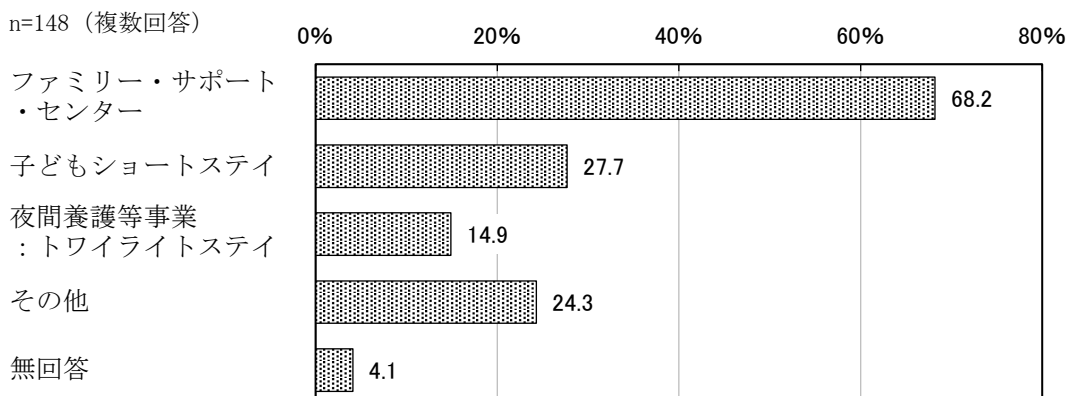


### (3) 一時預かり等の事業形態

※問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

問11-1 問11の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ファミリー・サポート・センター」が最も多く、68.2%となっています。次いで「子どもショートステイ」が27.7%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が14.9%と続いています。



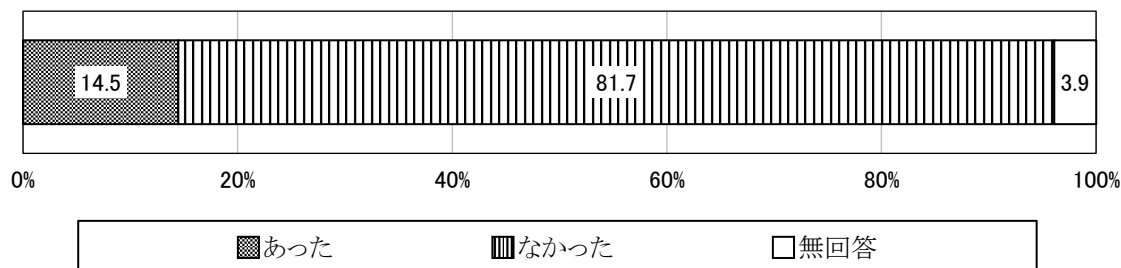
#### (4) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、小学2年生のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

##### ① 宿泊を伴う一時預かりの有無

「あった」が14.5%、「なかった」が81.7%となっています。

n=649

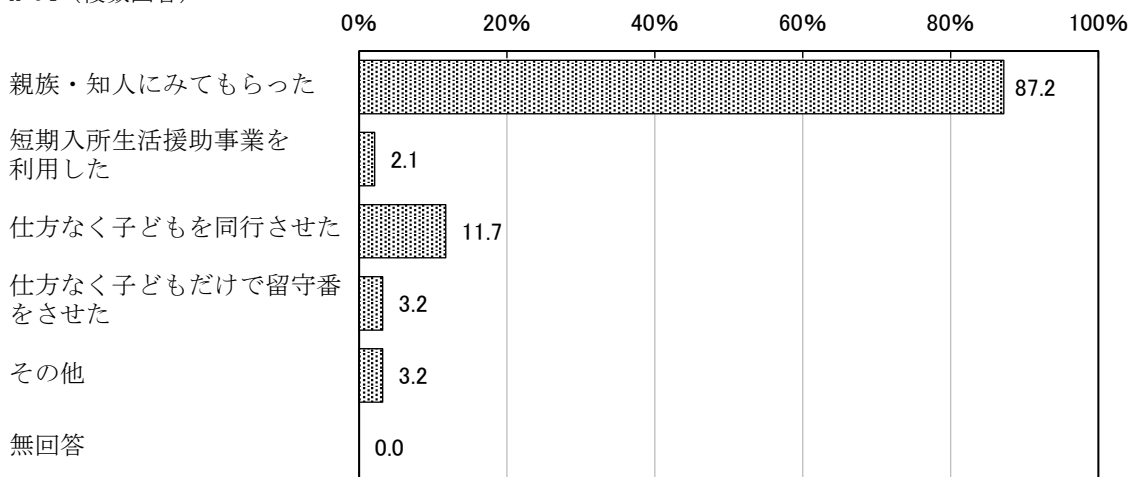


##### ② 対処方法

※問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいました。

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、87.2%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が11.7%と続いています。

n=94（複数回答）

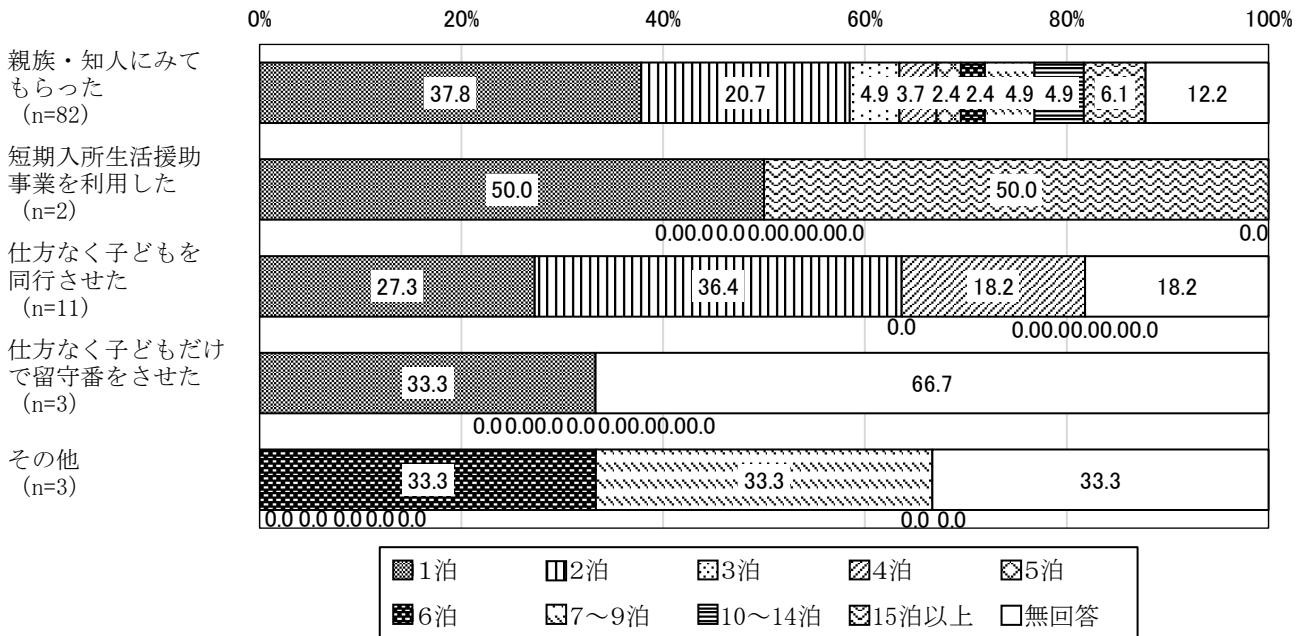


### ③泊数

※問12で「1. あった」に○をつけた方にかがいました。

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった”では「1泊」が最も多く、37.8%となっており、「2泊」が20.7%と続いています。

※“短期入所生活援助事業を利用した”“仕方なく子どもを同行させた”“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”は回答者数が少ないため、参考値となります。



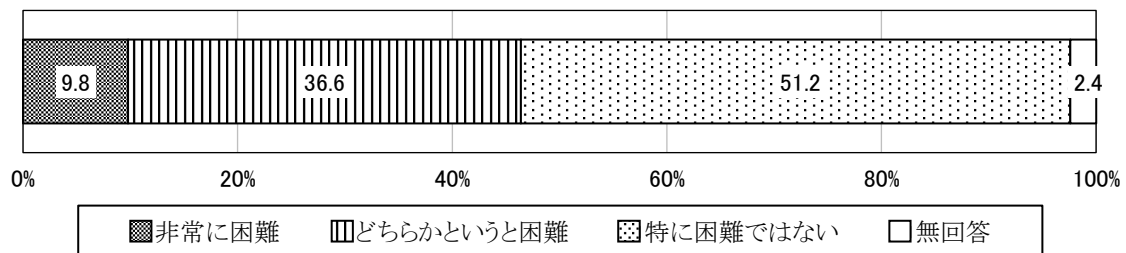
### (5) 親族・知人に預ける困難さ

※問12で「1. あった」のうち、「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にかがいました。

問12-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、51.2%となっています。次いで「どちらかという困難」が36.6%、「非常に困難」が9.8%と続いています。

n=82



## 6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

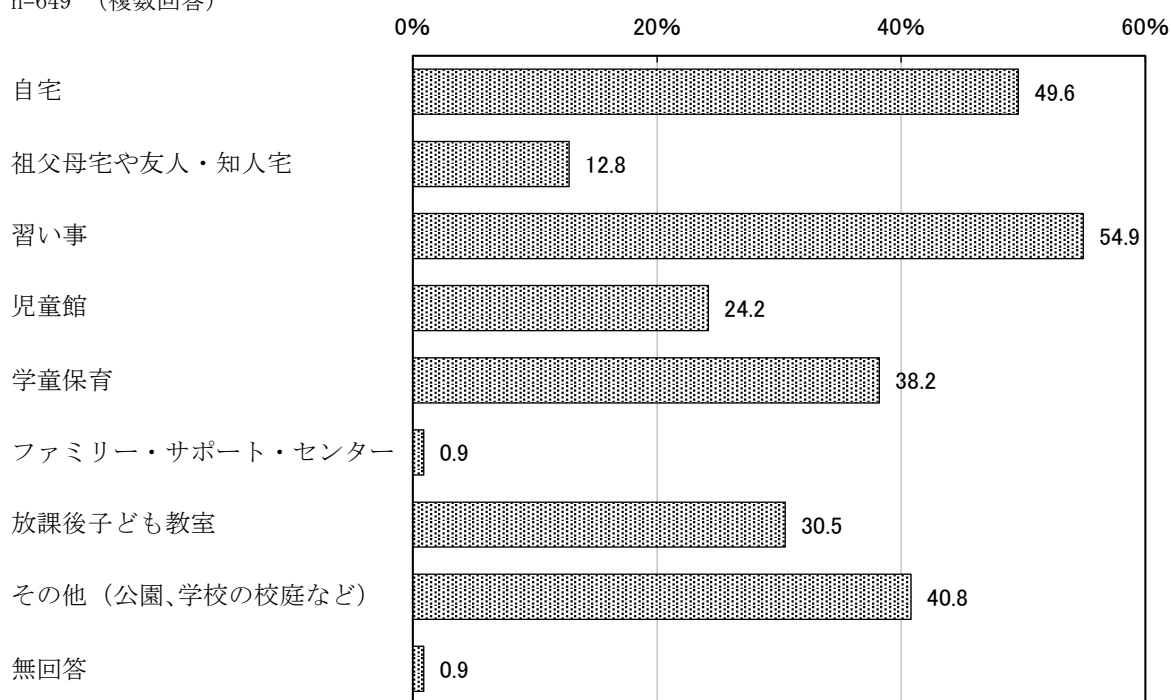
### (1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年（3年生まで）のうち、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

#### ①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、54.9%となっています。次いで「自宅」が49.6%、「その他（公園、学校の校庭など）」が40.8%、「学童保育」が38.2%と続いています。

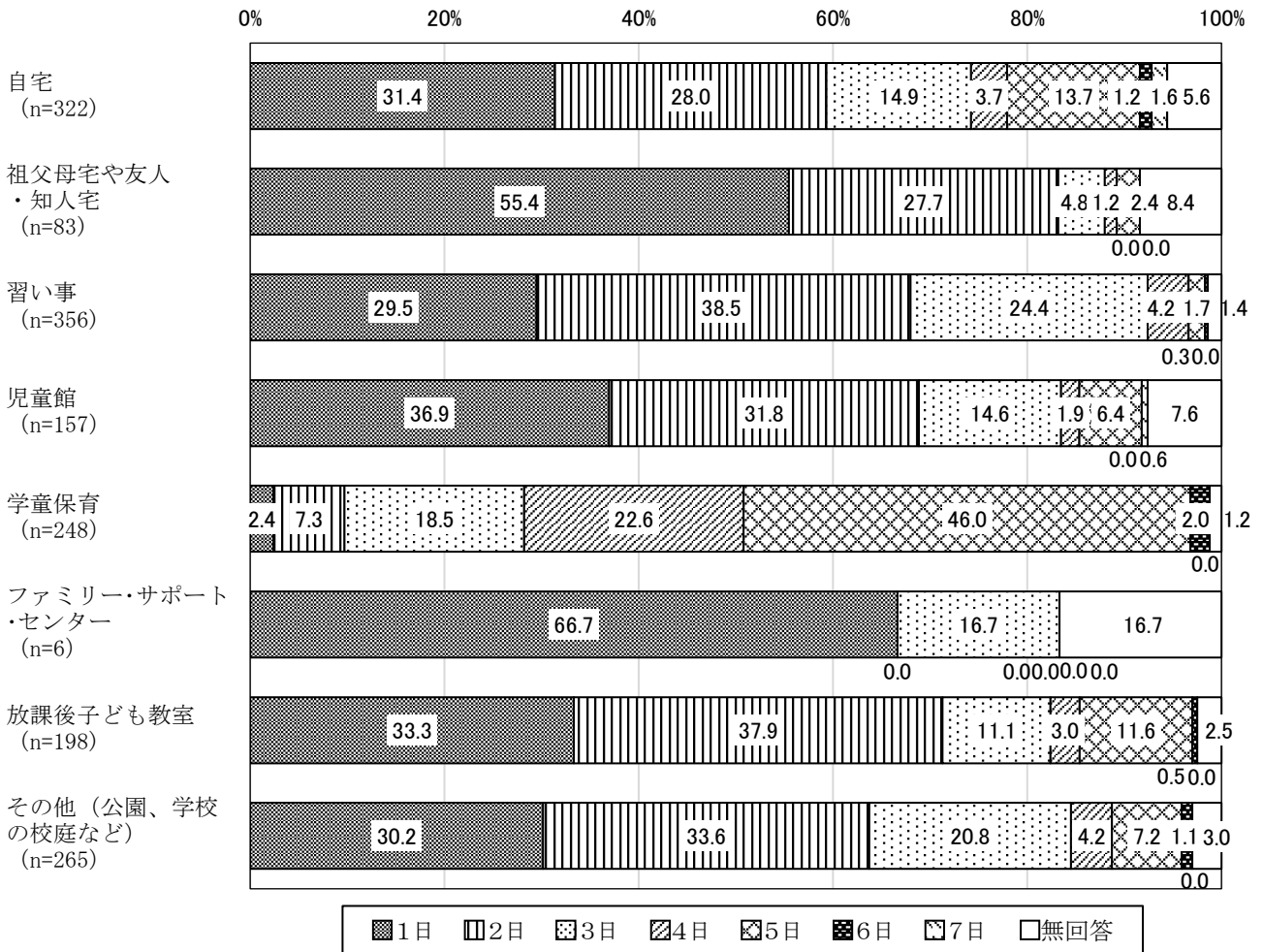
n=649（複数回答）



## ② 1週当たりの日数

“自宅”、“祖父母宅や友人・知人宅”、“児童館”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”は55.4%となっています。“習い事”、“放課後子ども教室”、“その他公園、学校の公園など”は「2日」が最も多く、いずれも30%台となっています。“学童保育”は「5日」が最も多く、46.0%となっており、次いで「4日」が22.6%、「3日」が18.5%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

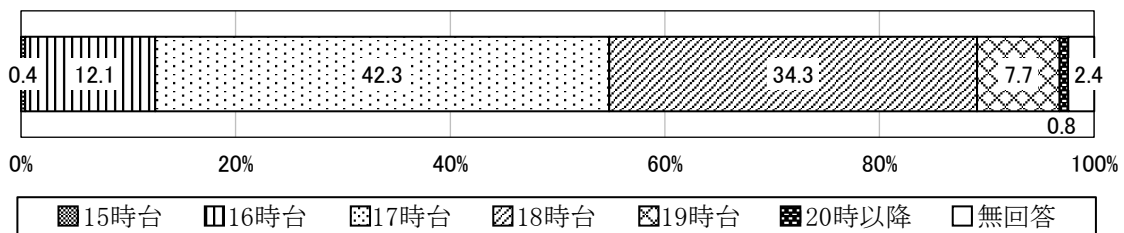


## ③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問13で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「17時台」が最も多く、42.3%となっています。次いで「18時台」が34.3%、「16時台」が12.1%と続いています。

n=248



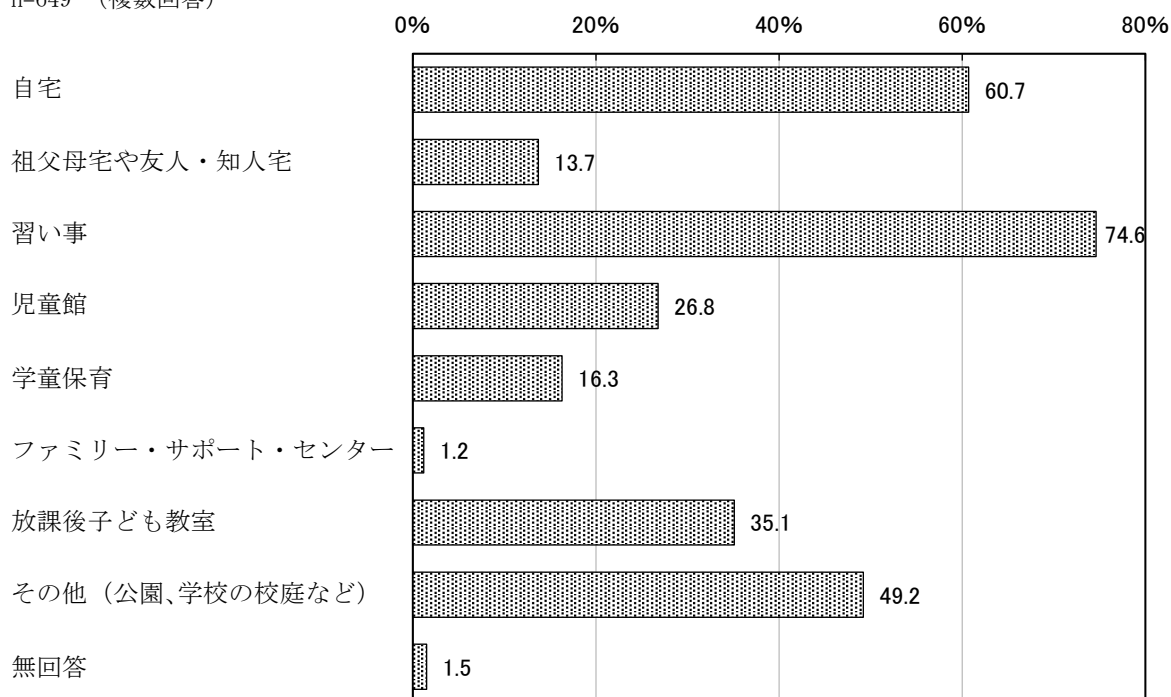
## (2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時」のように24時間制でご記入ください。

### ①希望する放課後の過ごし方

「習い事」が最も多く、74.6%となっています。次いで「自宅」が60.7%、「その他（公園、学校の校庭など）」が49.2%、「放課後子ども教室」が35.1%、「児童館」が26.8%と続いています。

n=649（複数回答）

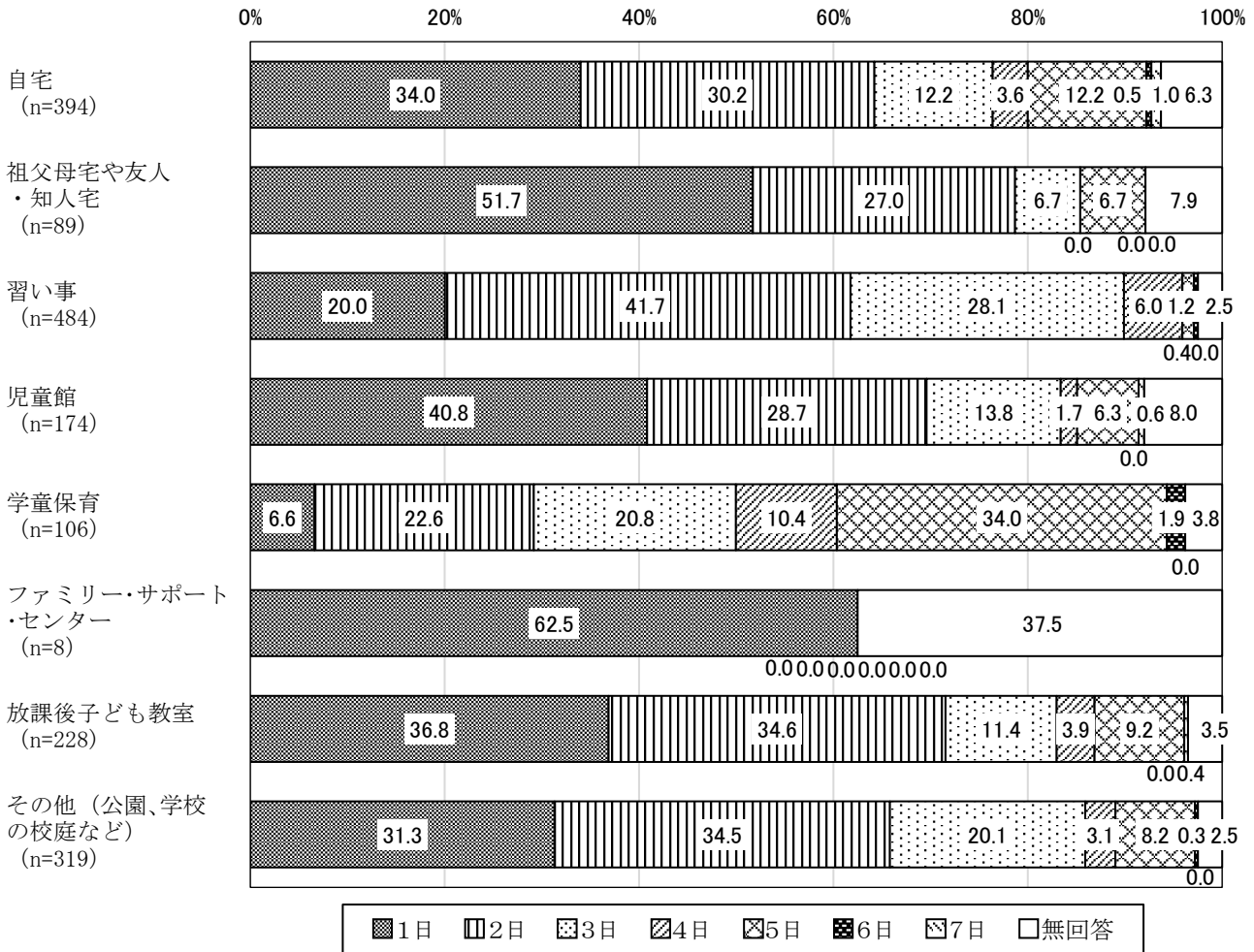




## ② 1週当たりの日数

“自宅”、“祖父母宅や友人・知人宅”、“児童館”、“放課後子ども教室”では「1日」が最も多く、特に“祖父母宅や友人・知人宅”は51.7%となっています。“習い事”、“その他（公園、学校の校庭など）”は「2日」が最も多くなっています。“学童保育”は「5日」が最も多く、34.0%となっており、次いで「2日」が22.6%、「3日」が20.8%と続いています。

※ “ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

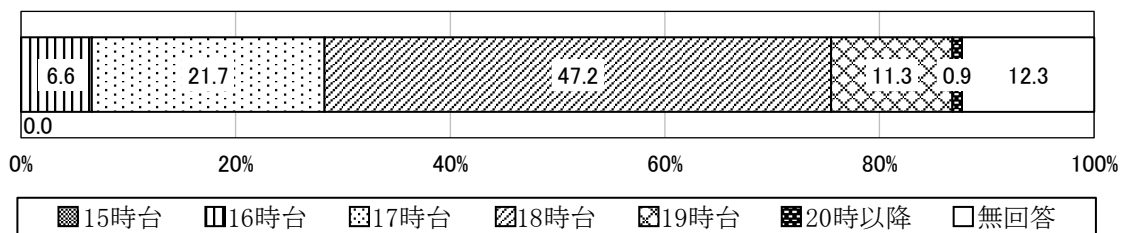


## ③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※問14で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、47.2%となっています。次いで「17時台」が21.7%、「19時台」が11.3%と続いています。

n=106



### (3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

※問13または問14で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいました。

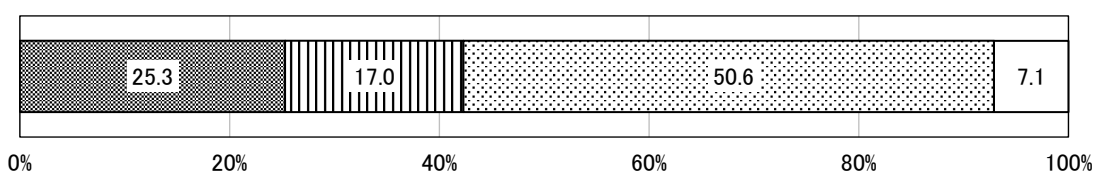
問15 小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

#### ①土曜日

##### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、50.6%となっています。次いで「低学年(3年生まで)の間は利用したい」が25.3%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が17.0%と続いています。

n=253



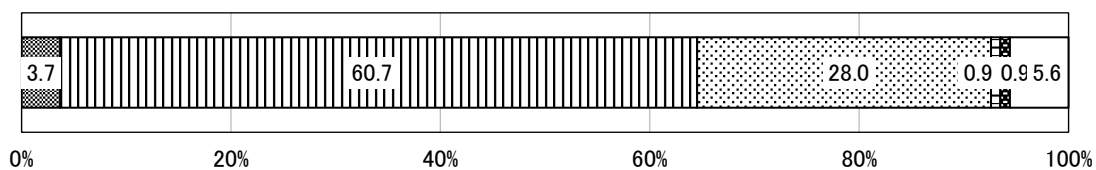
■低学年(3年生まで)の間は利用したい □高学年(4~6年生)になっても利用したい ▨利用する必要はない □無回答

##### 【利用開始時間】

※問15(1)で「1. 低学年(3年生まで)の間は利用したい」または「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、60.7%となっています。次いで「9時台」が28.0%と続いています。

n=107



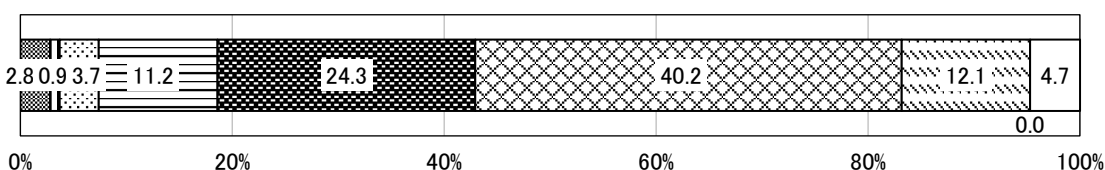
■7時台 □8時台 ▨9時台 ▩10時台 ▪11時以降 □無回答

##### 【利用終了時間】

※問15(1)で「1. 低学年(3年生まで)の間は利用したい」または「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、40.2%となっています。次いで「17時台」が24.3%、「19時台」が12.1%と続いています。

n=107



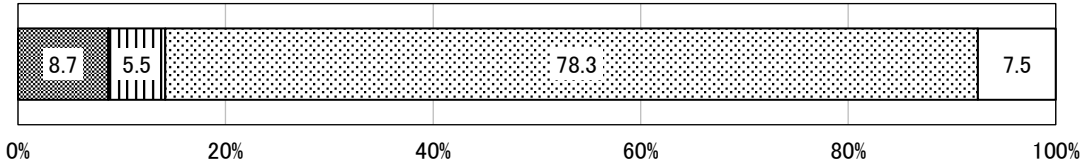
■13時台 □14時台 ▨15時台 ▩16時台 ▪17時台 ▫18時台 ▬19時台 ▭20時以降 □無回答

## ②日曜日

### 【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、78.3%となっています。次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が8.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.5%と続いています。

n=253



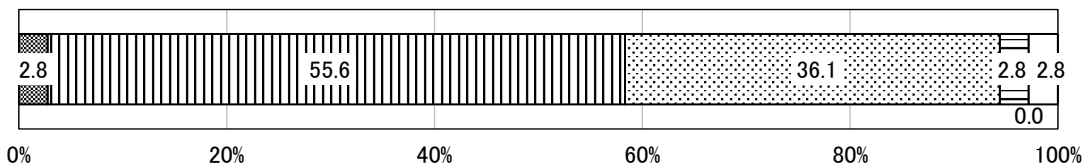
■低学年(3年生まで)の間は利用したい □高学年(4～6年生)になっても利用したい ▨利用する必要はない □無回答

### 【利用開始時間】

※問15(2)で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「8時台」が最も多く、55.6%となっています。次いで「9時台」が36.1%と続いています。

n=36



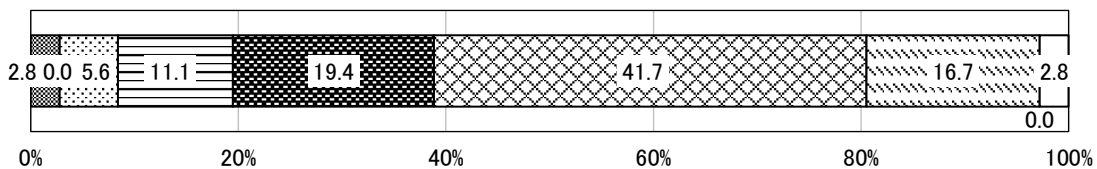
■7時台 □8時台 ▨9時台 ▩10時台 ▪11時以降 □無回答

### 【利用終了時間】

※問15(2)で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、41.7%となっています。次いで「17時台」が19.4%、「19時台」が16.7%と続いています。

n=36



■13時台 □14時台 ▨15時台 ▩16時台 ▪17時台 ▫18時台 ▬19時台 ▭20時以降 □無回答

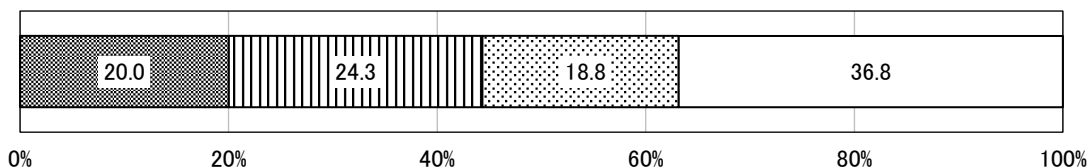
#### (4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

問16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

##### 【利用希望】

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が最も多く、24.3%となっています。次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が20.0%、「利用する必要はない」が18.8%と続いています。

n=649



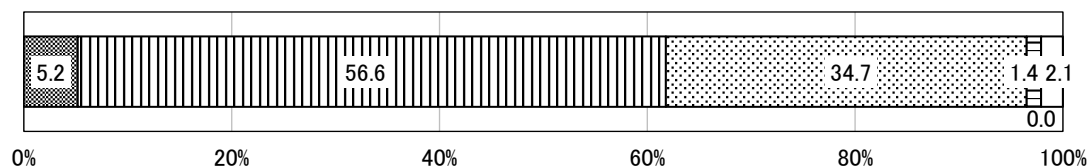
■低学年(3年生まで)の間は利用したい ■高学年(4～6年生)になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答

##### 【利用開始時間】

※問16で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方うかがいました。

「8時台」が最も多く、56.6%となっています。次いで「9時台」が34.7%と続いています。

n=288



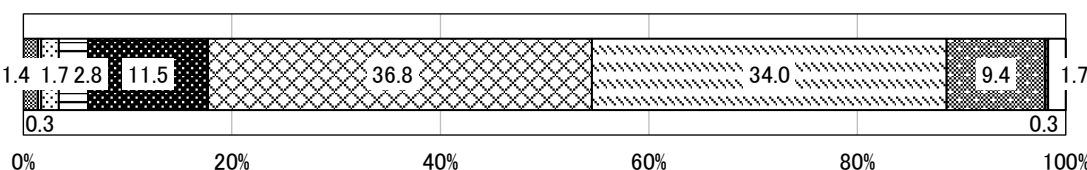
■7時台 ■8時台 ■9時台 ■10時台 ■11時以降 □無回答

##### 【利用終了時間】

※問16で「1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい」または「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方うかがいました。

「17時台」が最も多く、36.8%となっています。次いで「18時台」が34.0%、「16時台」が11.5%と続いています。

n=288



■12時台 ■13時台 ■14時台 ■15時台 ■16時台 ■17時台 ■18時台 ■19時台 ■20時以降 □無回答

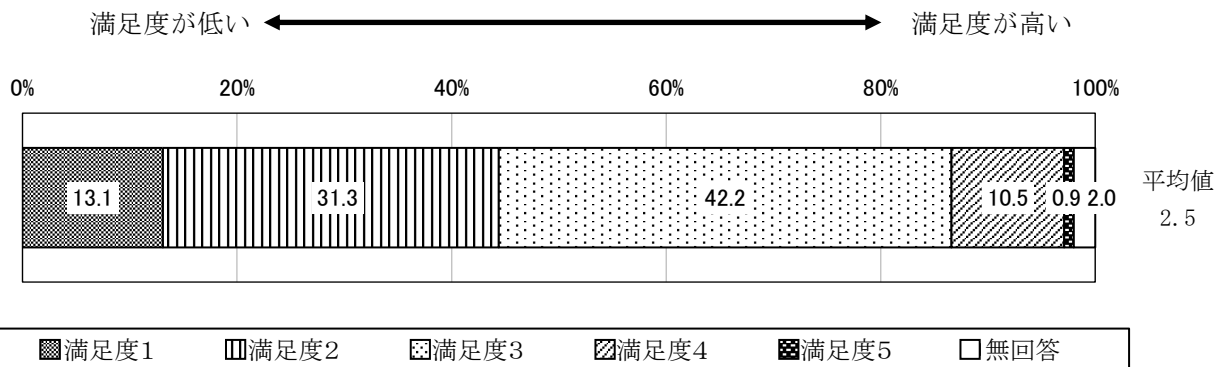
## 7. 子育て支援への満足度やご意見について

### (1) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問17 東久留米市の子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度3」が最も多く、42.2%となっています。次いで「満足度2」が31.3%、「満足度1」が13.1%、「満足度4」が10.5%、「満足度5」が0.9%と続いています。

n=649



## (2) 自由意見

問17 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。